

# 作手地域まちづくりアンケート

高校生以上の結果  
( その他・意見のまとめ )

平成26年 12月

作 手 地 域 協 議 会

14. 食料品などの生活必需品の主な購入先はどちらですか。

購入先	回答数
新城地内全域	12
生協	8
作手地域を除く新城市内、豊川市	5
作手地内、豊川市	3
いろいろな所	2
宅配	2
名古屋市	2
作手地内、蒲郡市	2
半田市	1
浜松市	1

購入先	回答数
インターネット	1
作手地内を除く新城地内、豊橋市、岡崎市	1
豊川市、豊田市	1
豊田市、刈谷市	1
新城地内全域、豊田市	1
豊川市、豊橋市	1
作手地内を除く新城地内、豊橋市	1
新城地内全域、豊川市	1

15. 生活必需品の買い物をするための交通手段は。

年齢	性別	回答数	回答
70～74歳	女性	2	自家用車、宅配
75～79歳	男性	2	自家用車、宅配
85歳～	女性	2	家族に頼む
30～39歳	女性	1	子供に頼む
40～49歳	女性	1	自家用車、宅配
50～59歳	女性	1	コープ
50～59歳	女性	1	自家用車、宅配
70～74歳	男性	1	自家用車、宅配
70～74歳	女性	1	自家用車、バス、宅配
70～74歳	女性	1	嫁に頼む
75～79歳	女性	1	娘が週1回買い物してくる
75～79歳	女性	1	家族に頼む
75～79歳	男性	1	バイク

性別	回答数	回答数	回答
80～84歳	女性	1	子供に購入してきてもらう
80～84歳	男性	1	家族に頼む
80～84歳	男性	1	自家用車、バス
80～84歳	女性	1	自家用車、宅配
85歳～	男性	1	入院中
85歳～	女性	1	子供に頼む
85歳～	女性	1	高齢のため外出しない
85歳～	男性	1	バス、宅配、他地域の身内を頼む
85歳～	女性	1	自家用車、宅配
85歳～	女性	1	バス、他地域に住む身内に頼む
85歳～	男性	1	バス、他地域に住む身内に頼む
85歳～	男性	1	嫁に頼む

18. 主に行く病院や診療所は。

年齢	性別	回答数	回 答
75～79歳	女性	3	作手診療所、新城市民病院
80～84歳	男性	3	作手診療所、新城市民病院
60～69歳	女性	2	安城市
60～69歳	女性	2	作手診療所、新城市内の病院
70～74歳	女性	2	作手診療所、新城市民病院
75～79歳	男性	2	多方面
80～84歳	女性	2	作手診療所、新城市民病院
15～19歳	女性	1	浜松市
20～29歳	女性	1	作手診療所、新城市内の病院
30～39歳	男性	1	半田市
30～39歳	女性	1	名古屋市
30～39歳	男性	1	病院いかない
30～39歳	男性	1	新城市内の病院、豊田市の病院
40～49歳	女性	1	名古屋市
40～49歳	男性	1	豊明市
40～49歳	男性	1	行ったことが無い
40～49歳	女性	1	作手診療所、新城市内の病院
40～49歳	男性	1	新城市内の病院、豊橋市の病院
50～59歳	男性	1	今のところなし
50～59歳	女性	1	浜松市
50～59歳	男性	1	名古屋市
50～59歳	女性	1	新城市民病院、新城市内の病院、豊川市の病院
50～59歳	女性	1	作手診療所、新城市民病院
50～59歳	男性	1	作手診療所、新城市民病院

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	名古屋
60～69歳	女性	1	豊明市
60～69歳	男性	1	新城市民病院、浜松市
60～69歳	女性	1	新城市民病院、豊橋市の病院
60～69歳	男性	1	作手診療所、豊田市の病院
60～69歳	男性	1	作手診療所、新城市民病院
60～69歳	男性	1	作手診療所、新城市内の病院
70～74歳	男性	1	名古屋市
70～74歳	女性	1	浜松市
70～74歳	女性	1	新城市民病院、新城市内の病院、豊川市の病院
70～74歳	男性	1	新城市民病院、新城市内の病院、豊橋市の病院
70～74歳	男性	1	新城市民病院、新城市内の病院
70～74歳	男性	1	作手診療所、新城市民病院、新城市内の病院、豊橋市の病院
75～79歳	男性	1	作手診療所、新城市民病院、新城市内の病院、豊橋市の病院
75～79歳	女性	1	蒲郡市
75～79歳	女性	1	作手診療所、新城市内の病院
75～79歳	男性	1	作手診療所、新城市内の病院
80～84歳	女性	1	作手診療所、新城市民病院、新城市内の病院、豊橋市の病院
80～84歳	男性	1	作手診療所、新城市内の病院
80～84歳	女性	1	作手診療所、新城市民病院、新城市内の病院
80～84歳	男性	1	蒲郡市
80～84歳	男性	1	作手診療所、豊川市の病院
85歳～	女性	1	作手診療所、新城市民病院
85歳～	男性	1	作手診療所、新城市民病院

19. 病院等への交通手段は。

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	女性	2	自家用車、家族が運転する車
75～79歳	女性	2	自家用車、家族が運転する車
80～84歳	女性	2	徒歩
80～84歳	女性	2	家族が運転する車、バス
85歳～	女性	2	ヘルパー
30～39歳	男性	1	行かない
30～39歳	男性	1	徒歩
30～39歳	男性	1	自家用車、家族が運転する車
40～49歳	女性	1	まず行く事がない
40～49歳	女性	1	自家用車、家族が運転する車、バス
50～59歳	男性	1	行かないので答えられない
50～59歳	男性	1	自家用車または家族が運転する車
50～59歳	女性	1	自家用車、家族が運転する車
60～69歳	女性	1	自家用車、家族が運転する車
60～69歳	男性	1	徒歩
70～74歳	女性	1	徒歩
70～74歳	女性	1	自家用車、家族が運転する車

年齢	性別	回答数	回 答
70～74歳	女性	1	嫁に頼む
75～79歳	女性	1	娘の車
75～79歳	男性	1	バイク
80～84歳	女性	1	娘の車
80～84歳	女性	1	自転車
80～84歳	女性	1	バス、隣近所の知人
80～84歳	男性	1	家族が運転する車、バス
80～84歳	女性	1	虹の郷送迎車
85歳～	男性	1	娘の車
85歳～	女性	1	虹の郷送迎車
85歳～	男性	1	入院中
85歳～	女性	1	徒歩
85歳～	男性	1	虹の郷送迎車
85歳～	男性	1	自家用車、隣近所の知人
85歳～	女性	1	家族が運転する車、バス
85歳～	女性	1	バス、他地域に住む身内
85歳～	女性	1	家族に頼む

## 8. 作手地域で住みやすいと特に感じるところ No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	人が少ない。
20～29歳	女性	1	車が少ない。
20～29歳	男性	1	実家があるから。
20～29歳	女性	1	水が美味しい。
20～29歳	男性	3	ありません。
30～39歳	男性	1	夏涼しい。
30～39歳	男性	1	人が少ない。
30～39歳	男性	1	夜、静かで眠りやすいところ。
40～49歳	女性	1	友達がいる。
40～49歳	女性	1	車があればどこに住んでも同じ。
40～49歳	女性	1	ご近所さんとの繋がりがあがる。
40～49歳	女性	1	夏は涼しい。
50～59歳	男性	1	人ごみがない。
50～59歳	女性	1	何年たっても変わらない。
50～59歳	男性	1	何も無い。
50～59歳	男性/女性	3	夏の涼しさ。
50～59歳	男性	1	地域の人と協働出来ることが多い。
60～69歳	女性	1	生まれた時から住んでいるので、他の地域の良し悪しが分からない。
60～69歳	女性	1	診療所、Aコープ作手の総合支所心臓部に近い事。今の時代です誰でも入れる永久供養のお寺さんが多い。若い人が働けて野菜工場のような農業林業があると良い。内職など5年の市の住宅は短い。右見て左見りゃあ過ぎてしまう。
60～69歳	女性	1	災害が少ない。
60～69歳	男性	1	芸能、文化、芸術の宝庫。
60～69歳	男性	1	窓を開いても隣の窓ではない。
60～69歳	女性	1	空気がおいしい。
60～69歳	男性	1	会社があるから。
60～69歳	男性	2	特に住みやすいとは感じない。
60～69歳	男性	1	市街地から遠くない僻地。
60～69歳	男性	1	長年いるので特になし。
60～69歳	男性	1	山と川と空と鳥獣と人、すべて共存している。
70～74歳	女性	1	食べ物が自給でき、災害時にも最低自立した暮らしができると思われる。
75～79歳	男性	3	生まれたところだから。
75～79歳	男性	1	生まれたところ、そこで住み、生活しているので分からない。
75～79歳	女性	1	野菜を作っています。
75～79歳	男性	1	大災害がない。
75～79歳	男性	1	少しばかりの私有耕作地があり気の向いた作物を栽培し楽しむことができる。
75～79歳	男性	1	自然が多く、公害が少ない。
75～79歳	女性	1	1・2・3。
80～84歳	女性	1	良いところなし。
80～84歳	女性	1	僻地にて携帯が使えない。
80～84歳	女性	1	1～4全て。
80～84歳	男性	1	住みよい事はなし作手は新城の植民地である。
85歳～	男性	1	良いところなし。
85歳～	男性	1	近くに庁舎、局、診療所、農協、コンビニ等。

9. 作手地域で住みにくいと特に感じるどころ(活気のない理由) No.1

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性/女性	2	若い人が少ない。
20～29歳	女性	1	近くに子供と同じくらいの子がいないから、なかなか遊べない。
30～39歳	女性	1	働く場がない。子供が減って声が聞こえない。
30～39歳	男性	1	住民が少ない。ますます世帯数が減少するから将来心配。
30～39歳	男性	1	自分のことだけ考えている人が多い。
30～39歳	男性/女性	3	子ども、若い人が少ない。
40～49歳	男性	1	道の駅がもっと大きくて、活気があると良いと思う。
40～49歳	男性	1	働くところが無い。
40～49歳	男性	1	人口減少。
40～49歳	男性	1	色々な活動は行われていると思うが、地域の情報が伝わってこないから。
40～49歳	女性	1	小学校の統廃合。
40～49歳	男性	1	若者を主とした取組が少なく、市の援助もない。若者が行いたい事項を聞き入れる所がない。
40～49歳	男性/女性	4	子供・若い人がいない。
40～49歳	女性	1	若い人いないのでいつまでも若い衆と呼ばれる。
40～49歳	男性	1	飲食店等が他の同程度の地域に比べ少ない為、通過地域になっている。
40～49歳	女性	1	イベントや働くところが少ないため、人口が減少している。
50～59歳	女性	1	隣近所に子供がいない。
50～59歳	男性	1	夕方から夜間(PM11:00くらい)までの娯楽、飲食店が無い。
50～59歳	男性	3	働く場所が少ない。
50～59歳	女性	1	全国的であるが、結婚されていない人が多い。そのため、子どもが少ない。町への流出が多い。
50～59歳	男性/女性	12	若者の数、子供の数が少ない。
50～59歳	男性	1	若い世代の勤務先が少ない。
50～59歳	男性	1	高齢者が多く、保守的で新たな事業を進めるのが困難。
50～59歳	男性	1	協調性がない。
50～59歳	女性	1	シカ、イノシシ、サル被害。
60～69歳	女性	1	遊びに来てても行くところがない。
60～69歳	男性	1	農林業後継者が少ない。作手地区外に移住する若者が多い。
60～69歳	男性	1	地域産業が無い。
60～69歳	男性	1	地域のイベントが若年層へと世代交代ができない。
60～69歳	男性	1	前進的思考の不足。
60～69歳	女性	1	昔のように「お互いさま」の付き合いが少なくなった。若者が少ない。
60～69歳	男性	1	人口減少と高齢化。
60～69歳	女性	1	少子化、働く場所が減少している。
60～69歳	女性	1	商店が少ない。
60～69歳	男性	1	住民のコミュニケーション取る場所がない。
60～69歳	男性	1	住民1人1人が地域の問題に気づいていながら、解決に向けて努力しようとならない。
60～69歳	女性	1	若者の活動場所がない。
60～69歳	男性	1	若者に働き場がなく、高齢化している。
60～69歳	女性	1	若者が流出してしまっている。働く場がないのと、作手に住むメリットがない為だと思われる。
60～69歳	女性	1	若者が定住しない。
60～69歳	女性	1	若者が少なくなった。若い人に魅力的な町に。
60～69歳	男性/女性	19	子供、若者の減少。
60～69歳	男性/女性	5	仕事場が少ない。
60～69歳	女性	1	合併により、学校統合により。
60～69歳	男性	1	高齢者が多く、交通面で諸行事の参加に苦慮している。
60～69歳	女性	1	合併後特に感じる。

9. 作手地域で住みにくいと特に感じるどころ(活気のない理由) No.2

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性/女性	6	高齢化によると思われる。
60～69歳	男性	1	高齢化し、積極性がない。
60～69歳	女性	1	限界集落になりつつある。
60～69歳	男性	1	空家の活用なし、過疎で人口が減っても良いとの住民の返事。
60～69歳	男性	1	区内の集会がなく連帯感がない。
60～69歳	女性	1	皆の行動がない。現状で満足している。
60～69歳	男性	1	何もない。さびれている。
70～74歳	男性/女性	8	高齢化。
70～74歳	女性	1	優しすぎる。おせっかいすぎる。
70～74歳	男性/女性	7	若者がいない。
70～74歳	男性	1	個人主義が多い。
70～74歳	男性	1	個人個人ばらばらで顔を合わせる事が少ない。
70～74歳	女性	1	活気ある所にしようとする意欲的な人が少ない。
75～79歳	男性/女性	5	若者がいない。
75～79歳	男性/女性	3	老齢化、過疎化。
75～79歳	女性	1	年寄りの町になってしまい淋しい気がする。やはり働く場所がなく若い人たちは町から離れてしまう。
75～79歳	女性	1	働く場所がない。
75～79歳	男性	1	町村合併は失敗だった。小さくても活かれる。
75～79歳	女性	1	猪、鹿、猿等に高齢者等の働き場所をとられてしまった。現実になげく鳥獣害に悩まされ、楽しみたい野菜作りも出来ない昨今ですので、この問題は近隣の市町村とも連携をとっていただき、これらの住み場を計画的に作り、人里よりも住みよい彼らの楽園をつくっては如何か。
75～79歳	男性	1	先が見えない。
75～79歳	女性	1	若者が週に5日位で活気がない。
75～79歳	男性	1	若い人達が作手から他市県へ移っていく。
75～79歳	女性	1	高齢者ばかりだし、空き家が多い。
75～79歳	男性	1	マイペース派が多くなって来た。
80～84歳	男性	2	高齢者が多い。
80～84歳	女性	1	方向性が分からない。
80～84歳	男性	1	若者(後継者)が地域外へ流出して活気がない。
80～84歳	女性	1	若い人が少ないため、作手に若い人が住みよくて欲しい。
80～84歳	男性/女性	3	子供・若い人がいない。
80～84歳	男性	2	仕事場が少なく、若者が少ない。
80～84歳	男性	1	過疎(人口の減)。
85歳～	男性	1	人口が少なくなってゆく。
85歳～	女性	5	子供、若者が少ない。
85歳～	男性/女性	2	高齢化。

9. 作手地域で住みにくいと特に感じるどころ(その他) No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	道路等の整備が悪い。
20～29歳	男性	1	auの携帯のつながりが悪い。
20～29歳	男性	1	過疎が進み今後が心配。
20～29歳	女性	1	結婚後、作手に住むのは、難しいと思うから。
20～29歳	男性	2	1～4全部。
20～29歳	男性	1	働く場所がない。
20～29歳	男性	1	近くの工場がうるさい。深夜まで。

9. 作手地域で住みにくいと特に感じる場所(その他) No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	医者がいない。
30～39歳	女性	1	働く場所がない。
30～39歳	女性	1	子育て支援。子ども園が19時から18時までに延長保育の時間を短縮したことは、子育てしにくい、仕事しにくい、住みにくい状況になっている。地域の特性を考え、新城ひとくぐりで考えたり、統一してはいけないと思う。人数が少ないからという理由もいけないと思う。
30～39歳	男性/女性	2	病院が少ない。
30～39歳	女性	1	道路の整備不足、道の路面状態が悪い。
40～49歳	男性/女性	2	道路等が整備されていない。
40～49歳	男性	1	何もかもが高い。
40～49歳	女性	1	仲間、友人が広がらない。
40～49歳	男性/女性	7	寒い、冬の道路凍結、凍結により通勤が大変。
40～49歳	男性	1	病院と言われるところが1つしかない。医者も1人しかいない。
40～49歳	男性	1	昔からの付き合いを無視するような人が近所に引越してきて、何かとトラブルを引き起こしている。
40～49歳	男性	1	製造業者が少ないため雇用が無い。
40～49歳	男性	1	都合のよい時だけ利用しようとさせられる。
40～49歳	女性	1	ライフラインが断られた時、不安を感じる。301号の崩落の時大変だった。
40～49歳	女性	1	地域の祭り、区費等が思ったよりかかる。
40～49歳	男性	1	虫が多い。
40～49歳	男性	1	店が少なく不便、通勤通学の便が悪い。区費がとて高い。
40～49歳	女性	1	2・3・4。
40～49歳	男性	1	働く所がない。
50～59歳	女性	1	移住した方の地所が荒れ放題なので、整備してほしい。
50～59歳	男性/女性	3	道路の整備が悪い。
50～59歳	男性	1	特に住みにくいと思わない。
50～59歳	男性	1	モーターランドがうるさい。
50～59歳	女性	1	住みにくくない。
50～59歳	女性	1	若い人たちが少ない。
50～59歳	女性	1	大きな病院へ通うのが大変。
50～59歳	女性	1	高齢者の方が多いのに楽しく過ごす場所がない。
50～59歳	女性	1	気分が落ち込んでいるときの老人の親切心が負担に感じる。
50～59歳	男性/女性	8	冬の寒さ、積雪、道路凍結。
50～59歳	男性	1	作手周辺地域に働く場所がない。
50～59歳	男性	1	電車駅まで遠い。
50～59歳	男性	2	公共交通機関が少ない。
50～59歳	男性	1	今は感じないが、自分が老いた時、店が近くにないこと、通院に時間がかかることを感じると思う。今は良い。
50～59歳	女性	1	1～4全部。
50～59歳	女性	1	若い人の働く所がない。
50～59歳	女性	1	病院が近くにない。
60～69歳	男性	1	日常消費の食糧物価高、燃料高い。
60～69歳	女性	1	近所付き合いは良いけど深夜の治安のこと。みんなよい人たちです。年寄りになったとき運転ができなくなったとき新城病院専用バスがほしい。
60～69歳	男性	1	若者が少ない。
60～69歳	女性	1	子供の数が少ないので将来が心配です。
60～69歳	女性	1	不法投棄とまでは言わないが、ゴミに等しいものが山林、田畑に放置されていて景観を損ねていることがある。
60～69歳	男性	1	水道代等ライフラインが新城地区に比べて異常に高い。
60～69歳	男性	1	何時でも気軽に集まれる場所がない。いちいち鍵をかけたしなくて、何時でものぞかれるところがない。
60～69歳	男性	1	そこそこの人が家の内情まで知っている。
60～69歳	女性	1	地域行事が大変、できなくなる。

9. 作手地域で住みにくいと特に感じるどころ(その他) No.3

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	住みにくくない。
60～69歳	男性	1	道路整備が遅れている。
60～69歳	女性	1	動物(鹿、猪、ハクビシン)がいる。
60～69歳	男性	1	老人が多く、若者の負担が多い。若者が帰ってこない。
60～69歳	男性	1	周りの人に合わせる場面が多々あること。
60～69歳	男性	1	有害鳥獣対策に苦勞。
60～69歳	男性	1	2・3・4。
60～69歳	男性	1	貧富の格差、世帯の年齢格差(子供世帯なし)。
60～69歳	男性	1	草刈りが多い。
60～69歳	女性	1	他人の悪口を言う人がいる。
60～69歳	男性	1	冬季の道路の不便さ。
70～74歳	女性	1	出欠席の記入氏名が厳しく感じる。
70～74歳	男性	1	若者と子供が少ない。
70～74歳	男性	1	山の木が育ち日照時間が短い。作物が育たない。
70～74歳	男性	2	道路網が未整備、公共交通網が貧弱。
70～74歳	男性	1	バス路線、明細ダイヤがほしい。
70～74歳	女性	1	住みにくい事を感じた事はないけれど、車に乗れなくなった時、日常生活(買い物、通院、お付き合い等々)できなくなる不安。
75～79歳	男性	1	子供が少ない。
75～79歳	男性	1	全てに飽き性である。
75～79歳	男性	1	これ迄はそれ程感じなかったが、この年齢になってみると体力の減退や病気で地域の付き合いが大変になることは明らか。
75～79歳	女性	1	交通手段がない。あしがる線までは遠い。
75～79歳	男性	1	都合のよい時だけ利用しようとさせられる。
75～79歳	男性	1	不安、301号線の通行止め、迂回路の整備。
75～79歳	男性	1	山間辺地。
80～84歳	男性	1	林道農道市道の補修がされていない。
80～84歳	女性	1	北部支所はおいてほしい。
80～84歳	男性	1	働く場所が少ない。
80～84歳	女性	1	1・2・3。
80～84歳	男性	1	木材関税ゼロにより林業壊滅限界集落。
85歳～	女性	1	動物が田畑荒らすので。
85歳～	男性	1	昭和20年代の植林で日陰ばかり(住宅・道路・田畑)。
85歳～	女性	1	1人暮らしなので、困ることもある。

11. いずれは他地域に移りたい理由 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	不便だから。
15～19歳	男性	1	大学の面で。
15～19歳	女性	1	一人暮らしがしたい。
20～29歳	男性	1	地域の行事が多い。
20～29歳	女性	1	店などが少なくて不便だから。
20～29歳	男性	1	自然は多いが、整備されておらず、また四季も感じられない。
20～29歳	男性	1	家庭のため。
20～29歳	男性	1	住みにくい。
20～29歳	男性	1	会社が遠い。
20～29歳	女性	1	いつか年をとってきた時に、病院やお店が少なくて心配だから。子供が高校に入る時、交通が不便だから。
20～29歳	女性	2	不便だから。

11. いずれは他地域に移りたい理由 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	女性	1	住みたくない。
20～29歳	女性	1	結婚。
20～29歳	女性	1	市街地で働きたいから。
30～39歳	女性	1	車の運転ができなければ生活できない。
30～39歳	女性	1	冬になると凍結するから。
30～39歳	女性	1	子どもの成長とともに。
40～49歳	女性	1	車に係る費用が半端ないから。
40～49歳	女性	2	不便だから。
40～49歳	女性	1	高齢になったら自動車運転に自信が無い為、買い物、飲食店など交通機関の良い街に住みたい。
50～59歳	女性	1	働く場所が少ない。
50～59歳	男性	1	住んでいる人が少なくなり付き合いが大変になる。
50～59歳	男性	1	人間関係が悪い。
50～59歳	女性	1	独りになったら作手での生活は難しいと思う。
50～59歳	男性	1	住みたくない。
50～59歳	女性	1	鹿などが頻繁に出るため、通勤さえ怖いし、交通面で不便。
50～59歳	男性	1	通勤や通院の便が悪い。
50～59歳	女性	1	交通の不便。自家用車がなければどこにも行けない。
50～59歳	女性	1	冬の通勤が大変。昔の慣習を変えたがらない。
60～69歳	男性	1	農業中心の生活であり体力が衰えたらわからない。
60～69歳	女性	1	夫婦でいるが、一人になったら長男の所(新城)へ行く予定。
60～69歳	男性	1	活動の拠点が豊川市にある。
60～69歳	男性	1	今のところに飽きた。
60～69歳	男性	1	持ち家も田畑もあるが、子どもが戻って来ないなら、老人施設がある所へ移動しなければならぬ。作手に未練はなくなる。
60～69歳	男性	1	便が悪い。
60～69歳	女性	1	足が動かなくなり、食事の支度が出来なくなった時(それまでは、3)。
60～69歳	男性	1	若者がいない。
60～69歳	男性	1	人間関係。
70～74歳	女性	1	跡取りが帰ってこない。
70～74歳	女性	1	家に入りすぎる人が多い。
70～74歳	女性	1	高齢になり医療交通環境に不安あり。
75～79歳	男性	1	子供が他市にいる。
80～84歳	男性	1	孫が尾張にいるので帰らないかもしれない。
80～84歳	女性	1	働く場所があれば、住みたい。
80～84歳	女性	1	実家が外にあるから。

13. 作手地域に住むにあたり、将来どのような地域なればよいと思いますか。 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性	1	多く開発せず、自然を残した地域。
15～19歳	女性	1	病院のある地域。
15～19歳	男性	1	このままでよい。
15～19歳	男性	1	店が増えるといい。
20～29歳	男性	1	若い世代が過ごしやすい環境。
20～29歳	男性	1	交通の便が不便すぎる。
20～29歳	男性	1	環境維持をしつつ、もう少し便利な生活ができる地域。
20～29歳	男性	1	住みたいと思う人が就職先、住宅地等生活不安なく住むことができ、尚且つ、自然を大切にできる形が望ましい。
20～29歳	男性	1	教育が充実している地域。様々なことが学べる。教育だけでなく、何かに特化した地域。

13. 作手地域に住むにあたり、将来どのような地域なればよいと思いますか。 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	女性	1	お祭など、地域の間が楽しめるイベントに力を入れる。
20～29歳	女性	1	全住民を田原～白鳥辺りに集めて、2000人級の生活区にすることで、店を増やす。活気が出る。国道301号の通りが活気づく。
20～29歳	男性	1	交通の便が良くなり、多少店が増え、近場に頼りになる病院ができれば、今のママが良い。
20～29歳	女性	1	作手から出なくても日用品やベビー用品等が買える店(ドラッグストアのような店)があるといい。
20～29歳	男性	1	近くに店がある。
20～29歳	女性	1	働く場所・医療などもっと充実して欲しい。
30～39歳	男性	1	廻りの地域でも仕事に行きやすいようにしてほしい
30～39歳	男性	1	高校が続くこと。
30～39歳	女性	1	森や自然がある地域。
30～39歳	男性	1	具体的な考えとなると難しいと思いますが、子供の頃作手で育った人が戻ってきたいと思える地域。
30～39歳	女性	1	コンビニやスーパー、飲食店がある地域。
30～39歳	女性	1	道路を良くして欲しい(国道301号線)。若い人や町の人には道路の鋭いカーブが怖い様子。
40～49歳	女性	1	道路等環境を整備し、復興を図るのなら何か一つに重点を置いた方が良いと思う。今は、何もが中途半端なので魅力がない。
40～49歳	男性	1	道路整備して、ゴルフ場、公園など、休みの日に人が集まる地域。
40～49歳	女性	1	子育てしやすい地域。金融機関がととのっている地域。
40～49歳	男性	1	車以外でも、通勤できるような通勤手段ができて、病院もいろんな診療科があるようになってほしい。Aコープ以外のスーパー、百貨店ができたらうれしい。
40～49歳	女性	1	宅配サービスの充実化(高齢者のため)。
40～49歳	男性	1	緑を壊し、アスファルトの部分を増やしてほしくない。
40～49歳	女性	1	冬の路面凍結に対する対応をよくする。
40～49歳	女性	1	わからない。上記5つどれも当てはまると思うが、現在の自分の生活にいっぱいいっぱい、地域のことまで考えが及ばない。
40～49歳	男性	1	子育てしやすい環境。
40～49歳	男性	1	自然を大切に、作手独自の文化を守りながら住んでいる人々を大切に作る地域。
40～49歳	男性	1	農業ではない産業を積極的に育成しないと商業、医療などが衰退する。雇用を生む産業が欲しい。
40～49歳	女性	1	地域が一つになれる何かイベントとか、自然を生かした商業施設などあればいいと思う。(春さくら、夏キャンプ、秋もみじ、冬なし)
40～49歳	男性	1	地産地消を徹底的に行い、「作手には、〇〇がある」と有名になるような飲食店があるといい。
40～49歳	女性	1	とにかく不便。買い物。冬の交通。おつきあいも多く面倒。
40～49歳	女性	1	今のままでよし。
40～49歳	女性	1	作手地域の向上や自営業者の仕事が増え、若者も作手に残りたいと思うような働ける場所が増えると良いと思う。
50～59歳	女性	1	高齢者や障害者が住みやすい地域。
50～59歳	男性	1	あまり他人のことに干渉しない、近所付き合いは大切であるが。
50～59歳	男性	1	教育の地域。
50～59歳	女性	1	住宅よりもっと若い人が働ける職場がほしい。そうすれば他の地域に住んでいる子供たちが戻ってこれると思う。今のままでは、帰ってきてほしいとは思いません。
50～59歳	男性	1	働き場所(企業の立地)を増やす。
50～59歳	男性	1	現状。
50～59歳	女性	1	今ある自然環境がこれ以上汚れたり壊れたりしないこと。山林の維持と川の汚染を食い止めること。浄水システムの整備を確実なものにしてほしい。そういうところにも予算をきちんとつけるべきだと強く思う。【污水处理】
50～59歳	男性	1	例え外部から人が来ても、地元意識を強調することなく、共同体として生活していくことが望まれる。
50～59歳	女性	1	①と③および学校の古い校舎の再利用を考えてほしい。
60～69歳	男性	1	高校を卒業した若者が、作手地域で生計を立てていける働き場所を作ってください。特に森林組合には頑張ってください、地域最大の資源は森林です。
60～69歳	男性	1	新城市から独立し、自分の頭で考えて自分たちの街を創るぐらいの気持ちを持っていないと将来は暗い。
60～69歳	女性	1	若いも若さも皆暮らせる仕事。作手しかない食べ物とか。作手の美味しい水の販売、湿原の宣伝、いなご、淡水魚の甘露煮、作手のミネアサヒで作るあられ、からす
60～69歳	女性	1	高齢化人口減少、無理、豊かな暮らしは自分次第。
60～69歳	男性	1	もっと道路を良くする。
60～69歳	男性	1	医療等命の安全が第1に守られる地域。ライフライン等生活が安心・安定、安価に暮らせる地域。教育等身近に塾等があり都会の人と正當に競争できる環境。
60～69歳	女性	1	新城、岡崎、豊田等へ行く道路が整備されること。
60～69歳	女性	1	農業、林業がもっと元気になるよう工夫したり、努力する。

13. 作手地域に住むにあたり、将来どのような地域なればよいと思いますか。 No.3

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	お互い干渉しない。
60～69歳	女性	1	他の市町村からの転入者を増やすだけでなく、昔から住んでいる人を基準に考えてほしい。
60～69歳	男性	1	親として子供を育てる土地として誇りの持てる地域。働く場所、住民を大切に行政、町に負けない暮らしやすさ等、将来の明るさがある作手であってほしい。
60～69歳	男性	1	子育てがしやすい環境の整った施策(税、店、交通、etc)。
60～69歳	男性	1	高齢者の買物支援等が必要ではないかと思う。
60～69歳	女性	1	1・2・3・5。
60～69歳	男性	1	林業で生活安定。
60～69歳	男性	1	閉校した学校等を使用し、弓道、馬術等の合宿所を作り、スポーツ村を創る(高校生、大学生)。
60～69歳	男性	1	入植する方も限られる中、見えない顔もなく、人間不足と不住の地となる。
70～74歳	女性	1	学校跡地の考えよう会のきっかけとなったのは、「天神様」の存在であった。学問の神様として忘れないでほしい。108年の学校の歴史として卒業生5,000人の為に是非生かしてほしいです。
70～74歳	男性	1	自給自足の自立と収奪のない地域。
70～74歳	女性	1	昔からの意見が強い。
70～74歳	女性	1	作手の住人が作手で働いて生活できると良い。
70～74歳	女性	1	工場の閉鎖で、働く人が少なくなった。
70～74歳	女性	1	定年退職後、第2の人生を過ごすのに最適の所だと思っています。だから若い方たちに他地域で過ごし、ここへ帰ってこられる所にしたいと思っています。
75～79歳	男性	1	地域営農が成り立たない。地域消滅が懸念される。
75～79歳	男性	1	鴨ヶ谷区、中山の上手な整備、中心でもあり地区が変わると思う。
75～79歳	男性	1	何も思わない。
75～79歳	男性	1	有害鳥獣の絶対数を減らす行政をしてほしい。駆除等に対する制限を解く。
80～84歳	男性	1	菅沼姓の発祥地菅沼城址の整備看板設置、元菅守小前菅守小の利用、都市部へのキャンプ地宣伝。
80～84歳	女性	1	若者が住む。(仕事場を作り生活するところ)
80～84歳	女性	1	交通の便をよくしてほしい。(特に自動車の運転ができない人に配慮してほしい。)
80～84歳	男性	1	高齢化と人口減少で将来の事考えるファイト・余裕なし。
80～84歳	女性	1	今の所農地に困っているので、こんな所に住みたくない。
85歳～	男性	1	真面目に生きる人を作りなさい。
85歳～	男性	1	緊急に備えヘリポートの指定場所を早急に確保。

22. 身近で不安を感じる時。 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性	1	高齢者は無知かつ自己中心的であり、若い世代との共存は厳しい。
15～19歳	女性	1	交通。
15～19歳	女性	1	学校が古くて不安。中学校、小学校。
15～19歳	男性	1	ない。
20～29歳	男性	1	高齢者の人口が多いこと。それでも車に乗るので危ない。
20～29歳	男性	1	他地域から観光等で訪れる人のモラルに関する不安。
20～29歳	男性	1	ない。
20～29歳	女性	1	文明の進化に取り残されている。
20～29歳	男性	1	災害時のライフライン復旧までの所要時間等。
20～29歳	女性	1	獣が多くて怖い。
20～29歳	男性	1	街灯がなく夜は危険だと思う。
20～29歳	女性	1	災害時に作手と新城市内を繋ぐ道が通れなくなると心配である。
20～29歳	男性	1	孤独死。
30～39歳	女性	1	近所に子供がいらない。子供の友人関係が少ない。
30～39歳	男性	4	特になし。
30～39歳	男性	1	自然災害が不安。

## 22. 身近で不安を感じる時。 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	同級生が少ない。
30～39歳	男性	1	駐在所が不在の時の非常に多いので不安である。
30～39歳	女性	1	夜の道などの明かりが少ない。
30～39歳	男性	1	防犯意識の低さ(家の戸締りや車のロックなど)。
30～39歳	男性	1	若い世代が少ないため、将来の地域そのものが不安。
40～49歳	女性	1	少子高齢化が著しく進んでいること。
40～49歳	女性	1	隣近所が高齢者世帯なので、心配。熊がでないか心配。
40～49歳	女性	1	自宅は火事になってしまったとき、消火の水が遠い。
40～49歳	女性	1	災害で避難するのが不安。子供を3人連れて避難場所へ行くより、自宅にいる方が安心。
40～49歳	男性	1	近所に何事もケンカ腰でトラブルを起こしているような人が引っ越してきて、妻子を守れるか不安。
40～49歳	男性	1	モーターランドの客の公道での運転マナーの悪さ。
40～49歳	男性/女性	6	特になし。
40～49歳	男性	1	通学路が暗い。人気がない。
40～49歳	女性	1	作手から離れて夫婦共働いているので、災害などで、帰れなくなった時のことを考えると不安である。
40～49歳	女性	1	田舎のため、鍵をかける習慣がないため不安。
40～49歳	男性	1	空き巣など家の中に誰かが入って来たりした場合、助けを呼んでも聞こえないかも。
40～49歳	男性	1	大きな病気になった時、災害が起きた時の対応(道が遮断されたり、ライフラインが止まったり)。
40～49歳	女性	1	緊急でも見てもらえる病院が無い。
40～49歳	男性	1	老朽化した空き家が有り倒壊が怖い。
40～49歳	男性	1	緊急を要する時の病気の対応。昼はドクターヘリ、夜はドクターヘリは飛ばないので不安に思う。
40～49歳	男性	1	家が散在しているため、不審者が侵入してもわからない。
40～49歳	男性	1	道の駅に訳の分からない者が屯している。
40～49歳	女性	1	土日に仕事が入ると祖父と子供だけになるので不安になる。変質者が多発しているため、子供の帰宅時の不安。
40～49歳	女性	1	どちらに住んでも不安は同じ。
40～49歳	男性	1	裏山が土砂崩れになるか心配。
40～49歳	女性	1	ポストを勝手に開けて中を覗く人がたまに来る。風呂を覗かれた。2つとも作手の人間。
40～49歳	女性	1	夜間、住居などへの窃盗。
40～49歳	女性	1	よその地域からの人の出入りが多くなったので治安が心配。
40～49歳	女性	1	見慣れない車がずっと停まっていたりいたりすることがある。
40～49歳	女性	1	道路の崩壊した時の対応。
50～59歳	男性/女性	2	長ノ山のカーブの走る音がうるさい。
50～59歳	男性	1	あまり不安を感じるひまがない。
50～59歳	男性	1	高齢者世帯になった時への不安がある。
50～59歳	女性	1	留守中の防犯。
50～59歳	男性	1	病気になったときの救急の対応。
50～59歳	女性	1	知らない人から携帯に電話が入る。
50～59歳	女性	1	一時、不審者があったようで・・・。
50～59歳	男性/女性	7	特になし。
50～59歳	女性	1	交通。
50～59歳	女性	1	人が定住していない家が多い。吹き溜まりになっているため、家の前の積雪が多い。雪かきをする人手がないため一人でやることになる。家の前の雪掻きのため、夫が退職するまでは妻である私の仕事として午前4時ごろから雪掻きをしなければならなかった。作手に住んでみて、作手に住み続けている人々の苦勞が解った。
50～59歳	男性	1	国道301号線が整備され、車のスピードを出しすぎている車が多いので、交通事故が心配です。
50～59歳	男性	1	救急搬送に時間がかかる。災害時の人員確保。
50～59歳	男性	1	近所に変質者がいるため不安。
50～59歳	男性	1	今は高齢者世帯ではないが、今後5～10年先はその可能性もあり、不安なことが多い。今は良い。
50～59歳	男性	1	空き巣。

## 22. 身近で不安を感じる時。 No.3

年齢	性別	回答数	回 答
50～59歳	女性	1	土砂災害・川の増水等の自然災害及びパイプラインの中断の可能性が多い。
50～59歳	男性	1	精神的に不安定な人が近くに住んでいて、いつ、どういう反社会的な行動をするかわからないこと。
50～59歳	女性	1	高齢者世帯が多いので、先のことを考えると不安である。
60～69歳	女性	1	街灯が少なく、子供達の通学(帰り)が心配。
60～69歳	男性	1	交通関係で、制限速度オーバー(走り屋)が多く、又一般道も速度オーバーが多いため、今後取り締まりを多くしてほしい。
60～69歳	女性	1	急に病気になった時など一人暮らしなので不安。
60～69歳	男性/女性	11	特に不安を感じることはない。
60～69歳	女性	1	知らない人、車を見かけることがある。
60～69歳	女性	1	山の手入れがされないので、長時間の停電、災害(崖崩れ)長期の通行止め。
60～69歳	男性	1	今は良いが将来はもしもの時不安である。
60～69歳	男性	1	急病の時の7分ルールが間に合わない。
60～69歳	男性	1	国道301号を100キロで走る車が多くなり、規制がなくなった。
60～69歳	男性	1	交通事故(バイク、改造車のスピード)。
60～69歳	男性/女性	3	空巣ねらい。
60～69歳	男性	1	子供が少ないこと。
60～69歳	女性	1	現時点ではあまり不安はないが、高齢になり自分で運転できなくなった時の通院、買物など。
60～69歳	男性	1	医療施設が充実していない。
60～69歳	男性	1	家があっても人が住んでいない。
60～69歳	女性	1	若者の人口が減ってゆくこと。
60～69歳	女性	1	夜間照明が少ないので外出できない。
60～69歳	女性	1	週末しか居ないのでこの間のことが心配。
70～74歳	男性	1	高齢化が進み住民が減ること。
70～74歳	男性	1	訪問販売などで、買わないと威圧的になる。
70～74歳	男性/女性	3	特になし。
70～74歳	男性	1	自家用車に乗れなくなったの通院等。
70～74歳	男性	1	若者の働く場所がないのが不安。
70～74歳	女性	1	冬期(雪)や夜間などの急な発病。
70～74歳	男性	1	現在の代の人達がいなくなった時将来が不安。農業、林業。
70～74歳	男性	1	日当たりが悪い。
75～79歳	男性	1	自身の健康。
75～79歳	男性	2	現在のところ不安はない。
75～79歳	男性	1	自家用車を自分で運転できなくなったとき。
75～79歳	男性	1	子供が減っていく。
75～79歳	男性	1	空巣が入る。入った。防犯カメラも考える時が来る。
75～79歳	男性	1	後継者の目途なし。自身の健康、この先。
75～79歳	女性	1	突然の病気。
80～84歳	男性	1	長ノ山のカーターの走る音がうるさい。
80～84歳	男性/女性	4	特に不安はない。
80～84歳	男性	1	街灯が少なく不安を感じる。
85歳～	男性/女性	3	不安はない。
85歳～	男性	1	災害を自分で作らない。
85歳～	男性	1	1・3・4・5。

25. 地域の安全対策として、作手地域で行う必要があると思うこと。

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性	1	全部必要。
30～39歳	女性	1	園や学校が終わった後、子供を預ける場所が6時までと早い。
30～39歳	女性	1	交通安全教室や防犯教室は、高齢者だけでなく全世帯対象の意識啓発。
30～39歳	男性	1	空き巣などがあるため、あると思う。
30～39歳	男性	1	高齢者を主として行ってもらう。高齢者の健康・意欲にもつながると思う。
30～39歳	男性	1	地域の協力体制の整備。
30～39歳	男性	1	4の高齢者だけでなく、作手住民全員を対象にすべき。
40～49歳	男性	1	近所づきあいをして地域の活動に積極的に参加することを考える。
40～49歳	男性	1	警察による夜間パトロール、土日の速度取締。
40～49歳	男性	1	災害に備え体力を付けたり健康を保っていることが必要。
50～59歳	男性	1	AEDの練習を多くする。
50～59歳	男性	1	高齢者世帯の健康確認を含めた見守り隊・地域の安全、防犯パトロールの強化。
50～59歳	男性	1	旧作手地区の、例えば小学校の避難所へ行くのは困難なため、身近な集会所(公会堂)が、第一の避難所として、近隣での協力体制を構築する。
50～59歳	男性	1	がけ崩れの防止等の工事の推進。
50～59歳	男性	1	指定避難所の早期見直しを望む。本当に安全な所を各集落に1ヶ所づつほしい。
50～59歳	男性	1	行政区ごとに行う。学区では距離がありすぎる。
50～59歳	男性	1	AEDの設置。
50～59歳	女性	1	1・2・4。
50～59歳	男性	1	現状。
60～69歳	男性	1	常夜灯の整備増加。
60～69歳	男性	1	現状でよし。
60～69歳	女性	1	ボランティアによるマイカー防犯ステッカーを貼った車の巡回を増やす。
60～69歳	男性	1	市民がやる気になる行政、対策が必要。やり方次第。
60～69歳	男性	1	近所の人に目ごろから声かけをしている。
60～69歳	女性	1	高齢者(夫婦2人)の家庭が多く、若者が少なく、今後が大変だと思う。
60～69歳	女性	1	家どおしが遠いため、各自が対策するしかない。
60～69歳	男性	1	大災害が発生した場合、崖崩れ等で地区が孤立化した場合の対策。
70～74歳	女性	1	若い人が住めるように。
70～74歳	女性	1	分からない。
70～74歳	男性	1	自分の命を他人に考えてもらう事ではない。
70～74歳	女性	1	各自で心掛け、地域で心掛け。
70～74歳	女性	1	何かあった時、近所にすぐ知らせる手段がほしい。
70～74歳	男性	1	1人身の高齢者の見守り活動。
70～74歳	女性	1	災害時手助けが必要な個人、家庭などへの支援体制の組織づくり。
70～74歳	男性	1	見知らぬ人や自動車など気を付ける。
75～79歳	男性	1	必要ない。
75～79歳	男性	1	見かけない車等にもっと皆が関心を持つこと。
75～79歳	男性	1	自助努力、啓蒙、自助支援体制。
80～84歳	男性	1	自然災害の心配は、いつも感じている。
80～84歳	女性	1	別になし。
80～84歳	男性	1	一目でわかる目的の掲出。
80～84歳	女性	1	避難場所が遠い・一次二次とした方がよい。
80～84歳	男性	1	集落中危険なので安全対策なし。
85歳～	男性	1	道路の整備(特に幅員)。

26. 高齢者福祉に関することで、作手地域にあつたらよいと思うサービス(事業)

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	認知症対策などの見守り隊等。
15～19歳	女性	1	特になし。
20～29歳	男性	2	ありません。
20～29歳	女性	1	地域の中の高齢者を集めて暮らす住宅。
20～29歳	女性	1	特別養護老人ホーム(日帰り)ディサービスではなく入所ができる。
30～39歳	女性	1	介護療養型施設。
30～39歳	男性	1	医療・介護もすべて含んだ施設。
30～39歳	女性	1	買物の宅配。
30～39歳	男性	1	バスの本数を増やす。バス停の近くに駐車場を作る。食品加工場で好きな物を作り販売する意欲を。
40～49歳	女性	1	配食サービス。
40～49歳	女性	1	高齢者の集合住宅。
40～49歳	男性	1	今のところ興味がない。
40～49歳	女性	1	高齢者どうしの居住区。
40～49歳	男性	1	高齢者の受け入れ施設(介護)、交流の場所。
40～49歳	男性	1	高齢者と同居している若者への介護保険料の免除と市民税、固定資産税などの軽減措置。
40～49歳	男性	1	24時間かかれる病院。
40～49歳	女性	1	特養。
50～59歳	男性	2	特になし。
50～59歳	女性	1	長期に受け入れる所。
50～59歳	男性	1	高齢者専用住宅(老人ホーム)。
60～69歳	男性	1	自分一人では身動きできなくなった人を受け入れてくれるところ。
60～69歳	女性	1	ボランティアによるマイカー送迎。(保険等事故発生時時の問題をクリアできれば)
60～69歳	男性	1	高齢者専用地域内貨幣。
60～69歳	男性	1	住民に絶対な信用をもった医師を。また、その宣伝。
60～69歳	男性	1	個人所有車を使った送迎(予約制で)。
60～69歳	女性	1	村内バスの利用者が少ないため、個人タクシーを始めたらどうか。
60～69歳	男性	1	自宅訪問での確認施策(3日位の間隔で)。
60～69歳	男性/女性	3	高齢者介護施設。
60～69歳	女性	1	今は分からない。
60～69歳	女性	1	給食(弁当)サービス。
60～69歳	女性	1	年に関係なく集まって交流できるほうがよいのでは。何歳以上とかでなくはなく孫を連れて・・とか。友達と一緒にとか。
60～69歳	男性	1	虹の郷の利用規則の緩和、合併前は利用がしやすかった。
70～74歳	女性	1	一時的でなく長く受け入れてくれるところ。
70～74歳	女性	1	別になし。
70～74歳	男性	1	アルツハイマー病などの人を受け入れてくれる所。
75～79歳	男性	1	不安。
75～79歳	男性	1	農業等趣味として行う。道の駅、勇氣野菜館等の利用。
75～79歳	男性	1	現在のところ不要。
75～79歳	男性	1	IT、ケーブルテレビを活用する健康管理。
75～79歳	女性	1	食事のサービス、配達。
80～84歳	男性	1	特に現在感じられない。

## 27. 就学前の子供がいる親として、作手地域にあったらよいと思うサービス(事業)

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性	1	ありません。地域を充実させた方がよいと思います。
30～39歳	女性	1	地域の方でなく先生等が預かりをしてくれる事業。
30～39歳	男性	1	延長保育の時間延長、休日の登園。
30～39歳	男性	1	高齢者の方と子供たちのコミュニケーションの場。ボケ防止。じいちゃん・ばあちゃんの話などすればよい勉強になる。
30～39歳	女性	1	近くに遊具が有る公園があれば、子供は集まると思う。コミュニケーションの場は欲しいが子供たちの遊べるものがないと長居できない。
30～39歳	女性	1	病児保育(風邪で園をお休みする時など)。
40～49歳	女性	1	現支援センターが、子供を支援してくれる場所だとは言い切れないので、まず支援センターが本来の意味を取り戻すこと。現在、先生は不在。ふと立ち寄って、悩みを話す場所にはなっていない。保育士不足とはいえ、ひどいと思う。せめて、午前中だけでも、きちんと子育て支援される場として取り戻してほしい。
40～49歳	男性	1	こども園になり時間に厳しい面がでてきて不便。
40～49歳	男性	1	子供園や子育て支援センターが休業日のみとはいわず、いつでも行えて、預かっていただける公共施設が必要。(2・4の質問は限定しすぎて答えられない。)
40～49歳	男性	1	子供たちが遊べる公園。
40～49歳	男性	1	子供が遊ぶ場所が無い
40～49歳	男性	1	核家族で共稼ぎが前提の質問である理由がわからない。
50～59歳	男性	1	子供と遊ぶ十分な時間が欲しい。
50～59歳	女性	2	公園など遊ぶ場所があると良い。

## 28. 小学生の子供がいる家族として、作手地域にあったらよいと思うサービス(事業) No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	スポーツクラブ・子供会。
20～29歳	女性	1	交換留学制度。
20～29歳	女性	1	作手地域を走るバス。
30～39歳	女性	1	地域の方でなく先生等が預かりをしてくれる事業。
30～39歳	女性	1	作手内小学生対象とした催し物。
30～39歳	女性	2	遊具のある公園。
30～39歳	男性	1	新城のスポーツクラブに入ったときの送迎してくれるサービス。自転車で遊びに行く時の道路の整備。
30～39歳	女性	1	児童館、公園。
30～39歳	男性	1	もっとスポーツや体を動かせる所。
30～39歳	女性	1	塾。
30～39歳	女性	1	岡崎にある「学区こどもの家」のような施設。本を読む部屋や小さな体育館があり、子供が自由に出入りして遊べ、入口の管理室には大人の人もいて安心でした。
30～39歳	男性	1	塾等のように地域の知識・技術のある人が、子供にいろいろな事を教えることができる場所や機会があるといい。
30～39歳	女性	1	児童クラブが、今、18時までなので、それよりも長く必要な場合のサービスを考える必要がある。(ファミサポは、事務所が鳥原、作手では利用している会員がいるかどうか。作手にとって利用しやすいものかどうか。)児童館は、作手にない。中心部に放課後など行ける場所があると良い。図書室併用児童館のようなところ。常駐の方がいると安心。子供が、自転車などで行きにくい場合は、バスなど利用していいとよい。長期休み、夏休みなどにも行ける場所であるとよい。
30～39歳	男性	1	パソコン広場。
30～39歳	女性	1	児童館があるとよい。作手には公園もほとんどなくなり、児童館に行けば友達がいる、家に遊びに行かなくても友達との交流の場が作れ、安心安全に遊べる。
30～39歳	女性	1	安全に遊べる場所。
30～39歳	男性	1	スポーツ教室(新城市街への送迎など)。
30～39歳	女性	1	今は常に一斉下校なので低学年は授業後1時間以上学校で待っています。低学年のみの下校が地域の人付き添いで復活できるとうれしいです。
30～39歳	女性	1	学童(年齢などの縛りを少なく)、図書館、公園が少なすぎるので学区に一つずつぐらいは遊具の充実した公園があると良い。
30～39歳	女性	1	学童を一カ所だけでなく、通っている学校でやってほしい。
30～39歳	女性	1	病後児童の保育 熱が下がったけどもう少し、手足口病や長引くけど元気なときなど預かってもらえるところがあるといい。
40～49歳	女性	1	塾。
40～49歳	女性	1	私の家には祖父母がおり、子供2人だけで家にはいません。しかし農作業の忙しい時期など、ほんの少しの時間でも一時期だけ利用できるようなところがあればいいと思いました。下はもう6年生になり、上は高校生になるので今までの中でこんな風に思いました。
40～49歳	女性	1	バス停から家までお迎えに行けない時、送ってくれるスクールガードの人がいると安全だと思う。
40～49歳	男性	2	特になし。

## 28. 小学生の子供がいる家族として、作手地域にあつたらよいと思うサービス(事業) No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	学童(色々なケースの子供に対応できる)。
40～49歳	女性	1	学校以外でも楽しくやれるイベント(作手内で行われる)。
40～49歳	男性	1	振替休日(月曜日)等に預かってくれる施設。
40～49歳	男性	1	外で遊べるもの。大人数で遊べるもの。
40～49歳	女性	1	夏休みのBGプールまでの送迎バス、本屋さん、レンタル屋さん。
40～49歳	女性	1	下校後子供さんだけ(留守)の場合、児童館のようなある時刻まで見守ってくれる場所。
40～49歳	男性	1	地域の公民館などを利用した寺子屋みたいな塾・書道・パソコンを教えるえる定期的なセミナー。図書館の新設。
40～49歳	女性	1	塾など子供達が集まって勉強や宿題ができる場所。
40～49歳	男性	1	天候悪化時の自宅までの送迎。
40～49歳	男性	1	安心して遊べる空間。
40～49歳	男性	1	カラオケボックス、レンタルビデオ、宅配ピザ、居酒屋、スナック。
40～49歳	男性	1	仕事から帰っても営業している文具店や、学校に必要なものが揃っている店。
40～49歳	女性	1	放課後に、習字、そろばん、絵、ピアノなど1か所の施設で習うことができる場所があると大変助かります。
40～49歳	男性	1	クラブ活動。
40～49歳	女性	1	自由(土日)にも遊べる施設。
40～49歳	男性	1	世代交流事業。
40～49歳	女性	1	児童クラブ。
40～49歳	女性	1	今のところ特にありません。
40～49歳	女性	1	習い事(スイミング等)・塾等・子供が遠くまで通わなくてもよいようになると良いのと思います。
40～49歳	女性	1	親子参加型の行事。新城へ降りなくて、作手でできるといい。
40～49歳	女性	1	夏休み中にプール等スポーツ施設への送迎バスがあると子供達も自由に行け、施設の利用にもつながると思う。
40～49歳	女性	1	校舎での児童クラブをつくってほしい。
40～49歳	女性	1	学童保育(児童クラブ)の充実(場所を増やす)。預かる年齢の拡大。
50～59歳	女性	1	家族が仕事でいない時、預かってもらえる事業。
50～59歳	男性	1	児童館、公園。
50～59歳	男性	1	子供が休みの日に、一時的にあずかってくれる場所がほしいです。
60～69歳	女性	1	ボランティアで子供を遊んで(宿題も)見ていてくれる場所。
60～69歳	女性	1	中途半端な子守事業でなく作手から優秀な子どもたちが育成できる指導者を希望する。
60～69歳	女性	1	公園。
60～69歳	女性	1	児童のことを思って教育(特に教師)に対する不安等、きちんと聞いて対処する部署が欲しい。
60～69歳	女性	1	高校に普通科等有ると良いと思う。今の高校だと下におりてしまう。
70～74歳	女性	1	帰って来てから家人が皆忙しい時、どこかにちょっと預かってもらう所がほしい。
70～74歳	女性	1	通学路に大きな木があり、暗くあぶないところの木を切り、明るくしてほしい。持ち主は、木を切らないので、補助金を出して、持ち主に納得して切ってもらう。
75～79歳	男性	1	今回建設予定の「山村交流施設」内に子供の交流部会事務所を設けて活動する。(子供たちの意見を持って各種会を設ける。)

## 29. 放課後の児童クラブの在り方 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	分かりません。
15～19歳	女性	1	特に思わない。しいて言うなら自分で決めれるといい
30～39歳	女性	1	高里にできる新しい学校で全学年対象として。
30～39歳	男性	1	義務教育である程度は見えてほしい(見てくれる場所がほしい)。
30～39歳	女性	1	学校の隣や施設までの送迎が基本。
30～39歳	女性	1	現在のように、中、外どちらでも遊べる場所であれば良い。子育て支援センターと同じ場所では、子供たちが窮屈な思いをする。
30～39歳	男性	1	人数が少ないので個人競技を中心にした方が良い。人が増える可能性もない。
30～39歳	女性	1	児童クラブを利用したくても、6時までに迎えに行けないので利用できない。フルタイムで働いていると作手で働かないと6時までに帰ってこれない。
40～49歳	女性	1	時間延長。

## 29. 放課後の児童クラブの在り方 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	女性	1	北校舎で開設された時、何も説明がなかったので開設された事もだいたいぶたってから知った。利用時間・料金等何もわからない。
50～59歳	男性/女性	3	分からない。
50～59歳	男性	1	児童クラブの存在を知らない。
50～59歳	男性	1	特別な施設を設定しなくても、当面必要があれば、北、南校舎を利用して実施すればよい。小学校(長)が、地域のことをもつと理解して対応すべきと考える。
60～69歳	男性	1	サッカー、野球のクラブ。
60～69歳	男性	1	児童クラブがどのようなものか知らない

## 30. 中学生・高校生のころから地域の一人として地域の役割を担うことは、地域づくりを進めていく上で大切なことです。地域のどのような活躍の場があれば、子供を参加させてみたいですか。

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	女性	1	地元の農家と契約して、共同で農業を行い、販売等を子供たちが中心になって行う。*低価格でないと意味がない。
40～49歳	女性	1	中高生の話を聞く会など意見交換の場。
40～49歳	女性	1	土日、祝日の診療。
40～49歳	女性	1	参加が当たり前になっていてとても負担になっている。
40～49歳	男性	2	特になし。
50～59歳	男性	1	特になし。
50～59歳	男性	1	子供の自主性で良いのではないか。
50～59歳	男性	1	中学・高校生の間は、社会活動より、より内面的な事に目を向ける必要があると思う。
50～59歳	女性	1	祭事などの参加は重要に思います。
50～59歳	男性	1	地域の奉仕活動(清掃や草刈り等)。

## 31. 子育てをされていて、どのような不便さを感じることがありますか。No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	学校への通学(岡崎・豊田へなど)。
15～19歳	女性	1	通学。
20～29歳	女性	1	病院までが遠い。
20～29歳	女性	1	子供がいると買い物をするにも大変。当たり前だと思うけど、ちょっとの息ぬきもできないから少しでもあずけられる所が身近にあったらうれしい。サービスなど。病院がもう少し遅くまでやってくれるとうれしい。
20～29歳	女性	1	夜間診療の時、下まで行かないといけな。オムツやミルクを下に降りないと高い。遊べる場所が少ない。
20～29歳	女性	1	突然高熱を出したとき(夜)、夜間病院まで時間がかかる。赤ちゃん用品がない。(おむつ、ミルク等)
20～29歳	女性	1	子供が少ない。
20～29歳	女性	1	新生児の時は買い物に行くとなると車の中で泣かれることが多く、新城までの30分の運転が苦痛だった。(作手内でオムツやミルク等が買えないこと。)近くに安全に遊ばせる広場や公園がない。
20～29歳	女性	1	鴨ヶ谷はバスが通らない(小学校)為、他の地区より遠いので、小さな子供を一人で歩かせるのは不安。
20～29歳	女性	1	公園などが無い。室内で遊べる所がほぼない。病院(小児科)などは下まで行かないといけな。
20～29歳	女性	1	低月齢の時でも、健診や予防接種などで新城保健センターまで行かなければならない時。上の子のこども園のおむかえの時間(3時)に間に合わない場合もある。適当な公園がないこと。小学校などに遊ばせに行かせているが、各地域にあると、とてもよいのに、と思っている。
20～29歳	女性	1	子供の遊べる場所が少ない。
30～39歳	女性	1	子供だけでは、交通の便が悪くお友達の家にも行けない。お友達とお買い物にも行けない。
30～39歳	男性	1	近所、同学年に交流できる同性代がないこと。(子どもの)
30～39歳	女性	1	文房具などを買うのに新城まで下りなければならぬこと。
30～39歳	女性	1	相談相手がない。顔見知りばかりなので、愚痴や困ったことを話しても周りに広がる。
30～39歳	女性	1	学童保育が利用しにくい。近所に友達がいないと遊びに行かない。必要なものが作手に売っていない。(学校ですぐいるものとか)
30～39歳	男性	1	遊具のある公園があるといい。友達の家が遠いためあまり休日に友達と遊んだりしない。
30～39歳	女性	1	病院まで距離があり、時間がかかる。どこに行くにでも親の送迎がいる。合併したことで学校行事が多い。
30～39歳	女性	1	近所に子どもがいないので、遊ぶのに送り迎えをしないといけな。公園がないので、外で思い切り遊べない。
30～39歳	女性	1	健診、予防接種の会場が遠い。何をさせるのも家の者が車で送り迎えが必要で、仕事をしていると子どもの思うようにいろいろさせてやる事ができないところ。

## 31. 子育てをしていて、どのような不便を感じるがありますか。No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	保健センターに一人常について欲しい。
30～39歳	女性	1	公園など遊具のある所がない。作手内で子供用品の販売がない。
30～39歳	男性	1	公園がない。
30～39歳	女性	1	公園がないこと。土日も利用できる子育て支援センターがないこと。小さい子供でもいつでも遊ばせる場所があれば助かる。
30～39歳	女性	1	自然は豊かだけれど、公園や広場がなく、実際、子供達がボール遊びやなわとび・自転車・一輪車などで遊ぶのは駐車場。車が入ってこないような安心できる場所で遊ぶ場所がない。
30～39歳	男性	1	子供が少ないため、団体での競技・遊び・生活を体験させられないこと。作手地区内に、学習塾がないこと。教員を退職された方などが、勉強の習慣をつけるような場があるといい。
30～39歳	男性	1	診療所が休診の時に医療を受けたい時に、新城や豊川まで行く時に不便を感じる。
30～39歳	男性	1	子供がやりたい部活動がないので、新城まで行かなければならないこと。
30～39歳	男性	1	習い事について、種類が少ない。通うのが大変。
30～39歳	女性	1	①習い事の送迎に時間がかかるので、なかなか習い事を増やしたいができない。(ボランティアのそろばん教室は本当にありがたい。)②こども園では、一時保育があるが、作手では、保育士の数が少なくなり、一時保育も多くの子を受け入れにくい傾向にあるようなことも聞きました。安心して、必要な時に必要なだけ一時保育など子育て支援が十分に受けられるようお願いしたいです。③乳幼児に関して、作手では、健診、予防接種と少しずつ作手で行ってもらえるものが、減っています。長い時間の移動、冬道の危険なども考えても親子の負担は大きいです。合併したことで、作手は、子育てしにくい場所になってきていると感じます。保健センター・こども園・子育て支援センターなどもっと作手にとって、親子にとって味方になっていただきたい。④子育て支援センターでは、以前、毎週木曜日「ころころ」がありましたが、今は、火曜日で毎週でないので、毎週やっていただきたい。親子がふれあえる機会を増やしてください。
30～39歳	女性	1	新城市民病院の夜間診療がなく、豊川市民病院へ行くことになった。日頃から豊川市民病院へ行ったことがなく迷った。自分が体調が悪くても運転できなくて必要な買い物は近くに売ってない。子供の遊ぶ所が少ない。公園もない。新城総合公園のような0～3歳児でも遊べる遊具が欲しい。
30～39歳	女性	1	高校を豊川まで通わずにSバスと部活の時間が合わず、往復父親の車で新城駅まで送迎。バス利用の作手の子は昔と比べてだいぶ増えていると思う。本数を増便土日の時間の見直しを希望。本当に不便。
30～39歳	女性	1	夜道が暗い。
30～39歳	男性	1	運動不足を感じる。競争意識が低くなっている。施設が少ない。人との関わりが少ない。
30～39歳	女性	1	検診等で新城保健センターまで行かなければならないこと。特に1才未満の子を連れて・・・の時は時間帯も1時ぐらいで大変です。作手保健センターでも行って欲しいと思います。子供が熱を出した時に作手診療所だと診てもらえない日、時があるので他地域に行かなくてはならないことが多いです。子供向けの教室、講座が少ないこと。旧新城地区、豊田・岡崎まで行かないといけなないので。サークルでなければ施設を借りられないことや、サークルであっても予約、決まりが多く借りづらくなっているためだと思います。有料の施設も乏しい作手地域は公共施設のもう少し柔軟な対応をお願いします。
30～39歳	女性	1	地域に公園がない。作手地区に公園があれば、すこし自宅から距離があっても、車で遊びに行きたいと思うが。
30～39歳	男性/女性	2	作手高校に普通科がないこと。
30～39歳	女性	1	習い事が遠いので、通うのに時間がかかる(必ず送り迎えをしないと行けない)。子どもが友達の家へ行くのに送り迎えをしないと行けなかった(高学年になってからは、自分で行けるようになった)。働く場所が限られている。
30～39歳	男性	1	こども園が現状ですぐ受け入れ可能ではないので、出産等での受け入れは、臨機応変に対応してほしい。
30～39歳	女性	1	診療所の診察時間が短い。夜間の急病などどこに問い合わせたらよいか戸惑う。高校や大学の進学を考えたときに、もっとバスの本数がないと保護者の負担がとても大きい。
30～39歳	女性	1	小児科の専門医が不在。薬局がないので、小さい子に必要なオムツなどを買いに行くのが不便。公園がない。雨の日に遊べる場所がない。
30～39歳	女性	1	子供が少ない。通学路の暗さ。競争心がない。先生の質。
30～39歳	男性	1	年々子どもの数が減っている。
30～39歳	女性	1	交通の便が悪い。
30～39歳	女性	1	病院までが遠い。予防接種など新城保健センターまで行くことが不便。
30～39歳	女性	1	何でもかんでも合併して、子供が少ないから検診や予防注射を新城まで降りて行かないと行けなくなり、こども園は、8時30分から15時になり、帰宅に間に合わなくなることもあります。学校行事もお昼から16時くらいまで。
30～39歳	女性	1	働く親のためであるこども園や児童クラブを利用したくても遠いので、なかなか利用できない。作手で働く場が少ないので外に働きに行かざるをえず、こども園も遠いので、結局千郷を利用している。学校へ入学しからのことを思うと地区外もどうかと思うが、現実無理がある。子どもが少ないので仕方ないと思うが、やっぱり不便。習い事や送迎の時間が合わず、どうしても自家用車の送迎で、学校又はバス停まで行っています。バス利用者が少なく、本数が少ないのは分かりますが、1本乗り遅れると、次は2時間待ち・・・は辛いです。なので、どうしても迎えとなり、親の負担はかなりあります。(昔と比べると、バスの運賃も下がり、本数も増えたと思いますが、)運賃も守義線と同じにしてもらえたら良いです！
40～49歳	女性	1	病院が遠く診療時間が限られる。周りに一緒に遊べる子供がいない。図書館や公園など社会や他人と接したりする場がない(子育て時期)。
40～49歳	女性	1	通学の便や通学費用。

## 31. 子育てをしていて、どのような不便を感じるがありますか。No.3

年齢	性別	回答数	回答
40～49歳	女性	1	高校生になる子供の親としては、子供が高校へ通うことに大変な不便を感じます。子供が行きたいという高校へ、行くことができる実力が本人にあればどこへでも行かせてやりたいと思うのは、どの親御さんでも同じだと思います。しかし、国府や小坂井、豊川などの方面へ通うとなると、下宿やアパートで一人暮らしを考えると費用や安全の面で不安があります。もう少し交通の便が良いと子供たちの選択肢も広がると思いました。”家から通える”という点をどうしても抜いては高校を選ぶ勇気がありません。新城市内の高校の風紀ももう少ししっかりしてほしいものです。せっかくいくつも高校があるので、心から通いたいと思わせる高校であってほしいです。
40～49歳	女性	1	中高生はバス通学しているが、土曜の部活やいつもと下校時間が違うと迎えに行かなければならない時。しかも2人同日で時間があわず2往復しなければならない時とか不便を感じます。
40～49歳	男性	1	高校への通学の不便さ。小学校中学校の頃は週末のスポーツ少年団の送迎は必要のように思った。
40～49歳	女性	1	医療機関が少ない。交通の便が悪く送り迎えが必要。
40～49歳	女性	1	バス停、または学校までの送迎。
40～49歳	女性	1	子供が習いごと、プール、野球、友達の家に行く時、子供達をそれぞれ車で送っていかなければならないこと、近くなら自転車で行けるのと思う。4月から消費税が上がる、電気代・ガス代料金、野菜が値上がりするし、子供に費やすお金も昔よりいるので、生活が大変になってくること。保育園は4時までみえてもらえ、3時まで働けたのに、こども園になったら3時お迎えのため、2時半までしか働けないこと。1歳半検診などを作手保健センターでやらず、新城保健センターでやること、大勢なので待つし、行き帰りの時間があるので遠い。スポーツ少年団(野球部)の人数が少ないので、来年長男(5年)の時全部で9人、6年になった時は4人で、試合ができなくて廃部かもしれないこと。子育て支援センターは、何かやる時は集まるけど、他の日は誰も来ていないので、1人でほしい、遊びに行かない、近くに公園があればと
40～49歳	女性	1	小学生との交流活動は、各小学校の運動会参加(お手伝い)で有意義な交流ができていると思います。高齢者との交流活動は、わかりませんが、小学校の運動会を、子供がいない年寄りでも参加できるように、(例えば・農産物即売！?)などのバザーやイベントも兼ねて、近くで行えたら多少はお互いに交流になるかもしれないと思います。その時には、中・高校生は、イベントのスタッフになれているといいと思います。
40～49歳	女性	1	習い事や、通学(高校)、友達と遊ぶなど、何をすることも親の送迎が必要となるので、親の負担が大きい。
40～49歳	女性	1	この先できる予定だが、子供が小さいうちに、公園で遊ばせたかった。運動能力もついたらどうし、親、子ども、ふと集まって、雑談できる場所が欲しかった。
40～49歳	女性	1	子どもの数が少ないので、多数派でない子どもがいじめに合いやすい。多くの子どもがいる場所は、いじめも有るが、少数派どおし助け合うことができる。多様な価値観、グループがあり、居場所が見つけられる。
40～49歳	男性	1	作手高校が、大学、大学院、留学、進学を視野に入れた教育の場としてふさわしくない。外部の高校へ通学させているが、通学時間も通学費用もかかり、経済的に大変。我が家の子は大病をしなかったが、もしも病弱な子だったら、医療の心配もあったと思う。
40～49歳	女性	1	27～31の質問は、子供のいない人たちにも経験から言えること、見ていて言える事、色々あると思います。なぜ限定的質問にする意味があるのですか。
40～49歳	男性/女性	10	通学するにあたり交通機関の不便さ。
40～49歳	男性	1	学校以外の塾など。
40～49歳	女性	1	学校以外でも勉強を見てくれる所があるとうれしい。質問があっても先生に聞けなかったり(先生も忙しいため)。
40～49歳	女性	1	近くに友達がいらないため遊びに行くしかない。作手に公園があればよいと思います。
40～49歳	男性	1	子供が具合が悪くなったりすると、診療所が午後は終わるのが早いので、新城市内まで行かないといけなくなる。
40～49歳	女性	1	公園など遊具が設置してある場所がないため、子供たちをあそびせる場所がない。
40～49歳	男性	1	振替休日(月曜日)などに子供を預けられる場所があるといい。
40～49歳	男性	1	延長保育が18時(19時)に1時間短縮されたとのこと。いくら利用者がいないからといって短縮と安易にするのは、18時とうたうと、18時までしか預けてもらえないかと知らない人は思う。必要時は、19時までOKと未来課は、言って欲しい。地域発展をさせたいのなら子育て支援を拡充すべき。19時まで利用者がいないといっても、「19時まで可」ときちんと明記してほしい。子育て世代は、作手地域で働く所もなく、困る。そういった所がきちんと整えられる市であって欲しい。また、これから学童も利用するので、放課後、学童のある所まで移動するのも大変で心配。そのまま学校で学童するのが子供たちの安全面から親としては安心。
40～49歳	女性	1	日用品、薬を購入するのに、店がないため不便である。近所に子供が遊べる公園(広場)がない。子育て支援に関する市(こども未来課)の対応が悪い。新城市が他市に比べ制度が整っていない。
40～49歳	男性	1	適当な高校が近くにないこと。(通学が負担)
40～49歳	女性	1	バス(Sバス作手線)の朝(5時・6時)、夜(17時18時19時20時)の時間帯の本数を増やしてほしい。
40～49歳	女性	1	子どもの数が少ないので、丁寧に関わってもらえる半面、1学年に10人はいるといいなと思います。友達と遊ばせたくても、なかなか遠方だと送迎も大変です。
40～49歳	男性	1	近くに図書館がない。
40～49歳	女性	1	専門の病院が地域に少なかったり遠かったりするのが不便。通学する高校が限られている。
40～49歳	女性	1	近所に友達がいらない。同級生が少ない。進学の際通学できる学校が限定されてしまう。バス通学だがJRとの乗り継ぎが悪く車で送迎しなければならないことが多い。
40～49歳	女性	1	子供たちが少なく、友達ともなかなか遊べない(近所にあまりいないので、車や自転車で行かないといけなく)。塾が少ない。病院(専門医)が無い。夜に「学校で明日、あれがいる。」「学校で使うものが無い。」と言っても店が無いので困る。
40～49歳	男性	1	高校への通学、バスの本数を夜まで増やしてほしい。子供も少なく子供が遊びに行くのにも家ごとの距離が遠い。又遊びに行く場合も危険が多い。

## 31. 子育てをしていて、どのような不便さを感じることがありますか。No.4

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	交通の便の少なさ。
40～49歳	男性	1	放課後や休日に友人同士が気軽にあって遊べる距離にそれぞれの自宅が無いことが残念。習い事などがどうしても遠距離になってしまう。部活動等が数少なく、限定されてしまう。
40～49歳	女性	1	小さな子供の遊ぶ場所が無い(遊具の有る公園・広場等)。唯一の交通手段(公共)であるバスの本数が少なく通える高校も限られてしまう。
40～49歳	男性	1	ストレス発散の場がほしい。居酒屋、スナック、カラオケボックス。
40～49歳	女性	1	進学を考えた時、通学時間が長く選択に限られる。(独り暮らしをするには、高校生では不安を感じるため)
40～49歳	男性	1	病院がない。(小児科)
40～49歳	女性	1	学習塾など通うのが大変。子供達だけで安心して遊べる施設や、運動公園などにある体をつかって室外で遊べる遊具のある公園などがあると、遠くまで連れて行かなくてもよくなる(親が送迎しなければ、子供通して遊べない現状があるため)。学校にプールがあると自宅から近くて、夏季にプールへ気軽に行ける。B&Gまでだと遠くて、子供だけでは通うに大変。
40～49歳	男性	1	友達の家が遠い。(近所に子供が少ない。)
40～49歳	女性	1	通学手段(乗る人が少ないので仕方ないと思いますが、時間帯が不便なことがあります)。
40～49歳	男性	1	バスの本数が少ない。
40～49歳	女性	1	病院(特に耳鼻科)が、学校休みの時に(放課後、土曜日)行く場合に豊川、豊橋まで行かなきゃいけないところ。
40～49歳	女性	1	高校に通っていた時とバスの少なさには本当に不便を感じました。数年前バスの時間や料金が改定され、大分良くなりましたが、まだまだ親が迎えに行かなくてはならない時がたくさんありました。今は豊鉄さんがやってくれていますが、ワゴン車を利用するなどして車を小さく、コストを抑え、市が運営してくれてもいいのではないのでしょうか。もう少し本数を増やし、最低でも1時間に1本は走らせてほしいです。今のままでは、結局親が送り迎えしなくてはならない時があるので、定期を買ってももったいないということになり、その都度お金を払うとなると行ける時にはなるべく自家用車ということになり、ますますバス利用が減ってしまうのではないのでしょうか。※定期の料金をもう少し安くし、本数を増やせばもっと利用者が増えると思います。よく空で走っている大きなバスを見かけもったいないなあと思います。
40～49歳	男性	1	通学、部活をしていると下からあaggてこれるバスがない。
40～49歳	男性	1	子供が少ない。
40～49歳	男性	1	公共交通機関の便が悪い。
40～49歳	男性	1	作手では、中学校までは特に感じなかったが、高校からは、学業の不便さを感じる。
40～49歳	女性	1	世帯数が少ないので、それぞれの役員(こども園・小学校・中学校)がずっと続く。仕事もしてるので、とても大変です。これからも何年も続くのかと思うと、子供を産んだ事すら後悔してしまうくらいです。
40～49歳	女性	1	登下校が一人で農閑期などは、外に人がいなくて、事件事故に合った場合(つれさりなど)目撃者がいないとなると不安です。
40～49歳	女性	1	一番不便だと感じる事は、交通の便が不便だと思います。
40～49歳	女性	1	中学までは通学に不便を感じないのですが、高校生になると作手地区外への通学が必要になります。Sバスを利用できる時は利用しているのですが、本数も限られているので、どうしても通学の送迎が不可欠となり、子供の送迎に振り回されるのが不便だなあと感じています。
40～49歳	女性	1	バスが少なくて高校を選ぶのが大変。豊川くらいまで高校を選ぶようにバスの本数を増やしてほしい。
40～49歳	男性	1	バスの通行の数が少ない。
40～49歳	男性	1	塾に通わせるにも、そこまでの距離が遠いので、時間ももったいない。
40～49歳	女性	1	習い事をさせるにも遠い。塾がない(作手内に)。友達の家が遠い。子供の数が少なく、社会性が育ちにくい。
40～49歳	女性	1	どこへ行くにも親が車で送り迎えしなくてははいけないことに不便さを感じます。
40～49歳	男性	1	地域に同学年の子供がいない。
40～49歳	女性	1	習い事等を近くでできる場所がなく遠くに行かなくてははいけないこと。
40～49歳	男性	1	通学距離が長い事。
40～49歳	女性	1	登下校の交通手段や時間。中学→朝練、高校→下校。中学バスを高校生も利用できないか(作手在住の子のみ)。
40～49歳	女性	1	高校に通学する際、通学手段において公共交通機関(バス)だけでは実際には通学できず家族が対応せざるを得ない。
40～49歳	男性	1	子供だけで自転車で出かけられない。自転車道がない。坂が多い
40～49歳	女性	1	こども園の延長保育時間を長くしてほしいとの声を聞く。
40～49歳	女性	1	テスト週間などで、早く家に帰りたくても、帰る手段がない時がある。
40～49歳	女性	1	近くに子供がいない為、在宅時の時間の過ごし方に困る。(友だちと遊ぼうと思うと、親の送り迎えが必要となる。)
50～59歳	男性	1	交通の不便さ。
50～59歳	男性	1	学校の送迎。
50～59歳	女性	1	どこに行くのも、送り迎えをしなければならないので、自分の時間がなかなかできないし、子供も時間にしばられてる気がする。

## 31. 子育てをしていて、どのような不便さを感じることがありますか。 No.5

年齢	性別	回答数	回 答
50～59歳	女性	1	近くに友達がいない。
50～59歳	男性	1	高校通学のためのバスの便が少なく送り迎えが必要となる。
50～59歳	男性	1	近所に子どもがいない。高齢者の運転が荒い。
50～59歳	女性	1	子どもが少なく、子ども同士の交流が子供の親世代より少ない。
50～59歳	女性	1	専門医療機関がないので不便である。子供の行動において常に送迎が必要となる。
50～59歳	男性	1	すべに於いて送迎が必要で時間をとられる。
50～59歳	女性	1	交通手段がない(少ない)ため、本人が希望する学校を選べない。
50～59歳	男性	1	交通機関が発達していない。
50～59歳	女性	1	子どもが安心して遊べる場所がない事が不安である。
50～59歳	男性	1	高校への進学、通学。
50～59歳	女性	1	薬局があればと思うことがあります。生活必需品、食料品などが高価に感じます。
50～59歳	女性	1	通学の不便さ、バスの便が少ない(バスの便がもっと多ければ利用できるが、少なすぎて利用しづらい。)
50～59歳	男性	1	作手以外の学校に通学する場合、公共交通手段がバスしか無く、本数の増加を望みます(料金は現在くらいで良いと思います)。
50～59歳	男性	1	通学の交通手段。
50～59歳	女性	1	新城東高校作手校舎がいつまで残っているかわかりませんが、高校へ行くための交通手段が気になります。
50～59歳	男性	1	通学に自家用車は必需品で有り、公共交通機関も数が少なすぎる。また、中学校では人数が少ないが為に部活動の種類が限られてしまう。
50～59歳	男性	1	通学、塾の送り迎え。
50～59歳	女性	1	休日等、急病になった時、病院までが遠いので不安であり、不便。
50～59歳	男性	1	旧作手村でのジュニアリーダー活動の復活(子供会)。つくで祭やサマカンの実行委員会への参加、以前は青年団が高校生を取り込んでやっていたが、青年団が解散してしまい残念である。
60～69歳	女性	1	街に行くことが多く要求される。(親も仕事を持っているので、たまにはゆっくりしたい。)
60～69歳	男性	1	保育時間(こども園)が短い。
60～69歳	女性	1	作手高校を一流にしてほしい。時間とお金がかかる。母子で村外へ出ていくことになる。
60～69歳	女性	1	公共の乗り物がないので、親が連れていかなければならない。
70～74歳	女性	1	孫が市外の高校(進学校)に通学している。通学時間、費用もかかり、経済的にたいへん。自分達が子育てしていた時は、作手中学、作手高校から大学に進学できたが、今の作手高校では、孫たちの望む高等教育は受けられないようなので……。孫とあまり遊べなくてさみしいです。(時間が無くて)
70～74歳	女性	1	孫守りをしています。孫を遊ばせる場所がありません。鬼久保広場の遊具、旧保育園の遊具、地域の遊具がみんな取り壊されてしまいました。「黒瀬老人憩いの家」広場にあった遊具のような物をどこかに作ってほしい。
75～79歳	女性	1	一緒に生活していないので、わかりません。
75～79歳	男性	1	学力・体力の低下。
75～79歳	男性	1	作手地域外高校への通学手段。
75～79歳	男性	1	子供用のパソコンや図書館などのコーナーが必要。
75～79歳	女性	1	私の家は民家と離れているので学校の送り迎えが大変です。特に忙しい時は待っている時間ももったいないくらいです。そのために自転車を買ってやったのですが、高学年になると遅くなるのでどうしても暗くなり、道中で何かがあった場合は困ります。

## 32. 農業にどのように携わっていますか。 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性/女性	4	学校で習っている。
20～29歳	男性	1	就農に向けて取組中。
20～29歳	女性	1	大学のプロジェクトでたまに携わる。
20～29歳	男性	2	たまに家の手伝いをする。
30～39歳	男性	1	主としてはやっていないが、家族の手伝いはしている。
30～39歳	女性	6	家族がしている。
40～49歳	女性	1	自分は農業はしていないが、パートで常に農業に携わっている。
40～49歳	男性	1	病気のため休んでいる。
40～49歳	女性	1	農家だが手伝うことはほとんどしていない。

## 32. 農業にどのように携わっていますか。 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	これから携わって行く。
40～49歳	男性	1	畑作りを少し手伝っている。
40～49歳	女性	1	家庭菜園程度。
40～49歳	女性	1	これから農業に携わっていくために学校に行っている。
40～49歳	女性	1	農業のパートをしている。
40～49歳	女性	1	家庭で消費できる程度の米、野菜作りのお手伝い。
50～59歳	女性	2	農業のパートで働いている。
50～59歳	男性	1	畑を、土地を借りてやっている。
50～59歳	女性	1	家族とともに。
50～59歳	男性	1	4・6。
50～59歳	女性	1	農地はないが借りて畑をしてる。
50～59歳	女性	1	田植えに苗箱を洗う程度。
60～69歳	男性	1	農作物は作っているが試験栽培中。
60～69歳	女性	1	農産物を利用して加工している。
60～69歳	女性	1	野菜のみを作っている。
60～69歳	男性/女性	3	家庭菜園。
60～69歳	男性	1	委託できるところはお願いし、それ以外は保全管理(主に草刈)のみ。
60～69歳	男性/女性	2	畑を借りて農業をやっている。
60～69歳	男性	1	田畑はあるが農業はしていない。
60～69歳	男性	1	4・6。
70～74歳	男性	1	開墾すれば農地にできるが、今は何もしていない。
70～74歳	女性	1	コメは作らない。
70～74歳	男性/女性	2	農地はないけど借りて作っている。
70～74歳	男性	1	家庭菜園。
75～79歳	男性	1	農業収入では生活ができない。今後、作手の水田をどうするか考えるべきだ。高齢化で携れない。
75～79歳	男性/女性	2	家庭菜園としての野菜作り。
75～79歳	男性	1	山仕事中心に農業手伝い。
75～79歳	男性	1	農地はあるが草刈に困窮。すべて休耕。
80～84歳	女性	1	野菜を少し作っている。
85歳～	男性	1	健康で農業が好きなので、出来ることは何でも手伝っている。
85歳～	男性	1	入院中。
85歳～	男性	1	高齢のため何もしていない。

## 34. 今後どのような農業をしていきたいですか。 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性/女性	3	先のことなのでわからない。
20～29歳	女性	3	分からない
20～29歳	女性	1	農業に興味がない。
30～39歳	女性	1	両親にまかせている。関与していない。
40～49歳	女性	1	農業に興味はあるが今現在やれる状態にない。
40～49歳	女性	1	継ぐ必要はあると思うが、どのようにしていくべきかよくわからない。
40～49歳	男性	1	農地はないけど、自家消費くらいは自給したい。
40～49歳	女性	1	農業はやらない。
40～49歳	男性	1	現状のまま続けていきたい、現状を守ることもとても努力しているが。
40～49歳	男性	1	休耕田などを利用して、農家でない人も農業ができるようにしてほしい。
40～49歳	女性	1	自家用ぐらいやりたいと思うが、できないと思う。(時間&手入れ)

## 34. 今後どのような農業をしていきたいですか。No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	農地はないが、会社としてやってみたい。
40～49歳	女性	1	農業をやってみたいが、農地がない。
40～49歳	男性	1	自分の食べるものを作っている人は尊敬する。
40～49歳	女性	1	思わない。
40～49歳	女性	1	3・4。
50～59歳	男性	1	貸している。
50～59歳	女性	1	病気なので何にも考えられない。
50～59歳	女性	1	現状維持。
50～59歳	男性	1	4・国制度の中で農業を主業とするのは無理。最低でも自分達が食する程度の農業を続けるのが精一杯だろう。
50～59歳	女性	1	定年後手作り村などに野菜を出して小遣いにしたい。
50～59歳	男性	1	家庭菜園程度はやって行きたい。
50～59歳	男性	1	先が読めない。どうなるかわからない。
50～59歳	女性	1	3・4。
60～69歳	男性	1	検討中～二次～三次農業を。
60～69歳	女性	1	身の程に合わせて。
60～69歳	男性	1	有機栽培米の作付の増大と食味値向上、高付加価値米の増大に努める。
60～69歳	女性	1	今まで菊摘みをしていたが、ないのでやらない。
60～69歳	女性	1	加工販売に力を入れていただきたい。
60～69歳	男性	3	現状維持。
60～69歳	男性	1	土地は価値を失った以上、農業、林業を行う人に委ねるより、しょうがない。政府の不信から未来はない。残念！！
60～69歳	男性	1	日本農業では生活収入を確立不可(TPP)。
60～69歳	男性	1	年金と農業収入で生活するため農業を行う。
60～69歳	男性	1	農地はないが、家庭で消費できる程度の農業をやってみたい。
60～69歳	女性	1	農業経営の手伝い程度ならやりたい。
60～69歳	女性	1	自分の分野は確保したいが体がついていかない。
60～69歳	女性	1	農地があっても高齢また一人ではできない。
60～69歳	男性	1	使用しない農地を国に返却
60～69歳	男性	1	農業に興味がない。
60～69歳	男性	1	3・4。
60～69歳	女性	1	貸してある。
70～74歳	女性	1	休耕。
70～74歳	女性	1	農地は少しあるが病弱であるためやらない
70～74歳	男性	1	野菜や花などつくっても良いとは思っている。
70～74歳	男性	1	今のまま。
70～74歳	女性	1	農地はないが農業のあり方には関心がある。
70～74歳	女性	1	3・4。
70～74歳	女性	1	家庭菜園程度で良い。
75～79歳	男性	1	農地は一つ一つが小さく、機械が入らなくてだめ。
75～79歳	女性	1	農地はあるが、高齢のため。
75～79歳	男性	1	高齢者になり作業不能
75～79歳	男性	1	程度、程度。
75～79歳	男性	1	住環境維持のため農地の荒廃を防ぐため。
75～79歳	男性	1	農地はあるが、農業目途なし。
80～84歳	女性	1	農地はあるが作る人がいないので、他の人に貸しています。
80～84歳	女性	1	3・4。
80～84歳	女性	1	高齢化。

## 34. 今後どのような農業をしていきたいですか。No.3

年齢	性別	回答数	回 答
80～84歳	男性	1	同じくらいの人と共同で行ったらどうか。
80～84歳	女性	1	農地は所有しているが、耕作できない状況です。
80～84歳	男性	1	農地はあるが耕作放棄したい。
80～84歳	男性	1	赤字が出るので出来ない。
85歳～	女性	1	興味がないわけではないが、農業ができないので、農地を貸したい。
85歳～	男性/女性	2	高齢のため何もしていない。

## 36-1. 休耕している理由は。No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性	1	米を一年に消費する量だけ購入するようになったため。
15～19歳	男性	1	田んぼが小さいので、大きな機械が入らない、だそうです。
15～19歳	女性	1	猪、鹿の被害で作れない。作っても荒らされるのでやめた。
20～29歳	女性	2	手が回らない。
20～29歳	男性	1	手間がかかからない木材の育成にした。
20～29歳	女性	1	作ることができないため。
20～29歳	男性	1	やらないだけ。
20～29歳	女性	1	農業をする人がいないから。
20～29歳	男性	1	時間がない。
20～29歳	男性	1	農地環境があまり良くないため。
30～39歳	女性	1	作る人がいない。
30～39歳	女性	1	動物に食べられたしまうから。会社員なので、農地を活用する時間がない。
30～39歳	女性	1	場所的に不便。
30～39歳	女性	1	作りにくい。出来が悪い。
30～39歳	男性	1	鹿やいのしし等に作物を食べられてしまう。
30～39歳	男性	1	人手、機械不足で採算が合わない。
30～39歳	男性	1	作付予定がない。
30～39歳	男性	1	大変だから。兼業だと手がまわらない。
30～39歳	男性	1	日陰で誰も借りないから。
40～49歳	男性/女性	4	耕作しづらい土地のため。
40～49歳	女性	1	親が高齢のため。
40～49歳	女性	1	農地が広く手が回らない。機械が搬入できない。
40～49歳	男性	1	面積が小さく水の確保が困難。
40～49歳	男性	1	仕事がいそがしいため。
40～49歳	女性	1	兼業農家のため作る限界がある。
40～49歳	男性	1	親が足が悪くなってやらなくなった。
40～49歳	男性/女性	2	日当たりが悪い。
40～49歳	男性	1	手が回らない。
40～49歳	男性	1	土地の所有権上のトラブル。
40～49歳	男性	1	作る物がない。
40～49歳	男性	1	耕作しても損だから。
40～49歳	男性	1	他に仕事をしているので、農業まで手が回らない。
40～49歳	女性	1	米つくりをやめた。もうやっつけられない。
40～49歳	男性	1	作れない。
40～49歳	女性	1	耕作する時間と知識がない。
40～49歳	男性/女性	2	獣害被害。
40～49歳	女性	1	大変だから。

## 36-1. 休耕している理由は。No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	女性	1	便が悪い。日当たりが悪くなった。やる気もない。
40～49歳	男性	1	農業ができない。
40～49歳	男性	1	日当たりが悪い。
40～49歳	女性	1	作る必要がないから。
50～59歳	男性	1	農地改良し作付出来ない。
50～59歳	女性	1	農機具が使用できないため。
50～59歳	女性	1	国からの決まり、特に米。
50～59歳	男性	1	耕作するものがない。
50～59歳	女性	1	やる人がいない。機械がない。
50～59歳	男性/女性	9	鳥獣の被害が多く、耕作出来ない。
50～59歳	男性/女性	12	圃場条件が悪い。
50～59歳	女性	1	減反のため。
50～59歳	男性	1	耕作を請け負ってくれる人がいない。(数年来放置してあったため受け手がいない)
50～59歳	女性	1	人に貸しているからわからない。
50～59歳	女性	1	休耕しなさいと言われているから。政策では。
50～59歳	男性	1	耕作不可のため。
50～59歳	女性	1	家庭で消費する量であればよいので作るより購入した方が安くなるため。
50～59歳	男性	1	以前は稲作をしていたが。
50～59歳	女性	1	機械等がない。
50～59歳	男性	1	人手が足りない。借り手がいない。
50～59歳	男性	1	休耕して年数が至っているため。
50～59歳	男性	1	施設跡地。
50～59歳	男性	1	減反。
50～59歳	男性	1	管理できない。
50～59歳	男性	1	1. 水田の土壌の排水が悪くぬかるんでいるため、水稻を育てようにも機械が入れないため。2. 兼業で土日しか耕作できないため。
50～59歳	男性	1	転作分。
50～59歳	男性	1	国の政策の為。
50～59歳	男性	1	仕事が忙しい為。
50～59歳	女性	1	耕作するものがない。
50～59歳	男性	1	耕作している時間がない。
50～59歳	男性	1	労力不足。
50～59歳	女性	1	鳥獣害対策が大変である。買う方が得。
50～59歳	男性	1	採算が合わない(農地が少ないので)。
50～59歳	男性	1	会社勤めの為と母親が高齢の為。
50～59歳	男性	1	機械がない。労力がない。
50～59歳	女性	1	仕事で忙しく米は作っていない。
50～59歳	男性	1	時間がない。
50～59歳	女性	1	主人が出張の仕事が多く、自分も職ですれ違いが多くて出来ない。
50～59歳	男性	1	稲作の生産調整のため。
50～59歳	女性	1	手におえないから。
60～69歳	男性	1	やる人がいない。
60～69歳	男性	1	耕作する時間がない。
60～69歳	男性	1	荒地となり耕作できない。
60～69歳	女性	1	作るものがない。
60～69歳	女性	1	勤めているため休耕してしまった。
60～69歳	女性	1	廻りの農地が山林化したから。

## 36-1. 休耕している理由は。No.3

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	長く休耕しているので、農地として活用不能。
60～69歳	男性/女性	2	休耕制度が始まってから、そのまま現在に至る。
60～69歳	男性/女性	3	手間がない。
60～69歳	男性	1	必要ないから。
60～69歳	女性	1	面積が小さく場所が悪い。
60～69歳	女性	1	荒地地となっていて耕作は無理。
60～69歳	女性	1	工作に対する機械などの準備がない。
60～69歳	男性	1	耕作地が小さい。作るものがない。
60～69歳	女性	1	作る野菜等がない。
60～69歳	男性/女性	16	圃場条件が悪い。
60～69歳	男性/女性	12	動物の被害のため。
60～69歳	男性	1	今は会社員。作るのは家庭で消費できる程度。
60～69歳	男性	1	メリットがない。
60～69歳	男性	1	勤め人のため時間がない。
60～69歳	男性	1	必要以上の食糧は不用。猪・鹿に苦慮するため。
60～69歳	女性	1	農業をやる気がない。
60～69歳	男性	1	石が多く耕作ができない。
60～69歳	男性	1	農機が高価すぎるため。
60～69歳	男性/女性	2	使用価値がない。
60～69歳	女性	1	体力がない。
60～69歳	男性	1	農業をしている暇がない。あまり興味がない。
60～69歳	女性	1	水がない、田なりが悪い。
60～69歳	男性/女性	2	農機具がない。経験がない。
60～69歳	男性	1	時間がないことと収支バランス。
60～69歳	女性	1	主人は勤めがあるので時間がないため、又私一人ではできない。また米づくりには肥料、農薬等機械の維持費がかかるので採算が合わない。
60～69歳	女性	1	高齢になってきて仕事が思うようにできない。
60～69歳	男性	1	畑地の周辺農地が荒れている。
60～69歳	女性	1	草刈だけはやっている。
60～69歳	男性	1	設備費用に金がかかる為。
60～69歳	男性	1	耕地整理がしてない。シカ、イノシシ等の害が多い。
60～69歳	女性	1	女で体調が悪いため。
60～69歳	男性	1	農機具なし。
60～69歳	女性	1	委託までして経費を使ってやろうとも思わない。
60～69歳	男性	1	転作事業後引き続き休耕。
60～69歳	男性	1	機械がない。
60～69歳	男性	1	赤字が増えるだけ。
60～69歳	男性	1	今以上、稲作をしようと思わない。
60～69歳	男性	1	米作りの農機具が無い。
60～69歳	男性	1	転作(林地)。
60～69歳	男性	1	面倒である。
60～69歳	女性	1	稲刈り等委託にかかる費用が高額になり、休耕しているが、管理は続けている。
60～69歳	男性	1	周りの水田耕作者なく草刈だけしている。
60～69歳	男性	1	収益性がない。
60～69歳	男性	1	メリットがない。
60～69歳	女性	1	耕作するメリットがない。
60～69歳	男性	1	1. 不健康のため。2. 鳥獣による被害が多いため。

## 36-1. 休耕している理由は。No.4

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	自己保全。
70～74歳	女性	1	きつい。鹿や猪、猿にとられる。
70～74歳	女性	1	年をとり、働くのがえらい。野生動物の被害が多すぎる。
70～74歳	男性/女性	8	鳥獣害による。
70～74歳	女性	1	減反。
70～74歳	女性	1	転作してからそのまま。
70～74歳	女性	1	畑は草地に長男が自分流に使っている。
70～74歳	男性/女性	2	手が回らない。
70～74歳	女性	1	畑。
70～74歳	男性	8	圃場条件が悪い。
70～74歳	女性	1	耕作者がいない。
70～74歳	女性	1	指定休耕地。
70～74歳	女性	1	生活のため。
70～74歳	女性	1	作ってくれる方がいない。田が小さい、水キレが悪い。
70～74歳	女性	1	高齢のため。
70～74歳	女性	1	農道がないため、農機具が入れない。
70～74歳	男性	1	減反政策。
70～74歳	男性	1	農業をする意欲が持てない。
70～74歳	女性	1	農道がないため作業がしにくい。高齢者となり自分たちではできない。人手に頼れば経費がかさむ。鹿、猪に荒らされる。
70～74歳	男性	1	利益が上がらない。
70～74歳	女性	1	作業が出来かねるから。
75～79歳	女性	1	病気の夫の介護のためできないし、自分も高齢のため。
75～79歳	男性/女性	14	鳥獣害のため。
75～79歳	女性	1	若い者がいないので、女1人では、どうにも出来ない。
75～79歳	男性	1	放置しているため、耕作できない状況。
75～79歳	女性	1	高齢のため。
75～79歳	女性	1	手が回らない。
75～79歳	女性	1	ハウス跡地。
75～79歳	女性	1	人手がない。作る必要もない。
75～79歳	男性	1	転作してからそのまま。
75～79歳	男性	1	耕作地が不便、人員不足。
75～79歳	女性	1	多く土地があつて回っていけない。
75～79歳	男性/女性	10	圃場条件が悪い。
75～79歳	男性	1	適当な作物がない。
75～79歳	男性	1	手がまわらない。
75～79歳	男性	1	機械、労力がない。
75～79歳	男性	1	水利が不便で、耕起のみ年に5～6回している。(管理休耕)
75～79歳	男性	1	耕作しても損だから。
75～79歳	男性	1	湿地、手が回らない。
75～79歳	男性	1	人手がない。
75～79歳	女性	2	減反政策以来。
75～79歳	女性	1	牧草・トマトハウス用。
75～79歳	女性	1	仕事まわらなく、畑がどんどん荒れて行く。
75～79歳	男性	1	体力がない。
75～79歳	女性	1	3割減反している。
75～79歳	男性	1	不便。

## 36-1. 休耕している理由は。No.5

年齢	性別	回答数	回 答
75～79歳	男性	1	3割減反に協力。
75～79歳	女性	1	牧草。
75～79歳	女性	1	耕作が出来ない。
75～79歳	男性	1	永年作物、栗を作っている。
75～79歳	女性	1	永年作物(栗)。
75～79歳	男性	1	作る物がない。作ってもイノシシ、シカ、サルにやられる。
75～79歳	女性	1	高齢でできない。
75～79歳	男性	1	高齢、採算、後継、社会的経済的状況。
75～79歳	女性	1	高齢のためと作付しても野生動物に食べられる
75～79歳	女性	1	高齢者であるので？猿、シカが多くて。
75～79歳	女性	1	病気もちの老人一人ではどうしようもない。
75～79歳	男性	1	耕作が大変だから。
75～79歳	女性	1	一人暮らしでなにもできません。
80～84歳	女性	1	農業をやる人がいない。
80～84歳	男性/女性	6	獣害被害。
80～84歳	女性	1	永年耕作していないので荒地地となっている。
80～84歳	男性/女性	6	国の減反政策。
80～84歳	女性	1	自分の野菜のために作っている。
80～84歳	男性	1	耕作してくれる人がいない。
80～84歳	男性	1	小さい田畑、3アール位がおおい。
80～84歳	男性	1	しんどいから。
80～84歳	女性	1	作り手がない。水が入らないなどの問題があるため。
80～84歳	男性	1	息子が主たる作業者だが、作手に住んでいない。
80～84歳	女性	1	仕事が違うので、作って戴いています。
80～84歳	男性	1	作業委託。
80～84歳	女性	1	作れない。
80～84歳	男性	1	初の休耕田の割り付け以来。
80～84歳	男性	1	収入の少ない不良農地。
80～84歳	女性	1	仕事がつらい。
80～84歳	男性	1	キュウリ、フキ。
80～84歳	女性	1	農機具が故障し処分したため。
80～84歳	男性	1	年老いたのでやれない。
80～84歳	男性	1	農業収入が少ない。買う方が安い。
80～84歳	男性	1	耕作できない。
80～84歳	男性	1	日照時間が短く収量がない。
80～84歳	男性	1	高齢者であるので？猿、シカが多くて。
80～84歳	女性	1	後継者がいない。
80～84歳	男性	1	高齢で耕作できない。耕作しても採算とれない。
80～84歳	女性	1	高齢のため農業ができない。子供も働きに出ているので、土日ぐらいしか農業はできない。
85歳～	女性	1	手がない。
85歳～	男性	1	山林に近い(段差有り)。
85歳～	男性	1	地目は畑ですが、耕土が少ない。ひどい湿地なので土地改良で排水が良くなれば河川改修の時の残土処理で土を入れてもらい、耕地復活を計画しています。
85歳～	男性	1	老人家族で耕作する意欲がない。
85歳～	女性	1	耕作できないから。
85歳～	女性	1	自分で出来ない為。
85歳～	男性	1	高齢で耕作できない。

## 36-1. 休耕している理由は。No.6

年齢	性別	回答数	回 答
85歳～	男性/女性	4	過去の政策で休耕するようになり、そのまま継続している。
85歳～	男性	1	老人のため。
85歳～	男性	1	昭和45年45%以上の休耕義務付けのため、永年植林でも休耕と認めることにて植林。隣地の他人が植林のため日陰化。
85歳～	女性	1	高齢。
85歳～	男性	1	崩れていて耕作できない。
85歳～	女性	1	やる人がいない。
85歳～	男性	1	貸付中。
85歳～	女性	1	作業委託できない。
85歳～	女性	1	耕作をする人がいない。
85歳～	女性	1	人手がない。
85歳～	男性	1	農機具が故障し処分したため。
85歳～	男性	1	サル、イノシシが多いため。
85歳～	男性	1	年寄りだから。
85歳～	男性	1	働けない。

## 36-2. 休耕農地をどうしたいか。No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	植林。
20～29歳	女性	1	わからない。
60～69歳	女性	1	3・4。
60～69歳	女性	1	杉桧を植える。
70～74歳	女性	1	わからない。
70～74歳	男性	1	木を植える。
75～79歳	男性	1	乾田化したい。手のかからない作物。
75～79歳	男性	1	今は、山林となっている。
75～79歳	男性	1	栗を作っていく。
75～79歳	男性	1	林転。
80～84歳	女性	1	体験型農業集団を作りたい。
80～84歳	女性	1	自分の野菜場にしておきたい。
80～84歳	男性	1	2・3。
85歳～	男性	1	わからない。
85歳～	女性	1	年齢的に出来ない。健康でないため。
85歳～	男性	1	国県でしっかり考えてほしい。

## 37. 農地を借りることができれば、農業をやってみたいですか。No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	思わない。
15～19歳	女性	1	よくわからない。
20～29歳	男性	1	場所、お金次第。
20～29歳	男性	1	やりたいとは思わない。
20～29歳	女性	1	わからない。
30～39歳	女性	1	わからない。
30～39歳	男性	1	やりたくない。
30～39歳	男性	1	畜産であるため将来的に農地を借りるならば、牧草づくりをする。
30～39歳	男性	1	今は考えていない。
40～49歳	男性	1	定年後にならないと分からない。

## 37. 農地を借りることができれば、農業をやってみたいですか。No.2

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	家庭菜園で十分。
40～49歳	男性	1	特に考えてない。
40～49歳	男性	1	興味が無い訳ではないが、今は考えていない。
40～49歳	男性	1	農業を行う時間がない。
40～49歳	女性	1	年を取ればやりたいと感じるかも！今は忙しくて余裕がない。
50～59歳	男性	1	規模拡大。
50～59歳	男性	1	貸している。
50～59歳	男性	1	定年後なら考えてもいいかな。
50～59歳	女性	1	やらない。
50～59歳	女性	1	現在畑を借りている。
50～59歳	男性	1	家で食べるために少し畑をやりたい。
50～59歳	女性	1	野菜づくりを教えてもらいたい。
50～59歳	女性	1	既にやっている。
50～59歳	男性	1	特になし。
60～69歳	女性	1	里山の修復活動で手いっぱい。
60～69歳	男性	1	野菜作りをやっている。
60～69歳	男性	1	全くない。生計できない状態になる。
60～69歳	男性	1	現在の稲作で十分。
60～69歳	女性	1	手伝い程度ならやりたい。
70～74歳	女性	1	やるつもりはない。
70～74歳	男性	1	体力がない、時間がない。
70～74歳	男性	1	高齢のため借用しても耕作は無理。
75～79歳	女性	1	野菜でも米でも自分の家で作りたいが、80才近くになると体がついていかない。
75～79歳	男性	1	現在の耕作でよい。
75～79歳	女性	1	高齢なので借りてまでやる気持ちはない。
75～79歳	男性	1	無理。
80～84歳	女性	1	特になし。
80～84歳	男性	1	高齢のため。
85歳～	男性	1	高齢のため何もできない。

## 37-1. 農地を借りることができれば、農業をやってみたい理由

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性	1	米作りにしろ野菜作りにしろ生活の糧を得るチャンスがあれば。
30～39歳	男性	1	作った野菜を使用した料理店を経営したいと考えているから。
40～49歳	男性	1	やってない。
40～49歳	女性	1	やってみたいが、機具の借り出しや作り方など教えてもらわないとできないと思う。
50～59歳	男性	1	後継者に継がせたい。
50～59歳	男性	1	現在農地を借りて、耕作している。
80～84歳	女性	1	特になし。

## 38. 作手地域の農業の方向性について

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	「ブランド化」として付加価値をつけ、インターネットなどの大きな市場で共同出品などをする。
15～19歳	女性	1	お年寄りが、作った野菜を販売する方法がないので集荷方法(持っていく足がない)を考えると作り甲斐があると思う。
20～29歳	男性	1	ミネアサヒをブランド化して全国的に周知させる。
30～39歳	男性	1	株式会社〇〇農園など、会社してみれば。
30～39歳	男性	1	後継者を地域で受け入れ、農地を守る。
30～39歳	男性	1	地域外で農業に興味はあるが農地がないという人が参入しやすい仕組みづくりとそういった方を歓迎する旨を積極的に広報すること。
40～49歳	女性	1	せっかく採れた野菜も無駄にしない方法を考える。トマトの加工、手作り村等での「トマト祭」「なす祭」等。その時に大量に採れる野菜の料理レシピ等、他地域から応募してもらいコンテストを行うなど。
40～49歳	女性	1	後継者を優遇する。新しく参加する人に対しても、優遇して農業で食べて行けるようにしていく。
40～49歳	男性	1	農産物の加工までの製品にして道の駅での販売。
40～49歳	男性	1	他地域から新規就農者のために農業をやりやすい環境を作る。また、高齢者も働きやすい環境を作る。
40～49歳	女性	1	無農薬野菜を作ったカフェ。レストランなどやってはどうか。
40～49歳	男性	1	若者の魅力のある農業を行う。
40～49歳	男性	1	農協の係わらない生産・流通を確立しないと農業経営は一層悪化する。
40～49歳	女性	1	法人化農業。
50～59歳	男性	1	地域で取り組むという意識づくりが第一歩だと思う。
50～59歳	男性	1	作手の気候に合った作物作りを行うこと。
60～69歳	女性	1	農業が豪かったとき都会の人に頼んで植えていただくと良い。
60～69歳	男性	1	農業を続けるなら、政府の補助がなければできないはずがない。個人で考える問題ではない。
60～69歳	男性	1	手遅れ。
60～69歳	男性	1	大きな農業者が入り組んで農地を管理している。農地をまとめて管理し、効率化をすることが大切では。
60～69歳	男性	1	農産物以外の薬となる植物の育成等はどうですか。
60～69歳	男性	1	販路を考えた農業。
60～69歳	男性	1	使わない人は国土返却。
60～69歳	男性	1	地産地消。
70～74歳	女性	1	農業で生活できるように、市は方向性を考えてほしい。
70～74歳	男性	1	不耕貧食の輩にとやかく言われたくない。
70～74歳	男性	1	休耕地、耕作地など集約して会社方式で運営する。農地提供者は株主にする。
75～79歳	男性	1	イノシシ、シカ、サル、ハクビシン等を殺す。
75～79歳	男性	1	畑の基盤整備、他の再整備。
75～79歳	男性	1	日本は、工業国として動いている。TPPで農業は、ついていけなくなる。
75～79歳	男性	1	鳥獣害の除去が出来なければ考えられないが、住環境だけは守りたい。
75～79歳	男性	1	地産地消など市場直結型。情報農業の採算農業。
80～84歳	男性	1	山林に依存してきた山間僻地で、将来的な方向が見当たらない。
80～84歳	男性	1	施設でトマトを作っている。
80～84歳	男性	1	鹿、猪、猿等の害で収穫なし。
85歳～	男性	1	猪・鹿の駆除の検討。

39. 作手地域の農業後継者の育成方法について

年齢	性別	回答数	回答
20～29歳	男性	1	補助金をだす。
40～49歳	男性	1	農業会社を立ち上げ、雇用して、従業員が畑仕事をし、給料制にする会社があればいいのでは。
40～49歳	男性	1	農地の転用を容易にし他産業が生まれやすい仕組みにする。
50～59歳	女性	1	農業は大きくするほど赤字になる。なので難しい。
50～59歳	男性	1	生活できなければ話にならない。
50～59歳	男性	1	上記のことがとても現実になるとは思えない。理想と現実は違いすぎます。
60～69歳	男性	1	大規模農家支援よりも小規模農家を守る支援が必要と思う。
60～69歳	男性	1	都会の人に家庭菜園として区割りして貸す。
60～69歳	男性	1	政府が考え、守国、国づくりを念頭に考える。
60～69歳	男性	1	全てが中途半端であり、生き残る条件が皆無。
60～69歳	男性	1	農業に対しての地域リーダーの育成が必要と思う。
60～69歳	男性	1	農地を集約する。
70～74歳	男性	1	自然にまかすべき。
75～79歳	男性	1	農林公社を利用して地域農業を育成する。
75～79歳	男性	1	見合う収入があれば飛びつくはず！！集落営農、人材協力もよいが現在では支払う人件費も出ない。
75～79歳	男性	1	グローバル化の限界が現状。ローカルな持続的循環完結型社会文化への進化が必要。
80～84歳	男性	1	作手では、現在以上の大型化は無理だから将来性はない。
80～84歳	男性	1	農業は採算とれないので将来性なし。
80～84歳	男性	1	出来ないことばかり。
85歳～	男性	1	後継者育成対策の長年言っているだけで実現しない。
85歳～	男性	1	作業委託などで、各自の農地を保全する。

40. 農業にするうえで将来的な課題・問題点その他、作手地域の農業についての意見 No.1

年齢	性別	回答数	回答
15～19歳	男性	1	農業の集団化。都市失業者の雇用受入れとしての農業。むら意識、排外主義、家族経営の後継者問題、地域行事強制などの問題解決。
15～19歳	女性	1	農業をする人の高齢化、後継者がいないのは全国的に大きな課題であると思っています。オーナー制度や、外から農業をしにくる人などを、積極的に受け入れ、また外から人が入ってきやすい制度等をつくるのが大切だと思います。また、企業の参入等(があれば)もしやすい環境になればよいと思います。
20～29歳	女性	1	獣害対策が充分でない。
20～29歳	男性	1	鳥獣害の対策を役所等でまとめて補助する。土地改良区で補修した水路の漏れや、田の法面や農道、林道の荒れがひどく、このままで大丈夫か、大いに不安である。
20～29歳	女性	1	作手地域は過疎化が進み、農業後継者がいない家庭が多くなると思う。作手は農業に適している地域だと思うので、近くの地域の人たちと協力して農地が荒れなければいいと思う。農業ビジネスを始めたらどうか？
20～29歳	女性	1	古い考えを捨てるべき。
20～29歳	女性	1	動物被害が多い。
20～29歳	男性	1	下山(豊田市)は、同じミネアサヒ米で上手に知名度を上げて売り出している。作手の米に自信を持っているのもっと知名度を上げて米だけで生活できるようにしてほしい。TPPのコメの関税撤廃と減反政策廃止に伴う補助金の停止に不安を感じるし、長年家族でやってきたので、続けて作れるようにしてほしい。
20～29歳	女性	1	地域が高齢化しすぎている。
20～29歳	男性	1	収入が少ない。(大部分の人)。補助、手当てがなければやっていけない。農機具が高い。TPPに入ったため、完全自由主義経営となり、JAがどうなるか。JAが影響を受けた場合小規模農家、兼業農家はどうか、対策が全くなされていないのが不安である。早めに対策しなければ農業はつぶれる。
30～39歳	男性	1	今は、家の手伝いをしているが、将来は自分がメインでやらなければならない。当然一人ではできず、家族の協力も必要であるが、協力が得られるかわからない。先祖代々からの耕作地を手放すつもりはなく、農業をやっというと思っているが、できるか？
30～39歳	男性	1	特にない。
30～39歳	男性	1	個人でやらず1つの会社法人として農業を行う。そのことにより多くの農地の利用、休耕地を減らし地域の産業にする。そこへ働き口もできてくる。工業製品から農業製品へ変化していく。
30～39歳	男性	1	資材の値段は上がるが、農産物の値段は上がらない。
30～39歳	男性	1	働き世代の人口が少ないため、規模拡大するには雇用の確保に不安がある。販売出荷の際、輸送コストがかかりすぎるので、何か手立てが欲しい。
30～39歳	女性	1	TPPなど農業での生活自体困難になる。電気代、必要経費が上がり利益が上がらない。

40. 農業にするうえで将来的な課題・問題点その他、作手地域の農業についての意見 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	今のような状況におかれているのか全く分からないため、何もいえません。
30～39歳	女性	1	施設に入るかもしれないので、農業はできない。
30～39歳	男性	1	10年後を今から考えて何をすべきかを実査に行動しないと、議論だけでは手遅れになる。品目の垣根を越えて、部会ではなく生産者全体、地域全体で動くことが必
30～39歳	女性	1	高齢になったときに援助してもらえるか。
30～39歳	男性	1	この地域だけの問題ではないが、専業、兼業に関わらず、農業に従事する人の年齢構成が不安。年が経過するにつれて現状だと休耕地がどんどん増えていくのは明らか。それは農業の衰退を招くだけでなく、自然環境や景観を損なうことにもつながってしまう。結果的に一種の観光資源が失われ、地域外からのお金の流入もなくなることも予想できる。休耕地の増加を可能な限り少なくするためあらゆる策を講じる必要がある。 ・農家(既存農家)の大規模経営化を可能にする経済的支援・地域外のやる気のある就農希望者に対する農地取得支援 ※低価格での貸出、或いは休耕地を自治体買い取り、無償での譲渡も。
40～49歳	女性	1	大規模農家の人がすべてまとめてやった方がよい。
40～49歳	女性	1	もっと猪などの捕獲をバンバンやってほしい。高齢者ばかりになり、農地は余るのは当然。作手で何か特産物を創って村全体で空農地を利用して作ったりして販売したらどうですか。
40～49歳	女性	1	自分ではないが、一生懸命作った野菜を、野生動物に食べられてしまう話をよく聞くので、何とかうまく共存できないかと思う。
40～49歳	女性	1	農機具代(コスト)がかかりすぎる。米作では生活していけない。産廃施設などが近くに出来ないか心配。すでに廃業した農家が手放した農地が、転売転売を繰り返して、村外市外の業者の手に渡っている土地が多いので、将来何がくるか心配。
40～49歳	男性	1	農地を転売されて、商業施設や住宅ができ、農業を続けていけない心配がある。農業機械や軽トラックで農作業ができなくなることが一番心配なことである。人口減少が心配ではあるが、しっかりとした審査もなく、安易に転居してきて、今までのルールを無視したような人が増えるのは困る。今いる人、生活している人が暮らしにくくて、出て行ってしまふ。子や孫が農業をしたい、農業で生活したいと思える地域づくりは大切だと思う。
40～49歳	男性	1	産地の規模縮小。
40～49歳	女性	1	作手の特産品を使った商品を開発し、人気商品を作る。そして、他の地域へアピールし、作手の農業活性化に繋げて欲しい。
40～49歳	男性	1	新規就農者の入りやすい環境を作る。野菜を作る際のマニュアル・規模・資金資料の公開。
40～49歳	男性	1	農業にあまり興味がない。
40～49歳	男性	1	農業会社を立ち上げ、雇用して、従業員が畑仕事をし、給料制にする会社があればいいのでは。
40～49歳	男性	1	鳥獣害対策が手軽にできるといい。(駆除が仕事(収入)として成り立つといい。)
40～49歳	女性	1	数年前までは、豊田・岡崎・豊橋等から野菜を買いに来る方々が多くいたが、農業をする方の高齢化もあり、売っている野菜の種類・数が以前より少なくなってきたと思います。農業後継者の育成は、とても大切だと感じます。農業で作手の活性化をして欲しい。
40～49歳	女性	1	農業を現在しておりませんが、実家でも畑、田があるところで育ちました。畑、田が生き生きしているのを見ると、ほっとします。また、浜松の榊丸園のように障害者の雇用もすすめつつ、年々売り上げがのびているようなアグリビジネスが、作手においても広がるといいなあと感じます。
40～49歳	男性	1	個(点)で動いている感じを受けるので、線、面での動きをして協力できる体制がよいのではないかと。
40～49歳	男性	1	農地の流動化を促す。
40～49歳	男性	1	中部地区の中でも里山の美しさが多々ある作手地区です。夏は涼しく豊橋、名古屋などのからも比較的近く、何か特産物が有ればもっと集客が有るような気がします。
40～49歳	男性	1	独自の流通ルートの開拓。
40～49歳	男性	1	上手な宣伝方法の模索。
40～49歳	男性	1	農業に執着せず、製造業者が新規規転して来やすい仕組みを作るべき。製造業の無い地域は衰退の一途。
40～49歳	男性	1	収入が必ずしも良くないが、必要な機械は高い。しかし、兼業はやれるときに作業を行う。悪循環である。せめて機械購入の補助があれば良いのだが。
40～49歳	男性	1	休耕農地の活用方法。作物のほか、草木の資源活用方法の検討。
40～49歳	男性	1	将来的に不安といえば、TPP,20代、30代の後継車にとっては、まだ先が長いのに後継が困難な事態になりかねない。農家だけでなく、機械屋、薬品、飼料店、獣医師、その他農業関係の資材等いらなくなる。それだけの職業の人材を工業だけで雇用できるとは思えない。水稻農家がなくなると、今の作手の景観は保てないと思う。あと鳥獣害。自分としては、子供を学校出すまでは何とかするつもりではいるが、若い後継者は困ると思う。若い後継者にやらせるべきかを迷うと思う。
40～49歳	女性	1	農業を職業にするにはあまりにも多くの問題があります。設備投資に多額の資金が必要ですし、土地を借りるだけでも多くのハードルがあります。もし仮に土地もお金も借りることができても天候などに左右されるため収入も不安定になります。それでも農業経営を選ぶ理由(新規就農)は側の安定もそうですが、この作手地域を元気にしたい。作手産のものが欲しい、作手へ遊びに行きたい。作手から全国へ向けて”食”ということを発信してゆきたいと強く思うからです。農業はただ米や野菜、果物物や花きを生産するだけではないのだということ！！生産から加工、販売まで全てを行う6次産業の促進、農業と観光と一緒に考えたり、地産地消への取り組み。幅広い視野で農業を考えていく必要があると考えます。TPPで米生産がどうなるかは将来不透明です。しかし、反対にチャンスでもあると思います。農産物もブランド化する時代がやってきたのです。農とはイコール食です。人は食べなければ生きていけません。付加価値を生み出していくことがこれからの農業の一番の課題だと思ってい
40～49歳	女性	1	農業をやりたい人と、技術を教えてもいいと思う人をマッチングするようなコーディネート機能が必要。弟子入り制度をつくる。

40. 農業にするうえで将来的な課題・問題点その他、作手地域の農業についての意見 No.3

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	ノウハウをしっかりと教えてもらえるかなど。
40～49歳	男性	1	個の力では、年令、後継者等の問題がある為、地域、地区での集団での経営をしていく必要があると思う。また、高原米、高原野菜をブランド化していけば、もっと作手の魅力が伝わると思う。
40～49歳	女性	1	空いている農地は、作手にはたくさんあると思うので、他地域からの人など(農業をやりたい)という人に田、畑を貸すネットなどで募集するような制度があると良いと思
40～49歳	女性	1	所有している田畑は、親世代から受け継ぎ、出来る限り耕作をしていきたいと思っている。しかし、高齢化に伴い農業を続けられなくなる時が、将来訪れると思う。後継者も期待できないので、田畑が荒れてしまうことが不安に思う。
40～49歳	男性	1	大型な台風等の最近の極端な自然災害というリスク。農機具が高価。柵など作手中に張り巡らされているが、数年後のその管理放棄等の問題。
40～49歳	女性	1	若い農業従事者をどんどん呼び込んで休耕農地をどんどん活用してほしい。
40～49歳	男性	1	仕事(会社)と農業の両立。
40～49歳	女性	1	現在農業を手伝っていないので自分達の世代で携わる様になった時、身近に教えてもらえる人がいないと分からない事が多いと思う。
40～49歳	女性	1	誰かに農地や山を買ってもらいたい。
50～59歳	女性	1	鳥獣の害の対策をしてほしい。移住された方の荒れた地所を何とか整備してほしいです。鳥獣害予防にもなると思います。
50～59歳	男性	1	先に専業の方がいるので手が出ない。
50～59歳	男性	1	担い手や新規就農者を増やすべき。
50～59歳	女性	1	TPP問題で今後どのように変わるのか不安である。後継者がやろうという気持ちになればいいけど。やりたくないのであれば、それはそれで仕方ないと思う。物価が上がりつつ、給料は変わらない、また下がるようであれば、生活面ではかなり苦しいと思う。年寄りの人は年金暮らしの方や一人暮らしの人も多いので、皆で声掛けや福祉の方など孤独死のない地域を創るべきです。
50～59歳	男性	1	作手地区の農業の主体が米作であるので、TPP後の米価の変動等がどのように動くか、不安である。
50～59歳	男性	1	専業としての農業は、成り立つのか。若者に継いでもらうためには、収益性を高める工夫を共にかんがえないと・・・。
50～59歳	男性	1	農業後継者の不足が心配。
50～59歳	女性	1	稲作をしている農家はTPPや農業機械の高値、経費が掛かりすぎてとても経営をしていくには困難な状況だと思う。
50～59歳	男性	1	生産者米価の安定として、食味の良いコメをブランド化して、流通の仕組みを変える(生産者個人ではなく、JAが今以上の価格で生産者から買い受ける)。
50～59歳	女性	1	特産品を創りそれを有効に使った商品などを考えることが大切だと思います。
50～59歳	女性	1	何と言って特産物もなく、年齢も高齢化し、農業をするためには機械、土地、作業場などいろいろと金銭的に大変で、特に機械のメンテナンス、買い替えなどローンを組むのも大変、このままでは続かないと思う。
50～59歳	男性	1	自分で立ち上げるのは難しい。今では、補助制度も減っているし、資金面で大変だと思う。
50～59歳	女性	1	今は良いが将来自分が出来なくなった時、農地をどうするか心配です。
50～59歳	男性	1	農地集積。
50～59歳	男性	1	農業が職業となる様になれば、自然に後継者もできるのではないか。
50～59歳	女性	1	親の世代が農業をしているのに、子供に後を継がせる農家が少なすぎると思う。
50～59歳	女性	1	高齢化が進み担い手が無く、大型農機が入りにくい田畑が荒廃してしまうのではないか？
50～59歳	男性	1	米価格の変動(TPP等)。消費税含む農機具類の価格・農機具類購入時のローン返済。山林道により水量の変化(枯木・増水)で田への水路維持。国の補(保)証金事業、支援金等の有無。補助事業による鹿猪よけフェンスを設置しても鹿の被害は大きく減らない。
50～59歳	男性	1	休耕農地について、収益がなくても、菜の花等景観を形成する作物(花等)を植え、これ以上荒らしたくない。国の考えは、作手の地域(中山間地域)を守ってこうという考えはない。形成がなった都市部の農業のみに目を向けて、制度等によって中山間地を捨てるような政策に向いている。まずは、自分達が最低限生きて行けるような農業(産業)で、生き継ぐしかないのではないか。
50～59歳	男性	1	作手の気候に合った農業を考えること。生活できなければ生きていけない。
50～59歳	男性	1	イノシシ、シカ、サルへの対応。
50～59歳	男性	1	子供もいないので、自分の出来るかぎりの事だけをこれからも、田畑を作って行くだけ。
50～59歳	男性	1	農業だけの問題では無いが、将来的に石油が無くなる日は必ず来る。大規模農業など数十年先で終わりだろう。集落営農にしてみても、外国の大規模農業に勝てるはずもない。
50～59歳	男性	1	鳥獣害被害。
50～59歳	男性	1	この地域はおいしい米がとれるので、米作りを推進したい。国の政策も補助金のバラマキでなく、山間地の米作りを保護し、都心部で生産調整してほしい。
50～59歳	女性	1	資金がかかりすぎ。
60～69歳	男性	1	獣害・温暖化。
60～69歳	男性	1	高齢化。

40. 農業にするうえで将来的な課題・問題点その他、作手地域の農業についての意見 No.4

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	規制緩和をもっと進めてほしい。特に加工品販売等について。
60～69歳	女性	1	若い時のように、体がついていけないので、若い人達と一緒に暮らせるように、そばに家を建てるなりしてでもそばにいて欲しい。そのために、補助金制度があればもっといい。家族を家に呼び戻す。
60～69歳	男性	1	TPP。
60～69歳	女性	1	農業は大変な仕事なので、加齢ごとに1年1年体力が落ちて行くので、先のことは分かりませんが、作手地域では高齢の方々が農業を支えているので、将来はとても不安に思います。
60～69歳	女性	1	都会の人の力を利用する。町の人は田舎などの野菜特にトマトの販売、自分で体験を希望しています。水を使った野菜に若い娘もやります。あわイチゴジャム・赤イチゴジャム(山イチゴ)・作手の森林に白樺の木を植える。・ナツメを乾燥して販売・ワサビの一口ナスの販売・栗を利用した食べ物・サトイモ入りもち・ナスキュウリでつくる(キュちゃん)・黒の鯉の刺身(味噌なら臭くない)
60～69歳	女性	1	地区で地域の農業は、将来的な不安や課題、問題点は山積み、10年先TPP後専業農家は何人残っているだろう。農業で生活できる仕組みは、(スイスの様に)国レベルで考えていく時代です。
60～69歳	男性	1	地域には豊富な牛糞があるので、有効活用し、有機農業を全域にわたりやってみよう。それにより付加価値が付けられる。(埼玉の小川町の例があります。)それにより、一次産品から二次産品、六次化が考えられます。不要なもの(やっかいなもの)を活用すれば、多分農協の農薬、化学肥料攻勢、圧力にさらされるが、それに対処することが必要となるが。牛糞はまたエネルギー源(メタン化)ともなり、ガスコレジェネレーションに使えるのではないかと。直接燃料ともなるけど、問題はガス発生後の残骸をどのように農業に使用できるかが、どこの土地でもネックとなっている。少しずつ、個人レベルでやってみよう。(できるところから)。それと豊かな森林資源はまた、エネルギー源ともなる薪ストーブ、ボイラーそのシステム作りを始めてはどうか。大きな(市規模)ではなく小さな(村)単位でやりたい人から始める
60～69歳	男性	1	大規模農家支援ばかりが目立ち、地域全体が農地を活用する方法を考えてほしい。
60～69歳	女性	1	もっとミネアサヒをアピールしても良いと思う。ミネアサヒを使った特産品を作るなど。また、大規模の人に有益な仕組みを、小さな田でも守って、作っている人も同じように益を受けれるよう仕組みを変える。とにかく、鹿や猪等の鳥獣の被害が大きすぎる。動物愛護など言っているのは、農家はやっていられません。獣害を減らす対策を早急にしてほしい。30年前は、鹿はいませんでした。急増しているのは、生態系バランスが崩れているからです。
60～69歳	男性	1	農業だけでなく、日本国を見限り、海外に移り住む日本人が多くなりつつある。その中で、愛知の、新城の、作手の将来を考えることがさみしく思う。
60～69歳	男性	1	TPP等、日本の農政に対する条件は最悪下であり、生かさず殺さずの状況下どころではなく、日本米作農家は死亡する死滅の時にある。中山間地域の農業は消滅する。アベノミクスは農業を守る考えなど全く思いにない。日本農業は昔ながらの水飲み百姓の本質は変わらない。
60～69歳	男性	1	地球温暖化等環境変化に基づいた品目(適地適作目)等の検討。
60～69歳	女性	1	鹿・猪・猿の被害を守る。
60～69歳	男性	1	農業機械が個々の農家で多くの機械を所持している。農林業公社等で一括管理・貸出しをする組織があったらよいと思う。
60～69歳	男性	1	農業についての質問の意図が？
60～69歳	男性	1	担い手、後継者の不足◎米以外の特産物の開発、導入(産地化)→ナンバー1、オンリー1への仕組を目指す。
60～69歳	男性	1	作ること、売ることを別々に考えるのではなく、両者を見据えた農業でありたい。
60～69歳	男性	1	TPPなど日本の農業を成長させるための政策が確立されていない。国政として将来の農業の青写真を描くべきと考える。
60～69歳	男性	1	少量の野菜でも売れるように、安定価格等システムを考えてほしい。
60～69歳	女性	1	TPPの問題等で収入の確保ができるか不安。中山間地域で生き残る独自の農業を考えていきたい。そして若者が進んで農業をして作手で生活していける事業が確立できたらと思います。
60～69歳	男性	1	農地環境整備事業で実施した用水機(ポンプ)等の管理を土地改良区で水利用者の管理指導を実施してください。
60～69歳	男性	1	作手地域で農業をやっている人は、もう80～85歳の人が多く、ここ1、2年前からだんだん作業ができなくなってきた。仮に息子さんが引き継ぐとしても年齢が50～55歳くらいで、定年(60～65歳)年金支給には10～15年後となり、この間の農業継続(農地耕地の維持管理)が課題である。対応策⇒・一時的に(10～15年)他のやる気のある定年退職者等に安心して貸す制度。・専業農業者に安心して貸す制度が必要ではないでしょうか。
60～69歳	男性	1	作手において、どのような物が育成できるかを考えて(米、野菜、くだもの、薬草、花)いただきたい。
60～69歳	女性	1	農場(農園)で仕事(収入)ができるようになれば、若い人達の定住できたり、他地域からの移住される方も増えてくるかな？
60～69歳	男性	1	作手は夏季の涼やかな気候を活かしてトマトやホウレン草など生産地化する為に地域で応援するシステム作り、トマトメニューの提案、トマト村のイメージ作りetc。
60～69歳	女性	1	野生動物の駆除。高原野菜に力を入れても良い。
60～69歳	女性	1	現在、田を全て人に作ってもらっており、やがてはその方も無理になってくるので荒地になってしまう。
60～69歳	男性	1	農地を農業用地としてではなく、生活手段のために利用できるように「農地特区」で過疎地域が活性化できるような制度改正を望みます。(農地だけでなく山林特に自
60～69歳	男性	1	販路対策を絞り、どのような作物を作るかを考え、それに合った農地を選択し、計画的に経営する。その為には、地域の人の協力と行政の支援も必要と思われる。
60～69歳	男性	1	農業を大規模にするだけでなく、作手の地域の良さを生かした野菜等をブランド化し、収入・農業の拡大に結び付ける。(特産物、加工品等)
60～69歳	男性	1	地産地消の普及

40. 農業にするうえで将来的な課題・問題点その他、作手地域の農業についての意見 No.5

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	高齢となり、農作業ができなくなった時の農地等の管理。
60～69歳	男性	1	私の地域では、炭焼きと林業と家畜の生活でした。米作とか野菜作りが少々。
60～69歳	男性	1	鳥獣の増加で山林を含め各地域とも耕作地等の形態が変化すること。
70～74歳	女性	1	年をとり、農業をするのが困難だ。野生動物の被害が多すぎて、耕作が大変。
70～74歳	女性	1	現状に合った中規模農家(2～3町ぐらい)を支援していく。
70～74歳	男性	1	大雨による増水によって、河川の排水処理ができず、農地に流入、農作物及び農地に、被害が毎年生じています。10年前に区長を通じ作手総合支所地域整備課に、河川の改修をお願いしています。現在もまだ改修されていないので、早く改修してほしい。
70～74歳	女性	1	農業で生活できるしきみを考えることを希望します。
70～74歳	女性	1	先の事は分からない。
70～74歳	男性	1	鳥獣害の増加→耕作意欲の減退→耕作放棄農地の増加・荒廃→害獣の増加。この連鎖を断ち切らねば…。
70～74歳	女性	1	農業をする前に鹿・猪、猿等を減らさない限り不可能なことがいっぱいである。収穫前に食べられたり、楽しみもなく、夢もない農業を担う時間よりも網張り等の害を予防する作業が多い。
70～74歳	男性	1	機械高額等。
75～79歳	男性	1	この守義は、急斜面にはりついた農地であり、開拓すれば水不足になります。このまま森林を育てることだと思います。
75～79歳	女性	1	山の木は大きくなり、現在でも猪や鹿等の被害に困っている状態で、この先はもっと大変なことになると思います。これからもっと増えると思います。
75～79歳	男性	1	問題点:作手の農業(小規模農業経営・高齢者による農業・後継者の不在等)、多くの問題をかかえているが、有効な対策が考えられていない。
75～79歳	男性	1	農業後継者不足で集落が崩壊すると思います。根本的に将来を見据えた対応を、政治としても対応しないと中山間地域は消滅するだろう。
75～79歳	男性	1	高齢化、過疎化対策が必要。
75～79歳	男性	1	どこの地域よりすぐれた農産物を生産する農家を育成する。
75～79歳	男性	1	高齢化と後継者不足。
75～79歳	男性	1	鳥獣害対策・遊休地施策・土地の有効利用……耕地の再整備、一枚の面積拡大、乾田化。所有権は、現地でなく台帳のみで、希望者が耕作、残りは地区の責任で作付けする。
75～79歳	女性	1	若い者が農業をする気がない。家にあっても平気で買って来る。
75～79歳	女性	1	動物が食べない物はないので、害獣対策を望む。
80～84歳	男性	1	昔は農作業が遅れている人の家へ手伝いに行った。春秋にはお礼に牡丹餅(おはぎ)赤飯等をもらった。また手伝いに来てくれた人が遅れたときは手伝いに行った、人に頼まれたときは日雇いに出たり、頼んだりした。
80～84歳	男性	1	水田は一部の人にまとめてつくってもらい、年寄り好きなものをつくる。
80～84歳	女性	1	米にしても野菜にしてもブランド化が必要。作手から出るものに関しては、チェックをし、作手産を示す、シール(役場・農協)の認証をアピールをする。
80～84歳	男性	1	米価の下がり。
80～84歳	男性	1	国の農政が基本だから作手地域の農業を考えるのは、非常に無理があると思う。
80～84歳	女性	1	今の所有農地に困っているので、方々をなんとかしてもらいたい。
80～84歳	男性	1	将来性なしの為、農業はしない。
80～84歳	女性	1	今まで通りの稲作では、作るよりも買った方が安くなるということになります。もっと効率のよい農業へ転換していかないと農業は衰退していくと思います。また、休耕地も増えていって自然環境も悪化していくのではないのでしょうか。
85歳～	男性	1	不安は、米は順年低価格に推移していくこと、農機は消費税が上がれば導入を躊躇するようになること。中核農家が組織をくんでいないので、もしもの事があった場合に請負った田は忽ち耕作できなくなり大変な事態となるので対策をとる必要があると思う。地形のこともあり、大規模化も限界にあり、中核農家の後継者がいなくなるの
85歳～	男性	1	高齢者が多くなったり、畑など耕作できない。
85歳～	女性	1	高齢で一人暮らしのため、考えても出来ない。
85歳～	男性	1	山間地域の農業は不可能です。
85歳～	男性	1	山百合の球根、ミズ等を食する為、家の石垣まで崩れる状態で、農業とは関係はありませんが、生活するにも不安です。

## 41. 森林の機能

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	生態系を守る(形成する)はたらき。
15～19歳	男性	1	杉を切りましょう。杉花粉症あり。
15～19歳	男性	1	1・3・7・8。
40～49歳	男性	1	重要と思わない。
50～59歳	男性	1	下流部の人間が、山間部の林業の重要性を理解していない。それと同時に今は作手に住む人間も、それを意識、理解していない。
50～59歳	女性	1	1・2・3。
60～69歳	男性	1	林業が業として成り立つ社会の仕組み作り。
60～69歳	女性	1	林道をつくる。
60～69歳	男性	1	町の人々に、きれいな空気、水を保持しているのに、何の補助、国民への指導がないのか残念。
60～69歳	男性	1	自然森林を増やす。
60～69歳	男性	1	木が高く売れるようにしたい。
70～74歳	男性	1	今のうちに林道・作業道を作っておく。
70～74歳	男性	1	1・2・4。
75～79歳	男性	1	森林の持つ諸機能換金。
75～79歳	女性	1	1・2・7。
75～79歳	男性	1	2つに特化できない。
75～79歳	女性	1	シカやハクビシンが増えて、イノシシたくさん。301号線は山に沿ってシカの大群です。
80～84歳	男性	1	森林・農地が野生動物によって、その被害が大きく意欲喪失の現状にどう対処するかに問題あり。
80～84歳	女性	1	作手地域以外にあるがわからない。
80～84歳	男性	1	1・2・7。
85歳～	男性	1	今のままだと森林は崩壊する。
85歳～	男性	1	わからない。

## 42. 作手地域の森林を守り育てる取組 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性	1	防御壁。
15～19歳	女性	1	間伐した木材の利用と「きこり」で生活できる仕組みづくり。
30～39歳	男性	1	木材の利用促進による循環する取組。
40～49歳	男性	1	木材の利用。
40～49歳	女性	1	野生動物の食物となる木の実などを植えた方が良いと思う。
40～49歳	男性	1	都会の森を知らない人による森林の破壊からの護衛。
40～49歳	男性	1	山林の固定資産税と相続税の軽減。
40～49歳	女性	1	林業従事者を増やし、手入れをする。
50～59歳	女性	1	実のなる木を育て動物と人間の境界線をつくる。
50～59歳	男性	1	国道沿いに杉・ヒノキはいらない。
50～59歳	男性	1	広葉樹の森林の育成。
50～59歳	女性	1	作手の木は、品質が良いので、建材として売れるようにする。
50～59歳	男性	1	作手の植生に合った森の再生。
50～59歳	男性	1	山林地の境を認識して置く事。
60～69歳	女性	1	管理できない山林は国へ返す、外国の土地にならない様に。
60～69歳	男性	1	日本の樹木の必要度を高めなければ、外国の樹木が輸入されるのは当たり前。
60～69歳	男性	1	道路沿い・川沿いに広葉樹の植栽。
60～69歳	男性	1	木材の燃料活用(チップ等)。
60～69歳	男性	1	現在の人工林率を半分にして欲しい。国家の方針で！！
60～69歳	男性	1	森林生産品の価値を上げる。
70～74歳	男性	1	今後、森林の管理が行き届かなくなり、森林が荒廃するので、公社などを作って森林を買い上げてほしい。

## 42. 作手地域の森林を守り育てる取組 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
70～74歳	男性	1	補助金。
75～79歳	男性	1	人工林が多過ぎ。
75～79歳	男性	1	材の利用積極化、建築法の改正。
75～79歳	女性	1	1・2・5。
75～79歳	男性	1	地元の女、子供、老人が森林に親しむ文化、インセンティブが必要。
80～84歳	男性	1	生産物の利用方法の開発の研究開発が必要。
80～84歳	男性	1	木材価格の安定。
80～84歳	男性	1	林道の整備。
80～84歳	女性	1	林業が産業として成り立つ経営のあり方。
80～84歳	男性	1	木材価格を国レベルで上げる事。小手先の取り組み不用。補助金は直接森林(主?)へ。生活できるようにする事。

## 43-4. 所有している森林の現状

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	女性	1	移住6年目で大分里山らしくなったがまだまだ。
75～79歳	女性	1	木が成長しているため、手入れはしない。部分的。

## 43-5. 所有している森林を守り育てるための問題 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性	1	1・4・5。
50～59歳	女性	1	他人によるゴミ捨て。
50～59歳	男性	1	税金も含めた出に対し、入が無いこと。
60～69歳	男性	1	境界確認。
60～69歳	女性	1	国定など公園法では里山の必要性を謳っているのに行政側にその意識がない。伐採届を出すように言われる。間伐、伐採をせよと言うのが本当だと思います。
60～69歳	男性	1	獣害。
60～69歳	男性	1	国民の森林の働きへの恩恵。
60～69歳	女性	1	木材の有効利用法。
60～69歳	男性	1	今のままの森林では負担が多くなるだけである。
60～69歳	男性	1	手入れする時間がない。
60～69歳	男性	1	高齢化による林業技術者不足。
70～74歳	男性	1	相続税の軽減とか森林伐採による所得発生時に納税するよう改めてほしい。
70～74歳	男性	1	シカの被害。

## 43-5. 所有している森林を守り育てるための問題 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
75～79歳	男性	1	林道の開設。
75～79歳	男性	1	作業道の開設。
75～79歳	男性	1	林道を直してほしい。
75～79歳	男性	1	森林の多面的な機能のクレジット化(経済的評価)。
80～84歳	男性	1	林道整備重要。
80～84歳	男性	1	現代の若者が森林に無関心である事、大問題です。
80～84歳	男性	1	林道の管理。
80～84歳	男性	1	野生動物の害多し。
80～84歳	男性	1	今の林業行政はだめ。山主に補助金を。
85歳～	男性	1	植林してもこうも鹿が増えては食害が心配。
85歳～	男性	1	作業道路作る事。早急に。

43-6. 所有している森林を、今後どのようにしていきたいか

年齢	性別	回答数	回 答
20～29歳	男性	1	手放したい。
30～39歳	男性	1	やり方や必要性があれば手入れして行きたい。
40～49歳	女性	1	どのようにすべきか全くわかりません。
40～49歳	男性	1	手入をする余裕がない。
40～49歳	男性	1	手入れを自分で行いたい、時間がないので定年後行う。
50～59歳	男性	1	キャンプ等保養地。
60～69歳	女性	1	年齢が増え、手入れが難しくなった。
60～69歳	男性	1	国が補助を考えなければ、放置、放却。
60～69歳	男性	1	川の整備。
60～69歳	女性	1	自分での手入れ。
60～69歳	男性	1	木材価格上昇により生活安定すれば①番に○印。
60～69歳	男性	1	自分では山林の手入れができないので手放したい。
75～79歳	女性	1	興味ない。
75～79歳	男性	1	山を愛していたが、高齢化と併せ離れていく。
75～79歳	男性	1	農林公社等に出して管理等をしてもらう。
75～79歳	男性	1	市に寄付したい。
75～79歳	女性	1	手入れは必要だが、出来ない。
80～84歳	女性	1	高齢でどうにもならない。
80～84歳	男性	1	村に寄付したい。
80～84歳	男性	1	手入れは好きだが、高齢でだめ。
80～84歳	男性	1	作業道が必要である。
85歳～	男性	1	興味ない。
85歳～	女性	1	高齢者なので分かりません。

43-7. 森林の手入れを行うための支援策は。

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	楽しんで作業ができる環境。
50～59歳	男性	1	価格が上昇すれば手入れを行う。
50～59歳	男性	1	手入れを行うつもりはない。
60～69歳	男性	1	木材価格を高くする。
60～69歳	男性	1	動物駆除。
60～69歳	女性	1	行政側の暖かい視線と植生についての専門知識の普及を図ってほしい。
60～69歳	男性	1	木が売れない、手間賃などかかる、森林伐採の税金免除等、やる気になる政策を考えなければ。分かるはずですね。
60～69歳	男性	1	森林管理を公共機関の補助の上、森林組合が行うのがよい。
60～69歳	女性	1	4・5・6。
60～69歳	男性	1	山主に(販売木)補助、入金。
70～74歳	男性	1	多面的機能の支援。
70～74歳	男性	1	木材販売時に価格が安すぎて、山主の利益がでない、公的に差額を山主に補填してほしい。そうすればもっと木が売れるようになり、林業の循環型施業が行われ
75～79歳	女性	1	興味ない。
75～79歳	男性	1	森林業関係の法制、林政、環境、多面的機能の周知。
75～79歳	女性	1	何も考えていない。
80～84歳	男性	1	木材価格を上げて森林所有者が生活できる様にする事。それ以外に手立てなし。
85歳～	男性	1	興味ない。

## 44. 参加したことのあるイベント No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	たくさんの人にきてもらえるようにな、つくで祭のようなイベントや、音楽ライブなどがあつたらいいなと思います。
15～19歳	男性	1	なし。
15～19歳	女性	1	手作り村感謝祭。
15～19歳	女性	1	お祭りのなやつ。
20～29歳	男性	1	数年間参加していない。
20～29歳	男性	2	地域の祭り。
20～29歳	女性	1	手作り村感謝祭、作手Aコープ感謝祭(夜店)、開発センターお別れ会、わいわいクラブ行事、月2回の支援センターこころルーム。
20～29歳	男性	1	部落の祭り。
20～29歳	女性	1	星座観察会。
20～29歳	男性	1	草刈り(コミュニティ〇〇)。
30～39歳	男性	1	星と蛍の夕べ、自然観察会(合併前、今はない)。
30～39歳	男性	1	消防団。
30～39歳	女性	1	子どもたちを見に行く程度。
30～39歳	男性/女性	2	なし。
30～39歳	女性	1	菅守小跡地を使ったイベント。
30～39歳	男性	1	長者平・明和の祭り。
30～39歳	男性	1	菅守小学校でのイベント。道の駅祭り。
30～39歳	男性	1	防災訓練、地区のお祭り。
30～39歳	女性	1	手作り村感謝祭。
30～39歳	女性	1	つくで祭りみたいなもの。
30～39歳	女性	1	JA作手支店の夜店。
40～49歳	女性	1	手作り村感謝祭。
40～49歳	男性	1	地元神社祭礼、消防団。
40～49歳	男性	1	ゴミ拾い。
40～49歳	女性	1	菅守小学校でのイベント。道の駅祭り。
40～49歳	男性/女性	4	なし。
40～49歳	男性	1	市民活動団体が開催する行事。
50～59歳	男性	1	業務ため、参加したいが、参加出来ない。
50～59歳	女性	1	手作り村感謝祭。
50～59歳	男性	1	高松巴川沿いのモミジ、鳴沢の滝周辺のモミジ、301号線沿いの紅葉等を一つの売り物としたモミジ街道作り。そのための植樹や樹木の管理を区民のボランティアやシルバーで行う。301号線沿いを桜、アジサイ、コスモス、紅葉等、四季に応じた花街道にする。※3年、5年、10年という期間ではなく、20年、50年、100年後を見通
50～59歳	女性	1	作手地区の人がこぞって参加できるもの。
50～59歳	男性/女性	4	なし。
50～59歳	男性	1	遊びに行くだけで出店などありません。
50～59歳	女性	1	見学のみです。上記のイベントは全てです。
50～59歳	女性	1	JA作手支店の夜店。
50～59歳	男性	1	地域の祭り。
50～59歳	男性	1	三河高原トレイル大会。
50～59歳	男性	1	MTB大会。
50～59歳	女性	1	コミュニティ活動。
50～59歳	女性	1	道の駅つくで手作り村、カラオケ発表会、伝統芸能歌舞伎。
60～69歳	男性/女性	6	なし。
60～69歳	男性/女性	3	手作り村感謝祭。
60～69歳	女性	1	かつて子供たちが、その都度参加した時に、同じように参加したが、ここ何年かは全く参加していない。
60～69歳	女性	1	忙しいので参加出来ない。年をとったら参加したい。
60～69歳	男性	1	黒瀬で開催する観察会等。

## 44. 参加したことのあるイベント No.2

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	やる人は、遣り甲斐を感じていますよね。今一つ、宣伝にて、岡崎、豊田、尾張にも知らせたい。
60～69歳	男性	1	グランドゴルフ。
60～69歳	女性	1	文化講演会、スポーツ。
60～69歳	女性	1	学区防災訓練。
60～69歳	女性	1	地域の行事にはほとんど参加している。
60～69歳	女性	1	旧菅守小の見学会。農協関係の講座種々。
60～69歳	男性	1	一度参加するとそれぞれのイベントの良さ、自分であれば「このようにする」等考えることができると思う。
60～69歳	男性	1	防災会、クリーンフェスタ。
70～74歳	男性/女性	4	なし。
70～74歳	女性	1	10/27旧菅守小において、「学校跡地を考えよう会」第1回裏山散策と秋の郷土料理の会に天気もよかったので、参加者の多かった事を考えて、これからも何年でも続けていきたいし、四季(春夏秋冬)を通じてやっていけたらと思う。
70～74歳	男性	1	長者平祭り。
70～74歳	女性	1	自然観察会。
70～74歳	女性	1	市民歩こう会。
70～74歳	女性	1	手作り村の拡大。
70～74歳	男性	1	ナンセンス。
75～79歳	男性	1	農協の催し物。
75～79歳	男性	1	面倒
75～79歳	女性	2	なし。
75～79歳	女性	1	市場区の夏祭り。地区小学校の運動会・学習発表会・収穫祭など。
75～79歳	男性	1	開発センター感謝祭。ザビビング大会。
75～79歳	女性	1	行事に参加はない。今は高齢のため見に行くのみです。
75～79歳	女性	1	年寄りと思うようにはなりません。お願いしてまで何もわかりません。
75～79歳	女性	1	道の駅手作り村など。
80～84歳	女性	1	地区での祭りなどに参加している。
80～84歳	男性	1	高齢のため出席はしない。
80～84歳	男性	4	なし。
80～84歳	男性	1	自動車がないため。
80～84歳	女性	1	高齢者なので行きません。
80～84歳	女性	1	見に行くだけ。
80～84歳	女性	1	手作り村の感謝祭。
85歳～	女性	1	高齢で外出しない。
85歳～	男性	1	林業関係の講習会。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	体験農業など。
15～19歳	女性	1	農産物の売店があるといいと思う。
15～19歳	男性	1	新城ユースの会等、ボランティアへの協力要請による行事。
15～19歳	男性	1	地域消費用の格安農産物生産、近隣都市出荷用のオーガニック、無減農薬農産物の販売。公営事業としての放置人工スギ伐採(花粉症改善)
15～19歳	女性	1	他学区、他地区との交流がありませんので、そういったことがあればいいと思います。
15～19歳	男性	1	有名人を呼ぶ。
15～19歳	男性	1	色々な店。
15～19歳	男性	1	もっと祭りなどを増やす。
15～19歳	男性	1	サマカン、つくで祭りの屋台を多くする。
15～19歳	男性	1	お金がないのであきらめましょう。
15～19歳	女性	1	屋台を増やす。新城の富永神社の祭りみたいにダイナミックに色んな衣装を着たりする。
15～19歳	女性	1	いろんな所から人がくるように、もっとPRした方がいいと思います。行事も人がたくさんきやすい物を出しているといいと思います。
15～19歳	女性	1	作手のものをPRできるイベント。
15～19歳	男性	1	サマカンやつくで祭りの出し物や夜店を増やしてほしい。
15～19歳	女性	1	みんなが楽しめるイベント(昔の遊びとか体験(物作り))。
15～19歳	女性	1	年齢問わずたのしめるイベント!!
20～29歳	女性	1	つくで祭をもっと盛り上げる。
20～29歳	女性	1	農業などの体験活動する場を作り、他地域から集客する。
20～29歳	男性	1	個人の負担が増えるので、難しいと思う。
20～29歳	男性	1	人口が増やせるイベント。人がいなくては何にもならない。
20～29歳	男性	1	こういうことは、まず地域の行政が考えるべきではと思います。
20～29歳	女性	1	観光場所や特産品を増やして欲しい。友達を呼んでも連れて行く場所がない。
20～29歳	女性	1	現在あるイベントは残して行ってもらいたい。作手地内の地域運動会があったらいいと思う。
20～29歳	女性	1	古城に関わるイベント。
20～29歳	女性	1	今まで通りでいいと思う。
20～29歳	女性	1	他の地域でも行われている葉っぱを売る事業(家の周りや村内の美化活動にもなるし、刈った草を売ることでお年寄りの収入になるし、お年寄りが元気なことはいいと思う)。作手内のお店共通ポイントカード若しくはシール(何点になると金券として使える。)ただし、Aコープなどの大手は除く。個人店のみ。
20～29歳	女性	1	年代を問わず楽しむことができるイベント。
20～29歳	男性	1	若者の移住を促進。人口が減り続けているし、周囲に引っ越してきた方を見ると全て高齢者。
20～29歳	女性	1	道の駅での定期的なイベント開催。
20～29歳	女性	1	イベントを増やすのではなく、もとからあるイベントの活性化を図るべきだと思います。私が小学生だったころのサマカンは活気に満ちていました。
20～29歳	女性	1	もっとちゃんとしたイベント(小さな子～高齢の方までみんなが楽しめる)。
20～29歳	女性	1	B-1グランプリのような、地域の食材をつかった、食に関するイベント。
20～29歳	男性	1	年代を超えた人達が、一緒になって取り組める行事。
20～29歳	女性	1	まず地域の人たちが楽しめたりやる気になれるような事業。地域の人が活性化(いきいきと楽しそうに暮らしている土台)したら、外部の人に向けてのPRをしていくようなことがいいのでは…。こんなことをすればいい、という具体案は思いつかないが。
20～29歳	女性	1	まずは作手に住む人(高齢者～若者)が作手を誇りに思えるようになったら素敵だと思います。私が小中学校の頃、通学中に通りがかる人と挨拶するのが普通でしたが、高校で都会に出たとき、そうしないことが普通なのを見て作手っていいなあと誇りに思いました。そういう気持ちを作手のみんながもっていたら、何かいいことありそ
20～29歳	男性	1	地域の祭りの人数が減少傾向にあるため、「少額ならば誰でも来れる、体験できるようなお祭り」のようなイベントを作れば、小学生や子供が来て活気ある祭りになるの
20～29歳	女性	1	トレイルランの大会 マラソン大会。
20～29歳	女性	1	エコツーリズム。
20～29歳	男性	1	手作り村などで、たまにイベントなどを行う。
30～39歳	男性	1	イベントは好きで楽しいので積極的に参加、企画はさせてもらっている。作手には若い人たちが多くいるが、関心ある人と、ない人の差が大きい。誰かがやってくれれば行く感覚の人も多い。いろんなイベントを見ているが参加者固定が多くみられる。どうすればよいか今考えている。
30～39歳	女性	1	つくで祭には多くの人が来ていると思うので、年2回(春)とか。
30～39歳	男性	1	スポーツ大会の開催。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	つくで全域の運動会。
30～39歳	男性	1	B-1グランプリを豊川に取られなくて作手も有かも。ナイナイの嫁さんイベント。
30～39歳	女性	1	男女交流や婚活。のちに結婚につながり作手に住んでもらえるように、祝い金などあってもよい。
30～39歳	男性	1	文化祭。
30～39歳	男性	1	特産物をもっと作って販売する。
30～39歳	女性	1	地域の特産品を新しく作る。それに関して加工品を作ったりして、他の地域から人を呼び込めるようにするのはどうか。
30～39歳	男性	1	東栄町でやった宝さがし等、作手全体・全域でのイベント。オリエンテーリングなど。働き口とするため、農作物の加工場を作る。規格外品を有効利用できるような漬物やカット野菜など。
30～39歳	男性	1	どんなイベント事業でもよいが宣伝・情報が大事。人が集まらないと意味がない。子供たちが楽しめる事であれば、親、じいちゃん、ばあちゃんも参加する。
30～39歳	男性	1	ひと昔みたいに、映画上映、演歌歌手を呼ぶなり、なんでも鑑定団とか。
30～39歳	女性	1	作手祭りも、サマカンもマンネリ化していると思う。もう少し変わったことを考えるべき。
30～39歳	男性	1	地域グルメ。
30～39歳	女性	1	イベント等は増やすより、質、他地域の同じようなイベントとの差別化が必要だと思う。同じ日、時期にイベントが重なった時に選んでもらえるような決め手の有るものに。できれば一発屋みたいなものでなく、ずっと続けられるような地域色の打ち出せるものを一つ。
30～39歳	女性	1	キッズニアのように作手地域の特産品、農業、企業の職業体験できるイベント。1泊2日のキャンプもできるイベント(音楽、出展ブースなど)
30～39歳	女性	1	ハロウィン(10/31 子どもが仮装していろいろなお家へお菓子をもらいに行く)。「トマト祭り」など、特産物を活かしたイベントを企画する。「星祭り」。
30～39歳	男性	1	季節に応じた取り組みか、作付体験等、体験型のイベントを増やす。その場限りでなく次が見えるイベント。
30～39歳	男性	1	市外からの人を集めるイベント。
30～39歳	女性	1	B級グルメを増やして、道の駅でイベントする。
30～39歳	女性	1	大人向けのイベントが多いから、親子や子供向けもあってもよいと思う。
30～39歳	女性	1	つくで祭りは他地域から人が来てくれる、数少ないイベントにかかわらず、近年少しずつ内容がさびしくなっていると感じている。もっと盛り上げていくべきだと思う。
30～39歳	男性	1	足湯とか、浴場を作ると内外から集まり、作手の人や、町の人との交流ができるのでは？
40～49歳	女性	1	婚活イベント。
40～49歳	女性	1	防災避難訓練。仲間づくりができるようなこと。子育て、フリーマーケット。自然観察会、散策会。
40～49歳	男性	1	婚活イベント、昔ジョギングやっていた仮装(コスプレ)イベント。
40～49歳	女性	1	桜や紅葉など植えて、名所のような場所を創って、観光客をもっと呼べるような場所をつくる。
40～49歳	女性	1	最低今行われているイベントを続ける。
40～49歳	男性	1	若者が集まるような、メジャーアーティストの音楽イベントやスポーツイベント。
40～49歳	女性	1	現状の行事で良いと思います。
40～49歳	女性	1	今あるお祭り、イベントを改良すればよいのではないのでしょうか。
40～49歳	女性	1	農業収穫祭。
40～49歳	男性	1	今あるイベントで良いと思う。背伸びするように、あまりイベントを増やすのもどうかと思う。
40～49歳	女性	1	今やっているイベントで良いと思う。
40～49歳	女性	1	道の駅に、子供が遊べる遊具をつくる。そうすれば、作手を観光地として選ぶ家族連れが増える。
40～49歳	女性	1	今あるものをお手伝いするだけで、いっぱいいっぱいであるので、増やさなくてもいいと思うが。今後、増えたとすれば、シルバー関係、介護関係など、高齢化に即したことが望ましく思う。
40～49歳	男性	1	これ以上は必要ない。今の分の手伝いでいっぱいいっぱい。
40～49歳	女性	1	桜や広葉樹を植え観光地化する。
40～49歳	男性	1	新城市が力を入れている新城フリーの会場を町の中心だけでなく作手地域にも。本宮山ドライブウェイを通過するだけでなく、作手内の会場サブ会場として4万人の来場を作手の会場に1万人ぐらい集めるように。
40～49歳	女性	1	大学祭の程度の認知度でよいので、(大勢の人が集まる有名人)タレントを呼び、作手に足を運んでもらう行事を行い、作手を知ってもらうことから始まると思う。
40～49歳	男性	1	強い意見ではないが、遅い時間まで営業している居酒屋等があると有難い。
40～49歳	男性	1	婚活など。
40～49歳	男性	1	若者が働ける場所。カフェなどの店の充実。作手地内の観光マップ。温泉。
40～49歳	男性	1	春夏秋冬、四季折々にちなんだイベントを開催。春 山桜のライトアップ。夏 蛍の里プロジェクト。秋 紅葉まつりとライトアップ(巴川)。冬 イルミネーションとキャンドルナイト(一面にキャンドルをとます)。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.3

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	格安の代行タクシー。
40～49歳	女性	1	菅守小学校でのクラフトフェアなど。あとは、ここ(菅守小学校)がとても素晴らしい場所だと思うので、夏～秋のキャンプシーズンに、廃校小学校キャンプ場として利用すると思います。
40～49歳	男性	1	自然体験ができる大々的なイベント。
40～49歳	女性	1	図書館、スポーツボックス、温泉施設、コンサート(各界有名人)。
40～49歳	男性	1	大型スーパーを作してほしい。
40～49歳	男性	1	地場の特産品を増やす。鹿肉やイノシシなどを使ってウイナーなどを作る。温泉などの人の集まる所を作る。
40～49歳	男性	1	ボランティアに頼らないイベント。年に一度位のイベントでは、どう活性化するのか？
40～49歳	男性	1	今の現状で十分。
40～49歳	女性	1	手作り村ではフランクフルトがとても好評で木曜日の定休でもフランクフルトだけは営業しており、お客さんもいます。あんな風に作手の特産物や野菜等を工夫して出したらきっと売れるだろう・・・と素人ながらに思います。もっと何かできるはずではないでしょうか。
40～49歳	男性	1	産業を育成するための事業が必要。食料品を売っているだけのイベントは活性化につながらない。
40～49歳	男性	1	ロックフェスティバル、ショッピングモールを市内に作る。
40～49歳	女性	1	ファミリーレストランがあつたらいいな。
40～49歳	男性	1	事業として、①道の駅の拡大、②風力発電を建てて観光地化、③オートキャンプ場の整備、④サーキット場の整備。
40～49歳	女性	1	出沢のように外部の方たちにアピールし交流をはかる。(年2回の鮎、ウイナー、五平餅作り)
40～49歳	男性	1	作手全体でのスポーツの大会。
40～49歳	男性	1	・「星とホテルの夕べ」(作手村時代に行っていた行事)のように、自然環境を生かした親子体験イベント(農作物づくりなど)。
40～49歳	女性	1	春には山ざくらの花見会、夏は川浴いや沢浴いを散策する会、秋に紅葉を見るトレッキングの会など、山間地域ならではのイベントや、夏にせっかく訪れて川遊びを希望する方々にキャンプやバーベキューができるような施設があると活気づくのではないのでしょうか？
40～49歳	女性	1	間伐材などを利用した本棚や、CDラック、ベンチ、イスなどの加工品の販売。あまり高価にならない工夫が必要。※他の祭に参加した時、大工さんがいらなくなった材木を利用して、客の注文によりその場で組み立てていました。木を使った加工品に興味を持っている人が多いのではと感じました。
40～49歳	女性	1	森道市場、海辺百貨店など参考に、クリエイターが集まるイベント。地元野菜、肉を楽しめるバーベキュー屋外施設。森ガール、山ガール、初級編くらいの遊歩道コースの整備。川を使った水力発電、電気を売る。映画やドラマのロケ地誘致。
40～49歳	女性	1	あれこれやらずに今ある行事を充実させればよいと思います。
40～49歳	女性	1	全国各地から人が集まるようなイベント。B1グランプリやマラソン大会、映画祭など。
40～49歳	男性	1	太陽光発電所の設置。
40～49歳	女性	1	過疎化が進んでいるので、地元住民がもっと受入れ体制をしっかりとの方がよい。私もトマトでパートをしていましたが、経営者の体調不良により働く場所がなくなりました。これでは、イベントを考えても無駄です。
40～49歳	男性	1	○作手手づくり村を利用したイベント等。○ロックフェスティバルのような若者が集まるイベント
40～49歳	女性	1	歴史の小径を整備して、ウォーキング(いろいろな所にポイントがあつて、作手の食べ物とか食べたりして)。 ・高原を走る、無料？自転車の貸し出し
40～49歳	男性	1	イベント等では、なく作手の魅力をもっとアピールし、人が集まる地域にする方がいいかと・・・。
40～49歳	女性	1	足助のように紅葉やひな祭りなど、季節に合ったイベントを地域ぐるみで行い(各家庭に負担がない程度)、たとえば大々的にイルミネーションをやつて人を集めるとか、作手地域の特産物でPRして、人を集める行事。
40～49歳	男性	1	今までどおり。
40～49歳	女性	1	残念ながら思い浮かびません。
40～49歳	女性	1	特産品を使った料理イベント。クロスカントリーやオリエンテーリングの大会。自然鑑賞イベント。
40～49歳	男性	1	今位で良い。
40～49歳	女性	1	企業にきてもらい、職場の確保をする。
40～49歳	男性	1	婚活イベント。
40～49歳	女性	1	国道沿いのゴミ拾い。
40～49歳	女性	1	今位で良い
40～49歳	女性	1	史跡や湿原など観光となる場所のツアーやウォーキングイベント。
50～59歳	男性	1	同じイベントは低迷する。数年に一回は拡大イベントをすべし。
50～59歳	男性	1	地域住民の交流活動。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.4

年齢	性別	回答数	回 答
50～59歳	男性	1	作手地域のまとまった行事は、上記1～4のようにあるので、もう少し小さい単位でのイベント事業。
50～59歳	男性	1	菅守小学校が閉校になりその場所を利用し、イベントをする。
50～59歳	女性	1	学校跡地利用。卒業した学校なので、1ヶ月に1回位の割合で、料理、体操、体験など・・・。
50～59歳	女性	1	少子高齢化で活性化は難しいと思われる。イベントの参加は、開催場所までの交通手段の課題有り。将来の作手地域の在り方を見据えて、今はその準備をしてはどうか。作手の四季を活用し、春はお花見、夏は川遊び、秋は紅葉狩り、等、住民が必要な物を待ちよって集まり、徐々に参加者が増えてくるような、住民主体で交流が広がる。
50～59歳	男性	1	イベントの開催日は、常に仕事に従事している。開催日は仕事を休みにするような風土があると良いのでは。
50～59歳	女性	1	道の駅の内容充実を図る必要性。
50～59歳	女性	1	現在行われているイベントで良いと思う。
50～59歳	女性	1	キノコ狩りなど、他から人々が訪れる催し。
50～59歳	女性	1	閉校してしまう小学校跡地でコンサートを開く。
50～59歳	男性	1	嫁さがしイベント。
50～59歳	男性	1	質問が難しい。
50～59歳	男性	1	昭和40年代前半までやっていた「村民体育祭」を実施する。種目は現状に合うように変えればよい。会場はB&Gグラウンド。地域対抗戦(地域の編成は作手全体を8つぐらいに)。
50～59歳	女性	1	作手の気候はとても過ごしやすいし、外からの人は、ドライブ(バイク、車)に来る人が多い。しかし、景色的にきれいなところがない。桜、新緑、紅葉などもっと楽しめる場所がほしい。既設の料理が楽しめるお店もあると良い。
50～59歳	女性	1	文化的な事業。
50～59歳	女性	1	桜並木を作って人が作手に来るようにする。
50～59歳	女性	1	若者が主体になれるイベント。
50～59歳	女性	1	自然を利用して行うマラソン競技とかのコースの整備。
50～59歳	男性	1	・大なわとび大会 ・東北へールをおくらまいかい ・大ウェーブ大会 ・作手合婚祭 ・ふるさと写真で元気展 ・200m大五平もち会 ・借用畑大根大賞 ・鹿肉バーベキュー大会 ・大いもなべ会 ・東北の方に楽しんでもらう会 ・間伐材チェーンソーアート ・歴史探訪のオリエンテーリング ・各地区祭ばやしおひろめ会
50～59歳	男性	1	本質問は行政が考えて、住民に意見を問うものだと考えます。住民が上申した意見を全て通すことなど有り得る事はないし、イベントで活性化をはかるという考えより、先に考えることがあると思います。
50～59歳	男性	1	スポーツ大会の開催。
50～59歳	男性	1	各種の講習会。
50～59歳	女性	1	サイクリングやハイキングコースを作り、作手の中で楽しめるような事業があればよい。
50～59歳	女性	1	作手農産物を使った料理教室(名の知れたシェフを講師に招いて)その場で農産物を販売する。
50～59歳	男性	1	・ハイキングコースやサイクリングコース等を整備して、地域の特性を生かしたスポーツ、レクリエーションの振興 ・定年後に農作業等をしながら、のんびりとした生活をしたいと考えている人達を受け入れる為の農地付住宅の整備(古民家利用など)やそれを支えていくためのしくみや人員の整備
50～59歳	男性	1	・鬼久保広場で住人が主催となり青空市を開く(軽トラ等)・・・農産物、リサイクル等 ・サマカン終了時間の延長及び花火を増やす(手筒花火を減らす) ・24時間ソフトボール大会(ドッジボール等)(誰でも参加OK点数参加者数でギネスにも登録出来るかも?) ・オールナイトフォークコンサート ・作手の名産品になるものを研究
50～59歳	男性	1	地域を国内外にPRできる様なイベント(自然、特産品、地域資源を活用したもの)。
50～59歳	男性	1	これから少子高齢化が益々進む事が考えられる事から、老人に対して安心して病院、買い物出来る、公共の低料金タクシーのようなものが必要であると思われる。
50～59歳	男性	1	一部の人が盛り上がるのではなく、小中学生も一緒に取り組めるイベントが必要。
50～59歳	女性	1	四季を通じてのお祭り、地区対抗の大運動会など。
50～59歳	男性	1	短期間から長期にわたり作手に滞在する形の事業が必要(人口を増やす取り組み)。
50～59歳	男性	1	イベントの目的? 作手を良くするため? 活性化するため? 自分たちのモチベーションを上げるため? 目的を考えなくては、作手の今の状況を考えイベントも変わるものと考えます。
50～59歳	男性	1	作手をメインとした大きな(全国的)イベント。特に作手らしい、作手の地形を利用したトレイルレースなど。農業による、地域と市外からの来客による交流。休耕地を利用した農地付住宅地の分譲。
50～59歳	女性	1	コミュニティ活動。
50～59歳	男性	1	若い女性とのお見合いイベント。都会の若者の田舎暮らしイベント。
50～59歳	女性	1	つくで祭りのような感じの農林業祭りのようなものができたらどうかと思う。そこで、作手で生産されている物を販売してみんなに知ってもらおう。
50～59歳	女性	1	今までやっているイベントはそのまま続けて欲しいです。つくで祭りをもう少し盛り上げて欲しいです。
50～59歳	男性	1	県外からの集客が出来るようなイベント。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.5

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	都市住民との交流が図れるもの、図れそうなものをどんどんやっけていき、その中から定着しそうなものを絞り込む。最初からホームランはねらわないこと。
60～69歳	女性	1	現在作手にはスーパーがAコープしかなくて総合的に買い物をするところがないので、結局新城へ行きます。できれば大きなスーパーが近くにあればよいのではと思
60～69歳	女性	1	夜空が美しいので、それを活かした事業。ホテルが昔に比べ少なかった。ホテルで人を集める事業。
60～69歳	男性	1	他地域・外部からのイベントとして場所提供とか。
60～69歳	男性	1	マラソン大会。
60～69歳	男性	1	獣害の鹿や猪などの捕獲から、解体、加工、調理までの一貫した奥三河ならではの短所を長所に変えて、都市部から流入を図り、地域を活性化する。
60～69歳	男性	1	イベントの見直し(旧態のままのイベントがほとんどであり、時代に合ったイベントの実施)。
60～69歳	女性	1	若いお母さんたちの参加が、地域を盛り上げてくれると思うので、その方たちの参加を促すために、各家々の留守をしてくださる、おじいさん、おばあさんの理解をうけることが大事だと思います。
60～69歳	男性	1	既存のイベントは、地域外の人に目を向けていると思います。これからは、もっと地域に住む人々に目を向けても良いかと思っています。
60～69歳	女性	1	自分達の住んでいる道路端をきれいにして、明るく住みやすい環境を保ってきたい。
60～69歳	男性	1	イベントではなく継続できる事業。(夏の学校、夏長期的に保養できるシステム(町の高齢者が)、モータープール)
60～69歳	女性	1	定期的に料理(山の食べ物)を学ぶ所が欲しい。
60～69歳	女性	1	多くの人が集まる施設がないため、他地域からの集客が少ないと思う。
60～69歳	女性	1	作手祭、農業祭(産業祭等)。
60～69歳	男性	1	ジャズコンサート。
60～69歳	女性	1	地域の既存のもの(自然、景観、民家等)を使いつつ、若者にも興味を持って参加してもらえるようなもの。
60～69歳	女性	1	古城まつり、サマカン、つくで祭りのイベントをとおして作手外へ出た人に参加してもらい、作手のこれから、現状を見ていただき、ひとりでも多くの人が帰ってきていただけたらいいと思う。またボランティアや支援、応援団が(ネット)できたらいい。
60～69歳	女性	1	田舎は田舎に適して作手にしかない、町から一時間で来れるちょうど良いドライブ時間をアピール、湿地は今や絶滅危惧、それがある、作手は立派な財産を活かして
60～69歳	女性	1	つくで高原の五文字を最大限に活用する。151号～301号への分岐点につくで高原の鳥瞰図を大きな看板を設置する。※(ほとんどのドライバーは、山の上に田園が広がっているなど知らないで、単に山が連なっているだけだと思っています。)高い所にある原＝高原＝をアピールする。作手の明日はここからすべてスタートするも
60～69歳	男性	1	間40で書きましたが、「イベントはあくまで一過性です。住民主体の住民のためのエネルギー自給を高める方法(薪ストーブ、ボイラーへの助成と、薪供給システムのための使用者のグループ化)等を考えてはどうか。間40と同じですが、作手には多量なエネルギー源(低周波公害、バードストライクの風力ではなく)として牛糞糞があります。それを活用してはどうか。化石燃料依存度を少しずつ減らす暮らし方を目指し、それを目玉にできないでしょうか。他に降水量が多い事、村から四方へ川が下っていることを考えると小水力発電も考えてもよいかと思っています。
60～69歳	男性	1	朝市街道⇒道の駅を中心として301号沿いに。無人販売所等を50カ所以上設置して作手の取り立ての野菜を出す。 効果⇒リタイヤした人たちの仕事を創設と休耕地等の活用、又廃校等を利用しての農産物の生産を通しての作手地区の活性化を図る。 ①廃校利用 ア. 宿泊付の1坪菜園 イ. 菌床しいたけ、或いは野菜工場。 ②旧電力発電の再利用での電力エネルギー販売及び休耕地及び廃校運動場の利用による太陽光発電のエネルギー販売。 ③水道代、下水道代を新城地区などと同価格に引き下げる。山間地区差別価格の是正。
60～69歳	男性	1	音楽祭をたくさんやる。
60～69歳	男性	1	イベント、事業ではなく、作手に帰って、作手のために尽くしてやろうという意気込みを高める、会社、働き場所を作らなければ。作手は姥捨て山になるよ。
60～69歳	女性	1	作手高原の特性を生かして…。
60～69歳	女性	1	地域の人たちが参加しやすい組織づくり。
60～69歳	男性	1	三河三川の地、地の利を生かす試み。水の源泉(汚れる水源地)。清水は地球に最も大切な資源である清水の活用である。自然水を飲水できる国は日本のみである。海外では生水を飲むことは不可である。
60～69歳	女性	1	工場で働く場所。医療の充実(土・日でも受けられる)。行事の簡素化。
60～69歳	男性	1	春 新緑・山菜などが食べられる場所。夏 川遊び・魚つかみなど楽しめる場所。秋 きこの・山いもなど食べられる場所。一年を通じて人が来てくれる場とすることが
60～69歳	女性	1	役員になりたくないが、イベントを楽しめるようなゆとりができれば、仲間で参加したい。
60～69歳	男性	1	農業まつり。芋煮のふるまい。とろろ汁のふるまい。農産物の販売。農産物品評会。町の人への農地の貸し出し。
60～69歳	男性	1	野外コンサート。
60～69歳	女性	1	年末のもちつき。
60～69歳	男性	1	1. 世は健康ブーム。ウォーキングコースの整備、パンフレットの作成、県内外へのPR。2. R301の整備、拡張。3. つくで祭りを春秋の2回実施。県内外への大々的なPR。4. 中河内付近に道の駅を作り、名古屋、豊田方面からの集客をする。
60～69歳	男性	1	都市に住む人との交流を苦手とする意識を捨てないと、視野の狭い地域になるので、耕地付き住宅(町では不可能)の事業。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.6

年齢	性別	回答数	回答
60～69歳	男性	1	小学校、中学校、こども園等を中心に子供を取り巻く保護者、地域の人たちが参加する行事。
60～69歳	女性	1	コミュニティー活動の具体化。
60～69歳	男性	1	廃校舎などを活用し、宿泊施設化して集客し、自然を楽しんだり、交流の場とする。農業や果樹園の作業を体験したり、スケッチ、写真撮影などを楽しむのもよい。
60～69歳	女性	1	B-1グランプリ。
60～69歳	男性	1	作手育ち、生まれた方々が帰って、また参加できる、してもらえるようなイベント、事業を開催する、企画する。参加したい魅力あるものができるか。
60～69歳	女性	1	作手全体で参加できるイベントの開催、お年寄りから子供が参加できる市民体育祭。一部の参加だけでなく現在のイベントの良さをしっかりPRし見直しをする。
60～69歳	女性	1	年間を通じて定期的に参加してもらえるもの。子供も若者を女性を高齢者をと手間とお金をかけないで地域と参加者で作り上げていく。作手へ行って皆と何かをすることが楽しみだと思って来る。作手のリピーターを作る仕掛けをする。その事によって人の交流が生まれて自然に活性化する事業。
60～69歳	女性	1	昔ながらの行事の復活。例えば集落単位の小さな行の掘り起し、若い人たちが集落の年よりの方に話を聞き、老若男女一同に隣近所のお付き合い絆へと。
60～69歳	男性	1	ミネアサヒの宣伝強化と田んぼの大規模化。
60～69歳	女性	1	具体的には解りませんが、地域の人たちには勿論ですが、近くの市町村からたくさん集まってくれるようなイベントをすると、より作手の活性化になると思います。
60～69歳	男性	1	各集落(区)主要イベント・名所への参加・交流。作手地域の新聞発行やブログ発信。
60～69歳	男性	1	道の駅 調整池を活用して、ピオトープにしてトンボやカエル等を観察できる場があると、家族で参加できるのでは。
60～69歳	男性	1	史跡、湿原などの観光名所を整備し、ハイキング等を含めたイベントで集客を図る。
60～69歳	男性	1	つくで祭り30周年を期に原点に帰り盛り上がる。
60～69歳	女性	1	住民参加型の地域住民運動会などをしたらどうか。作手に来た人が長時間足を止めてもらえるような、観光地テーマパーク体験できる所があると良いと思う。
60～69歳	女性	1	小学校の統合後の空室にたとえば手芸教室とか料理教室・工作教室・俳句短歌・習字等ボランティア講師を向えて気楽に若い人も年寄も学び遊べるスペースを作ってほしい。できれば図書室も(寄付の本を集める)。
60～69歳	男性	1	自然を活かした観光事業(温泉、ハイキング)。
60～69歳	女性	1	サマカンは今年で終わりました。青年団がなくなったのはさみしいです。若者が定住できる町づくりを考えてください。夏は涼しく、良い所がいっぱい。もっとPRすれば(住宅なども一度きれいにして都会の人が住みたい様になると良い。)
60～69歳	男性	1	中山間地特有のイベントがあればよいと思います。(ex. 昔のくらしを再現し、体験できる)
60～69歳	男性	1	人口増加が最大の事業。
60～69歳	女性	1	若い人が働ける場所があり、子育てがしやすい環境が生まれるような事業。
60～69歳	男性	1	春の桜、秋の紅葉、自然の山桜、人工のソメイヨシノ、自然の紅葉(イロハカエデ、ドウダンツツジ)、人の流れを呼ぶ、お金を使っていたく。
60～69歳	男性	1	道の駅…他にはあまりないような道の駅にしていける事が集客や、作手の良い所を他地域の人に知って頂く機会となると思う。道の駅を中心に作手の良い所を拡大していく。(風呂、作手産野菜を使った料理)
60～69歳	男性	1	作手地区三大祭り、サマカン、古城まつり、つくで祭りの充実、拡大、地区住民の参加を促す。(積極的参加)旧学区(コミュニティ)対抗イベントの開催。歴史民俗資料館による各種イベントの開催及び情報発信。道の駅を核とした物産展の開催。◎困難であるが、地区外の方々に訪れていただく工夫。
60～69歳	男性	1	イベントで作手地域が変化するとは思えない。
60～69歳	男性	1	小学校が再編されたので、旧学区民が作手小学校区民として一体感が育まれるような行事。(例)体育祭や文化祭(地域の文化や歴史を知る)
60～69歳	女性	1	まず道路を明るくしてほしい。道路の脇は杉の木でうっそうとしている。夜通るとなると、とてもこわい。電燈も所々につけてほしい。もみじの名所があるのにとでも残念。
60～69歳	女性	1	温度差がある。夜と昼間の温度が有る事。米とか野菜がおいしい。田代区はきれいな小川の水が田に入る為、お米が特においしい。アピールすれば活性化する。
60～69歳	男性	1	これ以上増やさなくてもよい。
60～69歳	女性	1	量より質。現状維持。
70～74歳	男性	1	半隠遁者志向なので、地域の活性化を考えたことがない。
70～74歳	男性	1	子どもから大人までみんなで楽しめる、呼び込む、遊園地、公園等があれば、地域の活性化が少しは望めるのではないのでしょうか。
70～74歳	男性	1	まず、部落から出ていけたらいいと思います。こんな体になつたらだめですね。
70～74歳	女性	1	作手の適した果物の実などを作り春夏秋と客を呼べるとよい。
70～74歳	女性	1	村民体育祭等?
70～74歳	男性	1	活性化させるためには、一時的なイベントではダメなので、何か継続できるイベントがあると良いと思う。働く事業所を増やし定住できる所を増やせると良いと思う。
70～74歳	女性	1	なぜ活性化を考えなければならないのか。何もしなければ子や孫が住み続けられる場所とはならないでしょう。今ならまだ間に合うかもしれない。住民間でまずこのことを共通認識とすべきです。その上でのイベントであり、事業でしょう。
70～74歳	男性	1	各地域(集落)にある伝統芸能、技術を紹介する。本来の地域に根付いたものを発掘し、それらを紹介し合う事業の展開。各地域、各個人が持っている食文化を紹介し合い共同作業で食べ物を作り試食する。
70～74歳	女性	1	コミュニティなどに参加しています。運動会、ハイキング。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.7

年齢	性別	回答数	回 答
70～74歳	男性	1	イベント事業だけでは地域の活性化は難しい。仮にイベントや事業を行うにしても主体は、資金は、継続性の問題等があり思いつきでやっても成果は上がらないと思います。※働く場所の確保さえできれば活性化はできる。
70～74歳	男性	1	「作手祭り」等の宣伝を広く多地域まで進め「多くの人」が集まりやすい祭りにする。
70～74歳	男性	1	自然薯大会(長さ、重さ、品質等)。健康嗜好を考えた料理。
70～74歳	男性	1	温泉。
70～74歳	男性	1	作手特性の飲食店。
70～74歳	男性	1	現時点で具体的なイベントは思いつかない。作手地域には、年間を通して間44のイベントを含め各種団体によって多数のイベントや行事が行われていると思う。これらイベントを行っている主催者の協力を得て今までの実施状況(又は実績)、実施する上での問題点や課題、今後の見通しなどを調査・整理することで、「作手」らしいイベントを考えるヒントが得られるかも知れない。
70～74歳	女性	1	これまで重ねてきた行事は、度々参加して感じていることですが、外からの参加者を呼んで盛り上げようとしている割に作手地域の人自身が参加を楽しんでいないという事。新たにイベントを興すのではなく、見直してみてもどうか。
70～74歳	女性	1	ふれあい夢広場など高齢者を対象とした行事があり楽しいと思うが住民自身が積極的に参加しなければ何を企画しても意味がない。積極的に参加するような働きかけが必要だと思う。
75～79歳	女性	1	春は桜、夏は涼風と水遊びなど、秋は紅葉、名所を創り観光地をつくる。
75～79歳	女性	1	つくで祭り。
75～79歳	男性	1	①自然を活かしたイベント(山林の見学、森林手入れの実習、自然観察会(植物・生物・動物))②産業を活かしたイベント(農業体験、酪農体験等)
75～79歳	男性	1	高齢化進行中なので、老人クラブの活動を活性化すべき。
75～79歳	男性	1	わからない。今のイベント、祭は、食べ物をうるだけで・・・。
75～79歳	男性	1	作手祭りの存続。
75～79歳	男性	1	イベント事業もいいが、場所も必要である。
75～79歳	男性	1	本宮山スカイラインを活用したものを考える。
75～79歳	男性	1	講演会、老人クラブは市を解散して作手地区で活動しイベントを行う。
75～79歳	男性	1	これからの事柄を企画・推進してくださる方はみんな真剣にことにあたってください頭が下がります。今後も活発的なアイデアを出すべく努力していただきたく思います。
75～79歳	女性	1	間13のすべての事業化。
75～79歳	男性	1	間38、間41を具体的なビジネスモデルへ発展させることだと考えます。そのためには、農林以外の業種や異なる年代の人々の知恵を結集させることが大切です。今や下町の中小企業者の集まりからロケットが打上がる時代です。必ずや素晴らしいビジネスモデルが出来上がると確信しています。間46は、そのために必要な重要な過程です。とにかく楽しく進めていくことが一番だと思います。
75～79歳	男性	1	・(1)高原駅伝大会開催「前、本宮山スカイラインを利用して往復35kmで駅伝大会を開催。全国からチームを募集して恒例行事とする。」 ・(2)林道ジョギソン大会の開催「舗装された林道が何線か荒廃している。毎年恒例行事として行う。」
75～79歳	女性	1	古城祭り、つくで祭りは、今後のずっと続けて行ってほしいと思う。つくでの森の音楽祭はいい行事だと思うのに、何も知らない者が、見に行っても良いものか悪いものかと迷い今だに行く事ができずにいます。残念。
75～79歳	男性	1	小学校の跡地問題…菅守小の跡地利用を考えているようであるが、4つの跡地があるので連携して多方面から活用を考えてほしい。
75～79歳	女性	1	地域を活性化するためには、強力な導道者が必要。
75～79歳	女性	1	古城まつり・つくで祭りを盛大に行ってほしい。
75～79歳	男性	1	作手の自然を楽しむ健康イベント、散策、良い所を、散策道を探す。
75～79歳	男性	1	バス停近くに人の集まれるサロン等。
75～79歳	男性	1	乗用車の展示と試乗会。
75～79歳	女性	1	合併前まで行っていたジョギソン大会の復活を望む。
75～79歳	女性	1	村祭りの再開。
80～84歳	男性	1	菅沼姓の発祥の地、菅沼城の整備、菅沼姓の人を集めて菅沼祭り。三河には菅沼姓433あり
80～84歳	男性	1	地域の優れた技術や技能を紙面等で紹介(匠の技)。
80～84歳	女性	1	B-1グランプリ。
80～84歳	女性	1	古宮城の整備、支援。所有者の一人ですよろしくお願ひします。
80～84歳	男性	1	若者の考えている事に従う。
80～84歳	男性	1	活性化の手法なし。人口の減少・高齢化により農林業の担い手不足と農林産物の価額の採算割れで耕作放棄、農地潰廃、林地荒廃が急速に進み誰も止める事ができない。将来日本は東京のみになる。

## 45. 作手地域を活性化するためのイベントや事業 No.8

年齢	性別	回答数	回 答
85歳～	男性	1	今まで行われてきた他に改めてありません。
85歳～	女性	1	イベント、行事がある時は、大々的にアピールする(ネットなども使って)。
85歳～	男性	1	展示農場を作ること。果樹・野菜なんでもできるから。できるものは全部作って見せること。特に高校生に作らせること。
85歳～	男性	1	材木が売れること(外材輸入を取止め国産材の使用)。森林の手入、枝打、雑木の伐採(下刈)。
85歳～	男性	1	コミュニティ活動の拡大。学校との協力事業の推進。
85歳～	男性	1	第一に道路を作る事。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性/女性	3	つくで祭みたいな行事を増やしたらいいと思う。
15～19歳	男性	1	特定地域での住民への行事参加強制の停止。自由参加型の解放市場やイベントの充実化。
15～19歳	女性	1	お金がないのであきらめましょう。
15～19歳	女性	1	スポーツ大会。
15～19歳	女性	1	地区別の行事を作る。
15～19歳	女性	1	今までどおりのイベントでいいと思う。
15～19歳	男性	1	現在のままで良い。
15～19歳	女性	1	子供、お年寄り関係なく集まって交流できるイベントがあつていいと思う。
20～29歳	女性	1	交流会などつくる。
20～29歳	男性	1	冠婚葬祭で集まるので、大丈夫だと思う。
20～29歳	男性	1	地域内でのなれ合いが増えても、地域の発展は望めないと思います。これ以上はいりません。
20～29歳	男性	1	こういうことは、まず地域の行政区が考えるべきではと思います。
20～29歳	女性	1	お祭り、サマカンなど、農業をしている人も時間があって参加できるお祭りの規模が小さくなってしまって、何にも楽しくない。ああいう場所こそ、お祭りだからこそ、みんな集まって楽しめると思う。作手には、地元の間人が、お年寄りから小さな子まで楽しめるイベントが本当に少ない。それはとても悲しいことだし、人を呼ぶより先に、地元の人がイキイキできる楽しみや活動をすべき。
20～29歳	男性	1	お茶会。
20～29歳	女性	1	作手全体の体育大会。
20～29歳	女性	1	地域運動会。
20～29歳	女性	1	老人が住みやすい複合施設を作り、他地域からの高齢者の受け入れ場所「老人村」を作る。
20～29歳	女性	1	・村民運動大会(今はこども園、小中と別々で行っているけど、それをすべてまとめて、なおかつお年寄りや一般の人も出場可能な競技を入れる)・子どもとお年寄り(一人暮らしの人を中心に年寄り夫婦のみの世帯とか)と一緒に遊べる会みたいなもの(昔の遊びを学ぶ)・作手の特産品を使ったり、郷土料理教室を開く。
20～29歳	女性	1	イベントを増やすのではなく、もともとあるイベントの活性化を図るべきだと思います。私が小学生だったころのサマカンは活気に満ちていました。
20～29歳	女性	1	今後小学校が1つになるため、それを軸にした、色々な世代が交流できるようなイベントはとてもいいと思う。地域の人も含めた運動会や食事ができるような集いなど。
20～29歳	男性	1	イベントや事業というより、今あるものに参加しやすい空気を作ってほしい。
20～29歳	女性	1	作手に住む人が”共感”や”同じ体験をできる”イベント。
20～29歳	女性	1	物々交換市場。
30～39歳	男性	1	月一回や半年一回、年一回など、BBQや、鍋パーティーなど互いが顔を合わせる場をつくる仲間同士では結構やっている。
30～39歳	男性	1	スポーツ大会。
30～39歳	男性	1	つくで全域の運動会。
30～39歳	男性	1	古くからある地域の交流にイベント、事業など公のものが手を入れるのは難しいが、小中学生、消防世代、老人世代の各世代、グループのコミュニティを含めみんなが行うイベントや事業があると良いかも。
30～39歳	女性	1	料理教室・工作など作手ならではのイベント。
30～39歳	男性	1	つくで祭やサマカンの様な集客イベントでなく、作手の住民だけが集まれるような祭・交流会。一年に一回回数が増えると負担になる。例えば、五平もちや、へぼ飯、春の山菜、夏のBBQなど食べながら。
30～39歳	男性	1	どんなイベント事業でもよいが宣伝・情報が大事人が集まらないと意味がない。子供たちが楽しめる事であれば、親、じいちゃん、ばあちゃんも参加する。
30～39歳	男性	1	小・中学区を中心とした交流を目的とした行事。
30～39歳	女性	1	婦人会(若い世代のお母さんたちが集まって語りあう会)。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.2

年齢	性別	回答数	回 答
30～39歳	男性	1	1校に小学校がなるので、それに合わせて全村でのイベントをつくる。
30～39歳	女性	1	セミナーなど。
30～39歳	男性	1	運動会のようなイベントをBGでやってみたらどうか。
30～39歳	女性	1	庁内運動会のように全員が参加できるイベント。
30～39歳	女性	1	住民運動会。
30～39歳	女性	1	イベント数は今のままで、手作り感でいけば良いと思う。若い人が中心になってできると良いと思う。中学生も参加していけるといいなと思う。地域とのつながりが大切だと思います。
40～49歳	男性	1	昔やっていた村民体育祭のようなイベント。
40～49歳	女性	1	旧学区を超えて交流したり話し合ったりできるといい。ものづくり、皆で農産物会食会など。
40～49歳	女性	1	お年寄りが多いので、集まれるような場所があればいいかと。
40～49歳	男性	1	スポーツイベント(ウォーキング等)。
40～49歳	女性	1	問44の行事で良いと思う。強制的に参加させられる行事は嫌です。
40～49歳	男性	1	現状でも親睦は図られているように思います。
40～49歳	女性	1	子供からお年寄りまで皆が楽しめるもの。
40～49歳	女性	1	スポーツ交流。
40～49歳	女性	1	大きなイベントも良いが、出てくる人は出るが、出ない人は出ない。身近なところで、小さい単位のイベントを。でもやっぱり、出ない人は出ないと思う。
40～49歳	男性	1	今の手伝いで、親睦を深めている余裕はない。
40～49歳	女性	1	旧学区を中心とした地域活動旧村全体だと、イベントをするのに枠が大きすぎるので、旧学区くらいの枠で取り組めば、個々が自覚と責任を持って参加できそうだし、親睦も深まりそう。
40～49歳	男性	1	そのために参加を事実上の義務付けしないでほしい。
40～49歳	男性	1	作手住民、地域の2通りを合わせて考えるよりも、作手地域のみ活性化を考えた方が良いと思う。企画を出したら実行できるか、大きなイベントより小さな行事から。外部の成功したイベントのものまねもよし、小さなイベントでも外部に発信できるような企画がよい。
40～49歳	男性	1	現状で満足しているため、特になし。
40～49歳	男性	1	無駄な集まりをやめ、必要なものだけにする。作手内の運動会。
40～49歳	男性	1	老若男女参加できるイベントといっても、保育園や小学校、中学校などの運動会で、時間つぶしのごとく、地域住民の参加をプログラムに児童のプログラムよりも多い(又は、半分)のはいかがなものか？あくまでも小学校などの運動会であり、地域住民ではない。
40～49歳	男性	1	大アウトドア大会 大キャンプ大会 大バーベキュー大会。
40～49歳	男性	1	知識、経験豊富の方々からの伝授。
40～49歳	男性	1	作手地域全体の運動会。
40～49歳	男性	1	新しいイベントより、現状の祭礼等地域に根差したものに積極的に参加すべき。
40～49歳	男性	1	今の状況で良いのでは。
40～49歳	男性	1	日常から行政区の行事が多いため、新たな親睦事業を強制することが無いよう願います。労働環境が変化しなくては親睦事業は煩わしいとしか思えない。
40～49歳	男性	1	飲食店の誘致事業。
40～49歳	男性	1	必要とは思わない。
40～49歳	女性	1	地域あげての大運動会、地域ごと名所めぐりツアー。
40～49歳	女性	1	作手祭りの場所を今のB&Gから作手高校に移し、学校の文化祭と合同で行う。
40～49歳	女性	1	子供の通う学校で親のソフトバレーボール大会が合併前にありとても楽しくできていました。そんなスポーツ等を通して親しくなることもあるので、学校単位でも地域単位でも大人の参加ができる(する)行事があると楽しいのでは・・・。ただなかなか忙しく時間の逢う日も難しいですが・・・。
40～49歳	男性	1	問45同様、学区や集落対抗のスポーツの大会など。
40～49歳	男性	1	運動会や芸能祭など、地域の人たちが集まり楽しむことができるイベント。
40～49歳	男性	1	小学校が一つになるので、運動会などへ参加する。
40～49歳	女性	1	地域ごとのお祭りを春と秋で一度にできたらいいのではないかと。つくで祭りは作手の人のお祭りというよりは他の地域の方々に向けたイベントに感じられるので。
40～49歳	女性	1	・いも煮会 ・防災訓練
40～49歳	女性	1	村民体育大会(運動会)みたいなものは、どうでしょうか。スポレクは、みんなが興味のある人たちだけが集まっていやっていますが、全年齢に無理なく参加できる競技を考えてきたら楽しいのでは。
40～49歳	女性	1	地元住民と他県地域から来た人との間に距離がある。イベント・祭りなどでも距離が感じられる。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.3

年齢	性別	回答数	回 答
40～49歳	男性	1	新城内のB-1グルメ。
40～49歳	女性	1	食育推進に取り組み、コソコソと農作物をつくる。高齢者の方の知恵などを子供や若い世代に伝える活動。高齢者の生きがいと若い世代が作手に住みたいと思える交流イベント、作手から他地域へ移住した人たちが帰ってきたいと思えるイベントや事業が必要。
40～49歳	男性	1	他地区との交流。
40～49歳	女性	1	子どもが中心で何かするイベント(夏祭りとか)。
40～49歳	女性	1	住民相互の親睦は、地域のお祭りとかがあるので、あまりイベントなどを増やしても若者は忙しくて時間がないので負担になるし、あまり増やしても参加する人は少ない
40～49歳	女性	1	地域の祭り。
40～49歳	女性	1	今のままでよい。
40～49歳	男性/女性	2	スポーツ大会。
40～49歳	女性	1	趣味等のサークル。
40～49歳	女性	1	今位で良い。
40～49歳	女性	1	子供から大人まで(個人からいろいろな団体)の特技や習い事等の発表の場。
40～49歳	女性	1	コミュニティ活動の活性化。
50～59歳	男性	1	地域外へ出た若者が一堂に集まり、ついで祭りなどへの参加を呼びかけ、ブースを与えて拡大しては。
50～59歳	男性	1	日曜日や休日を利用し、他地域の人たちを集め交流を深める。
50～59歳	男性	1	地域コミュニティの活性化。
50～59歳	男性	1	高校生位～60歳位を中心にした、スポーツ・文化のイベント(特に高校生～結婚前、子供が小中学校を卒業した人)。
50～59歳	男性	1	スポーツ。
50～59歳	男性	1	各部落で行われている催しを、1ヶ所に集約し、(高齢者はシャトルバスで送迎)ほとんどの作手地域の住民が参加するような体制をとってはどうか。
50～59歳	女性	1	10/27に菅守小裏山散歩と秋の料理きのこ汁ち五平餅が大変良かったと聞いているので、旧開成小、旧巴小も跡地になる前に、3年余りを有効に利用してみれば…。結果を見て、次の計画に繋げてみては…。
50～59歳	女性	1	作手住民運動会。
50～59歳	男性	1	スポーツ。
50～59歳	男性	1	質問が難しい。
50～59歳	女性	1	作手運動会(住民だれでも参加できるもの)。
50～59歳	女性	1	大規模バーベキュー大会。
50～59歳	男性	1	大なわとび大会・大ウェーブ大会・いもなべ会・全地区昔話おひろめ会・作手全域ゴミ0大会(地区別競技 量が勝負、どこへ行ってもよし)※みんなが集まり、貢献、楽しむ総員交流できるよう細部検討。
50～59歳	男性	1	問45と同意見。
50～59歳	女性	1	サマカンとかついで祭りのように大規模な物でなく、小学校や中学校などを利用して運動会や盆踊りなどを行う事業。
50～59歳	女性	1	リラックスして本音が言い合える場が少ないので、年齢などに分けての会合があってもよい。例えば、18から30歳の会、31から40歳の会、41から50歳の会、51～60歳の会、61歳以上の会など、心の中にあるものを声に出すことが大切だと思う。次は年齢を超えて、という風にステップアップしていく。
50～59歳	男性	1	作手地域は、元来、各行政区単位での住民相互の親睦が深い地域であり、一過性のイベントや事業を行う必要がないと思います。
50～59歳	男性	1	・祭事・河川の掃除や道路等のゴミひろい、草刈、趣味等の交流募集して終了時の飲食会
50～59歳	男性	1	子供から老人まですべてが一堂に会することが出来る様なものでも会っただけではなく、交流する仕掛けがなければダメ。準備、手伝い、実際に参加出来るもの。
50～59歳	男性	1	今一度原点にもどって、作手(村民)体育祭や0歳～100歳まで全員参加イベントの実施。決して争うようなものでないことが必要。
50～59歳	男性	1	地域対抗のイベント・事業(地域住民が連帯感が持てる事業)。
50～59歳	男性	1	作手には若い人が少ない。若いひとが輝けるようなイベント。
50～59歳	男性	1	まつり。
50～59歳	男性	1	小・中・高校のイベントへの住民参加。
50～59歳	女性	1	コミュニティ活動。
50～59歳	男性	1	フリーマーケット。
60～69歳	男性	1	趣味の集まりのようなものを育てることから始めて行くことが大切です。全体が集まるようなことは、いきなりはなかなかうまく行きません。
60～69歳	男性	1	市民参加型の体力測定及びエアロビクスなど、体験イベント(老若男女)。
60～69歳	男性	1	スポーツイベント実施。
60～69歳	男性	1	イベントはいらない。近所の人たちが自発的に交流できる支援。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.4

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	女性	1	昔ながらの食べ物、つけ物作りから自給自足の暮らし方。
60～69歳	男性	1	宴会を増やす。
60～69歳	女性	1	現時点では分からない。
60～69歳	女性	1	作手祭。
60～69歳	女性	1	何をしても協力しない人は、何をやっても参加しません。住民一人一人が色々な行事に部落全員が参加でき、楽しめるものがあるといいですね。
60～69歳	男性	1	大きなイベントより、小さな単位あるいはサードプレイスのような場所があれば、住民内でのグループ化が行われる可能性が出てくると思います。行政が上から旗を振っても成功したためしがありません。トップダウンよりボトムアップです。行的手法思考ではうまくいかないのが過去の例です。
60～69歳	女性	1	どんなイベントでも親睦を深めることはできると思う。
60～69歳	女性	1	つくで祭りは良い機会なので住民参加型、運動会のような年に一回みんなで楽しい一日を過ごす。作手が好きな人たちや作手から出た人たちにも参加していただけるようなイベント。
60～69歳	女性	1	合併前の文化活動がめっきり減ってしまったと思います。よって住民の活気がなくなってしまいました。公共施設の有料化、中央寄りのイベント等が増え、高齢者の足が遠のいてしまいます。
60～69歳	女性	1	豊橋の葦毛湿原より手入れをして、ボランティアの人に説明してもらえれば、長の山湿原はほかにはない地区です。
60～69歳	男性	1	カラオケ大会。
60～69歳	男性	1	昔のように飲む人は、なくなりました。一緒に汗をかき、苦しみを乗り越えたという充実感を味わうのが一番です。やはり「我が子のため、我が妻のため、我が親、祖先のため」その一つでも自己満足出来る催しをできればと思う。例えば、本宮山元旦日の出詣(新城・一宮より登山)。
60～69歳	女性	1	新都市の教育費削減の策のため、4地区にあった小学校も閉校となってしまいました。これも、住民の意見を反映させたのでしょうか？そうは思いません。学校がなくなると、急激に過疎化が進むと言われます。それぞれの校舎等も新都市は地元へすべて丸投げです。以前、小学校合併のアンケートがあったときに、合併というなら、人が流出しない、限界集落にならない策をしてから、と書いた記憶があります。市町村合併のときも、同様のことを書きました。しかし、今現在、新都市は、田舎を、小数を切り捨てているようにしか考えられません。イベント・事業の前に、このような一部の質問アンケートだけでなく、もっと自由に意見が言える場を作ってほしいと願います。意見を言いたくても言えない、反映されないのは、人々を無気力にします。
60～69歳	男性	1	いつまで〇〇地域住民等という言葉を使用することすら、全体の親睦を疎外することであることを官民共に悟り、悟ることである。
60～69歳	男性	1	全年齢を対象とした運動大会(昔行われていた村民体育大会等)健康維持増進を目的に。
60～69歳	女性	1	作手地区を対象とした(全年齢対象に)体育大会のような行事があるといいなあと思う。
60～69歳	男性	1	住民の仲間が集まって、協同作業をする中で親睦が深まると思います。いろいろなグループの集まりがイベント事業になると思います。各地域で又は、同じ趣味のグループで、その地域又は、そのグループにしかできないような物を研究・研さんして、発表の場をイベント事業で行えたらと思います。
60～69歳	女性	1	色々遊べる所、食事をする場所、観光名所を作る。
60～69歳	女性	1	地区単位の食事会、訪問介護の充実。
60～69歳	女性	1	地域別競争をするもの。例)仮装大賞。
60～69歳	女性	1	11月上旬頃に村民運動会を各集落対抗で楽しんではどうか。
60～69歳	女性	1	食事会。
60～69歳	男性	1	ボランティアの環境クラブ。
60～69歳	男性	1	一人では移動する手段を持たない高齢者等への運送(移送)支援。住民一人ひとりが違うのでそれを見極め、スポーツ、文化事業、学問等多様な行事を用意すると参加する人が増え、親睦が深まると思う。
60～69歳	男性	1	生涯学習講座的な体験を中心に文化、芸術などを趣味に活動できる場があると良い。
60～69歳	男性	1	やがて小学校が1校になることから、運動会もまとめて行い、地域住民の参加して市民運動会的な競技を少しずつ増加してはどうか。
60～69歳	男性	1	強力なリーダー育成をすること。
60～69歳	男性	1	各集落(区)主要イベント・名所への参加・交流。
60～69歳	男性	1	特に無し。現状で良いのでは。
60～69歳	女性	1	まずは、集落単位で高齢者、子供の見守り、交流事業、村民体育祭、文化祭、風揚げ大会(子供から大人まで皆で協力して作り上げ参加できるもの)。
60～69歳	女性	1	問45と同じようなコミュニティーが中心に行う事業。
60～69歳	男性	1	ボランティアの目を作って、草刈り、共育、イベント、子育てを支援する。
60～69歳	男性	1	無理をしてイベントや事業をする必要はないと思います。逆に反発する人が出てきます。人口増加、すなわち、子供の増加が一番だと思われます。なかなか難しいですが！！行政の支援が必要だと思います。
60～69歳	男性	1	いつでも気軽に集まれる場所作り(子、大人、老人全て)。長期的には山を利用した観光地他(紅葉、春の花…)、ソーラーシェアを利用したもの、…観光、収入(作手にあったものに発展)。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.5

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	コミュニティ活動の推進。
60～69歳	女性	1	休耕田を利用して、ヒマワリ、コスモスetc作り、イルミネーション・かかし作り、こいのぼり。
60～69歳	男性	1	間45に同じ。
60～69歳	女性	1	高齢者で農家の嫁と言われた方たち、あまり外に出かけるのを好まない人が多いと思います。外に出るのが楽しみになるようなイベントを考えてほしい。
60～69歳	女性	1	町から来て思うことは、この静けさが心の栄養になる。あまり親睦といっても、それぞれ一生懸命不便さの中で生活している人にとっては一番の幸福だと思う。
60～69歳	女性	1	まずは近所付き合いからイベントに参加することもよいが、みんなが皆イベント好きとは限らない。
70～74歳	男性	1	祭とは違った自然(花、木、生物)がある場所で、散歩、体操が出来る所であって、イベントや事業でなくても良いと考える。
70～74歳	男性	1	人と関わるには苦手であるため、あまり興味はない(親睦に関して)。
70～74歳	男性	1	保育園から老人会までを含んだスポーツ大会の開催。作手中のすべての人が参加できる内容の工夫。
70～74歳	男性	1	「字」対抗のスポーツ大会を毎年開催空いたら？
70～74歳	女性	1	どんなイベントでもいいと思います。人それぞれに得意分野が有り、楽しみながら開催する。その交流が住民相互の親睦につながると思います。関心あるイベントにはまず参加する。そうした行動する住民であってほしい。自分もそうありたい。
70～74歳	男性	1	エリア別に開催されているお祭りの活性化。じり貧傾向を辿っているようなので、資金の継続的な援助をお願いしたい。
70～74歳	男性	1	親睦を深めるためにいろんな行事に参加しているけど、まだまだ。
70～74歳	男性	1	各地区で出し物を作って競演する。
70～74歳	女性	1	今年8月に開発センター感謝の会が催されましたが、あの時のように、地域で活動している団体やサークルが一年に一度、交流、交歓し合う機会を持てたらいいなと思
70～74歳	男性	1	協和小でやっていたような作手地区でとれたハチ、山芋、きのこ、野菜などを使用し、できるだけ大勢の人で味わえるようなイベントがあれば良いと思う。
75～79歳	女性	1	グランドゴルフ、ゲートボール、文化活動等、今までやっていたことを続けていったらよいと思う。
75～79歳	女性	1	地域コミュニティ行事の親睦。
75～79歳	女性	1	地域の老人が集まり笑い合える所があったら良いと思います。
75～79歳	男性	1	スポーツ行事、旅行行事、ボランティア活動等いろいろあるが、まずは運営スタッフの育成が急務。
75～79歳	男性	1	老人クラブを活性化して、イベント、事業を行うべき。
75～79歳	男性	1	住民の集まるイベント・講習会等を行う。
75～79歳	男性	1	つくでまつりの中に作手地域体育大会(地域対抗競技のようなもの)を取り入れる。
75～79歳	男性	1	作手版「軽トラ市」を毎月1～2回(春～秋)。
75～79歳	女性	1	間44の継続・発展・運営の工夫など。
75～79歳	男性	1	・お宅のお宝拝見交流会の開催「各家庭に眠っているお宝を持ち寄って自慢し合う会を行う」・ジャンケン作手ナンバーワン大会
75～79歳	女性	1	つくで祭りなど良いと思う。
75～79歳	男性	1	高齢者が増加の傾向だから、高齢者を中心としたイベントを考えてほしい。例えば、老人会の組織の検討をお願いしたい。
75～79歳	女性	1	虹の里のふれあいコーナーがもっと沢山あれば楽しいし、元気が出ると思うので、私達老人にとっては元気で長生きが出来ると思います。
75～79歳	男性	1	日帰りツアー・野球見物・仁社仏閣巡り・温泉・名所紅葉桜。
75～79歳	女性	1	農産物・加工食品等をイベントで販売する。
75～79歳	男性	1	老人福祉のイベント(ゲートボール、グランドゴルフ)等の充実(行政主導)。
75～79歳	女性	1	村神社のお祭り。
80～84歳	男性	1	つくで祭りを参考。
80～84歳	男性	1	若者に嫁を。
80～84歳	男性	1	子供たちが希望しているので歌舞伎をやらせたい。今までにも行っています。
80～84歳	男性	1	新東名ができれば、名古屋や浜松からアクセスが良くなると思う。ゴルフ・高原の良さをアピールしてもらいたい。
80～84歳	女性	1	古宮城を利用した古城まつり(奥平対武田)。
80～84歳	男性	1	老人の考え方は言っても無理、戦時中の教育を受けた昔の人間だから。
80～84歳	男性	1	高齢化でそんな意欲なし。
85歳～	男性	1	各部落に大変より集会所がありますので、各月の2～3回目の日曜日などを申し合わせで決めて寄り合うようにすると良いと思います。親睦を深めるためにもよいし、近くの出来事、遠くの情報交換、又希望や要望等3人寄れば文殊の知恵とかで、地域のためになる良い案が次々出てくると思います。もっと集会所を有効に利用したい
85歳～	女性	1	①作手ならではの作物を数多く作り出す。②ささゆり公園、他地域からも多数の人が訪れる所を作る。③紅葉が見れる場所に、特産物を置いて販売。
85歳～	男性	1	有名林業地の視察林業講習会。
85歳～	男性	1	つくで祭り、地域総合運動会の開催。

## 46. 作手地域の住民相互の親睦を深めるためのイベントや事業 No.6

年齢	性別	回答数	回 答
85歳～	男性	1	1. 作手は、県内では標高500mの地で、作りようでは、100,000haに及ぶ古い土地柄であるにも関わらず、米しか作らなくて、他の食材はより低温の東北・北海道からトラック輸送に頼っている。 2. どこでもそうだが、村落の繁栄は農業発展にある筈です。 3. その農業発展に努力しないのが不思議だ。 4. 植物でも動物でも10°～30° の内で太陽光を得て育成するものでしょう。 5. 疎水は、作手では5月から10月の間です。疎水は温度計と種子を畑に蒔いてみればわかることです。 6. なぜ身の回りのことを調べようとしませんか。 7. 高校では、毎日の温度調査をやっていると聞きます。作業畑もあると聞きます。まず身のまわりのことをしっかり学んで生

## 47. コミュニティビジネスに関心がありますか。 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	男性	1	逆効果である。
15～19歳	男性/女性	3	わからない。
20～29歳	男性	1	関心はあるがやってみたくはない。
20～29歳	男性/女性	2	わからない。
30～39歳	女性	1	取り組むべきだと思うが、ずっと続けていくのは、もっと難しいと思う。
40～49歳	男性	1	定年後になったら、関心がでるかも！！今は特に考えられない。
40～49歳	男性	1	外の成功が同じような考え方で、恵那市の市議員が行動したがダメだった。新しい企画で行動できる人間が何名いるかに。
40～49歳	男性	1	時間ができれば真剣に考えてみたい。
40～49歳	女性	1	成功すればよいが失敗すると不安です。
40～49歳	女性	1	無駄だと思う。
40～49歳	女性	1	関心はあるが時間と心の余裕が今はない。
40～49歳	男性	1	わからない。
50～59歳	女性	1	ビジネス関係の仕事に従事していなかったため、ビジネスに関してはわからない。
50～59歳	男性	1	わからない。
50～59歳	女性	1	時間とゆとりがない(関心はあるが..)。
50～59歳	女性	1	手伝いぐらいならやってみたい。
50～59歳	男性	1	良く理解できない。
50～59歳	男性	1	少し関心がある。
50～59歳	女性	1	関心はありますが、考えがまとまりません。
50～59歳	女性	1	何とも言えない難しい問題である。
50～59歳	女性	1	関心はあるが、今は自分の仕事で手一杯である。
60～69歳	男性	1	作手地域に合ったビジネスにつながるような物があれば、取り組むべきと思います。
60～69歳	女性	1	介護の身でなにもできないため。
60～69歳	男性	1	何とも言えない難しい問題である。
60～69歳	女性	1	やる人がいれば応援したい。
70～74歳	女性	1	わからない。
75～79歳	男性	1	わからない。
75～79歳	女性	1	もう時間が無い。
75～79歳	男性	1	やってみたいが年金生活者の心を動かす自信がない。
75～79歳	男性	1	自分でやっている。
75～79歳	男性	1	高齢につきパス。
80～84歳	男性/女性	3	色々と思っはいるけど高齢なので体がついていけない。
85歳～	男性/女性	3	関心はあるが高齢でできない。
85歳～	男性	1	わからない。

## 47-1. 関心のある方のコミュニティビジネス

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	木の駅プロジェクト。
20～29歳	男性	1	高齢者の健康を図りつつ活動が利益につながるもの。
30～39歳	女性	1	福祉タクシー。
30～39歳	男性	1	空き家などを利用した民宿・宿泊施設。
40～49歳	女性	1	高齢者共同居住地区の運営。
40～49歳	男性	1	若者・高齢者がいっしょに仕事ができる職場。
40～49歳	男性	1	草木の資源化ビジネス。
50～59歳	男性	1	スポーツ合宿の誘致、スポーツ選手の育成。
50～59歳	男性	1	キャンプ場施設。
60～69歳	男性	1	上勝にしろ、馬路にしろ、強力に引っ張っていくリーダーがいるからこそ成功しているのであり、まずは有能なリーダーを探すこと、育てること。
60～69歳	男性	1	ジビエ料理の開発・販売。
60～69歳	女性	1	作手の誇れる樹木の苗木の販売。
60～69歳	男性	1	全部。
60～69歳	女性	1	1・2・4・5。
60～69歳	男性	1	現在は、表装業に対する関心が少ないと思いますが、やってみたいと思います。
60～69歳	女性	1	お年寄りへの配食サービス。
60～69歳	男性	1	作手地内の住宅斡旋。
60～69歳	男性	1	1・2・3・4。
70～74歳	男性	1	関心はあるが、何をということなど考えてない。
70～74歳	男性	1	高齢者で出来ること。
75～79歳	女性	1	やってみたい気持ちはあるものの何分高齢ゆえ・・・。
75～79歳	男性	1	例すべて。
75～79歳	男性	1	「石風呂」を作り高齢者で経営で運営する。この案設計図等は市長宛てに過日提出済み。
75～79歳	女性	1	継承者がいなくなった家屋の管理・利用方法。
75～79歳	女性	1	色々な本を沢山読みたい。

## 48. 自由意見 No.1

年齢	性別	回答数	回 答
15～19歳	女性	1	知り合いに「作手が好き」と言ってくれる方がいて、とてもうれしく感じました。(その人は豊橋に住んでいて、よく作手に来るそうです。)(親戚がいるわけでもないらしいです。)そう言ってもらえると、とてもうれしいので、たくさんの人にそう言ってもらえるような「作手」になればいいと思います。
15～19歳	男性	1	店がたくさんほしい。
15～19歳	男性	1	今のままでよい。
15～19歳	女性	1	バスの便が少なく通学に不便。
15～19歳	男性	1	農林業公社を核としたコミュニティビジネスが大切。
20～29歳	女性	1	道をもっと広くしてほしい。鹿などの動物の保護柵？をつくる！
20～29歳	男性	1	紙と時間の無駄つかいではないですか？
20～29歳	女性	1	地元の人が楽しめる「何か」はきっとあるはずだと思います。
20～29歳	女性	1	各事業で行われているイベントなどが一括してわかる情報誌が欲しい。(農協などで子育てママの集まりがあるが、これは農協窓口に行かないとわからないし、私自身も友人から聞くまで知らなかった。)
20～29歳	男性	1	未来を見ることは大切ですが、私たちは今が大切なので、今を充実させてください。
20～29歳	男性	1	301号沿いの木々を整備すべき。走りやすい道であるため、さらに景色もよくなれば、さらなる観光客が望める。作手は人工林が多いので四季を感じられるところが少ない。作手の良い所は「ドライブで来る」ぐらいしかない。しかし、来たところでがっかりスポットであるのでリピーターは見込めず、ライダーくらいであるから、観光や体験施設(宿泊など)を増やすべきだろう。
30～39歳	男性	1	意見、アンケートを集めたのなら本当に行動を起こしてください。
30～39歳	男性	1	元気な作手を目指しては解るが、このアンケートをするにあたり目的が解らない。アンケートがどう使われるのかも(しっかり書いても意味が有るのか無いのか)。
30～39歳	女性	1	飲食店が少ない。働ける場所が少ない。

## 48. 自由意見 No.2

年齢	性別	回答数	回答
30～39歳	男性	1	今ある物(建物)を再利用・イベント施設などに。今ある物・場所・色々を有効利用していく。
30～39歳	男性	1	物を作れば売れる時代はもう終わっている。売れるもの、消費者がお金を出しても欲しくなるものを作り、また、高く売れるようにアプローチすること。生産者の意識改革
30～39歳	女性	1	地域を大切にすることも必要だと思うが、何時までも旧新城、旧鳳来、旧作手と3地区に分けて考えていいのかと思う時がある。何時になったら新城市が一つにな
30～39歳	男性	1	野菜を作っている方々の販路は極めて限定的だと思います。無農薬などの付加価値を付けたうえで、生産者が誰なのかが明示されるなど消費者に安心感を与える。そうした上で生産者から野菜等を集め、インターネットを用いた全国販売、発送まで手掛ける組織を創って、販路拡大することがよいのではないのでしょうか。これもコミュニティビジネスになると思います。
30～39歳	女性	1	自然の音や風景をこわさないように商品化。映画などCD撮影できる環境の施設があれば注目されたりするのかな。芸術家に作手に来てピーアールしてもらおうなど。自然の良さをまずは全国にアピールですね。まぼろしの米ミネアサヒの「作手」みたいな。
40～49歳	女性	1	現在の手作り村をもっと活発に利用してもらおうようにした方がよいのでは。働く場所がないから若い人は出て行くしかなくなってしまうと思うので、働ける場所として何とか利用できないかと思う。
40～49歳	女性	1	中途半端な事をする、負担が増えるだけで何も残らない。長続きしない。本気でやるなら、ボランティアだけでなく、きっちりビジネスを考えてやらないと失敗する。
40～49歳	女性	1	交流事業、地域活動等、良いことだとは思いますが、とても負担です。活動、行事等増やしてほしくないです。無くてよい！！
40～49歳	女性	1	何か「こういうものがあると良いな。」とは思っても、現在の自分の生活を考えると、手一杯で、何も自分ではできないと思う。
40～49歳	男性	1	アンケート大変です。我が家は代表者が聞き取りをし、代筆可能だったが、高齢者のみの世帯などは、理解しにくく、記入も大変だろうと思う。アンケートをする以上、集計をきちんとし、結果は今後のまちづくりに生かしてほしい。
40～49歳	女性	1	作手高校が、大学・大学院・留学など進学を視野に入れた教育の場としてふさわしくない。親としては、近くに子どもを通わせたいが、作手高校では国立大学を受けるくらい的高等教育が受けられない現状がある。現在40代の親の世代は、まだ大学進学できた。教育費、下宿等生活費も大学進学からでよかったが、現在は高校進学より、塾費用、バス等通学費用、下宿費用など教育費が多く必要となっている。子育てが教育、進学を考えるうえで、とても難しく思う。
40～49歳	女性	1	作手に働く場所がなければ話にならない。皆の意見を現実に向けて話し合うグループにはどうしたら入れるのですか。そういうグループがあるのですか。
40～49歳	男性	1	菅守小学校の廃校利用を考えています。今いろいろな人と話し、案件が数件のぼっていますが、今発表できるものはなし。だが、新しい利用法をまとめ中。
40～49歳	男性	1	この地に引っ越してきて年数は浅いが、周りの人に色々支えていただき、充実した日々を送っている。大変ありがたく思う。
40～49歳	男性	1	子供がいるので具合が悪くなってしまった時など、診療所が午後の診察時間が4時30分に受付ができなくなってしまうので、夕方熱を出した時など困ってしまう。
40～49歳	男性	1	アンケートをとるのであれば、みなさんの意見を集約して、必ず実現してください。無駄なアンケートだけには、しないでください。実現できたことを必ず報告してください。新城市会議での発表等などして、報告・公開して下さい。
40～49歳	男性	1	衰退してしまっていく新城市(旧作手村)に子供を住ませる気はない。消防団・地域活動をやっていかなければならない等の負担増につながる為。地域にも働く場所も少なくなってしまうとばかりなので活性化はできていかないと思う。新城市街の商店街も衰退してしまっているので、新城市の活性化は難しい。地域活動等の負担が大きい為若者の定住もできていかない。消防団活動もほぼ強制的である。
40～49歳	男性	1	税金が高い。水道敷設に豊橋など周辺市町村で必要のないお金をとられる(40万円だったかな?)。税金をとる割に住民サービスが悪い。市役所と現場との意思疎通ができていない。現場で苦情を伝えても、本庁に伝わっていなかったり。その逆があったり。結局、何もしてもらえず、しょうとしない。何度も質問してもらいまわし、あとまわし。こちらがあきらめるのをまっているかの様。
40～49歳	女性	1	鹿肉を加工したペット用ジャーキーを作っているところもあります。いまあるものを(人も場所もすべて)生かして新しい事業ができるといいなあとと思います。
40～49歳	男性	1	このアンケートでは人が特定されてしまうので、記名にした方がよいと思う。そうでなければ特定されない配慮がもう少し必要なのでは?(中には特定されるので正直に書けない人がいるかも)。
40～49歳	男性	1	農業や林業を推し進めていては、作手地区の衰退のスピードが加速するのは明らかなこと。超高齢化し人口減少の続く作手地域には、天変地異か土地(農地)利用に関する特例など農地を他用途に使用しやすしい制度づくりが必要。広大な土地を使うにも関わらず利益、雇用の少ない農業、林業は地域にとっては非効率であり、商業、医療、教育など全てに必要な人口の流出を加速する。即ち人の住めない地域になります。住民の思考、発想の大転換が必要。
40～49歳	女性	1	アンケートでAのように年齢、行政区、家族構成等細かく聞く必要があるのでしょうか?だれが書いたかわからないものにするか、記名にするかどどちらかにしてほしいと
40～49歳	男性	1	元気なつくでを目指すのは良いことと思うが、産業がなければ人が集まらないと考える。産業があり、住宅がある地域がなければ若い力が集まらないのでは。
40～49歳	男性	1	地域の活性化は、そこに住む「人」による。いい材料があっても料理する人がいなければ腐るのを待つだけ。料理されてこそ、食す人が現れる。地域を考える人を増やすことから始めていくしかないと思う。
40～49歳	男性	1	11月16日(土)作手小学校南校舎の学習発表会がありました。6年生の劇で、未来の作手について語られていました。子どもたちの柔軟なアイデアになるほどと感心させられました。未来の作手を担う若い世代、子どもたちの意見を積極的に聞くべきだと思います。
40～49歳	女性	1	とにかく山に来て自然を楽しみたい人々をがっかりさせるような作手にちょっとがっかりしています。鳳来のように温泉があるわけでも、奥三河のような素朴さも作手にはないのが残念です。
40～49歳	女性	1	社会人向け、農業学校(通信制+スクーリング実地指導)。
40～49歳	男性	1	新城がよければすべて良いのですか。もっと作手や鳳来のことを考えてください。

## 48. 自由意見 No.3

年齢	性別	回答数	回答
40～49歳	女性	1	40代30代が中心となった組織造りが必要だと思う。作手だから駄目だという意識を住民一人ひとりが払拭していく必要があります。作手だからできるんだと行政と住民が一致団結。まずは、新城市の住民が作手に足を運びたい魅力のあるものを作りたいですね。
40～49歳	女性	1	今後成人式をするとき新城でやるなら交通手段をバスとか準備してほしい。雪が降ったり凍結したときは、成人式など参加できないので見直してほしい。慣れているならいいけど慣れていない人のために何とかしてほしい。
40～49歳	女性	1	同世代の人に聞くと、みんなどうせ自分達は何が言っても聞いてもらえない「変わらない」とそんな声ばかりです。将来が不安です。
40～49歳	男性	1	地域で意見を出し合うというのには、やはり限界があると思う。各地区(行政区)の障壁を超えるというのは、まだまだ難しい気がする。地域のコミュニケーションが嫌とか、子供のこと、買い物等で作手を離れる人が後を絶たない。第三者の意見を取組むことが必要だと思う。(プロポーザルによる作手地区の在り方とか)
40～49歳	女性	1	若い人をどんどん呼び込んでほしい。
50～59歳	女性	1	作手地域のイベントへの参加に消極的になり、反省している。参加することで、活性化も促されると思う。子供が幼少の頃は、良く参加したが、成長し地元に住ないと、サマカン、つくで祭も遠ざかってしまった。友達を誘って参加しようと思う。
50～59歳	女性	1	こういうアンケートは郵送でいいと思います。封筒は使い回しなのですか？今、新城市ですよね。上から目線で腑に落ちない。
50～59歳	男性	1	消防団活動は大切であるが、若い独身の若者にとって過重な負担とならないようにしていく必要がある。
50～59歳	男性	1	作手地区は公園がないという意見を聞く。閉校する小学校の跡地を利用して整備したらと思う。
50～59歳	男性	1	1つ。行政の対応が悪い。あいさつがない。情けない。農業者の危機感がない(水田)。中途半端。企業合同のプロジェクトで集落元気な計画、人材。
50～59歳	女性	1	市よりの配り物が多すぎる。
50～59歳	男性	1	「元気がつくで」に一時的なイベントや事業の発想では先が知れている感じがします。根本的に何をすべきか、から問いかけていくことをすべきだと考えます。10年後ではなく、100年後の未来のため、今、なすべきことを考えたいと思うのですが、1. 地元で企業が来てくるには、交通の便が必要です。「国道301の複線化」は、一昨年の路肩崩落でライフラインの危機感をなすべき大きな課題としても強く感じました。清岳片山線をつくるべきです。2. 企業誘致の方策について、ほとんど手がつけられぬのであれば、その道のプロに委託して研究し、そのノウハウで動いてみてはいかがでしょうか。3. よく整備された道路ができれば、豊田市～静岡三ヶ日の物流が盛んになるでしょう。山間拠点としての流通センターも夢ではありません。人が作手を求めて来ます。その中で作手の自然も注目されると期待します。勝手なことばだけのものですので、書いていてむなしさすら思ってしまう。
50～59歳	男性	1	・若者が住まなくなり外へ外へと出て行ってしまふ事を真剣に考えて行かないと、ごく近い将来本当に限界集落になってしまいます。今でもなりつつあります。・新城市全体の議員定数について、旧南設楽郡で考えて、作手地区1人、鳳来地区2人、新城町4人、東郷・千郷・八名地区各2人の計13名で良いのでは？私自身は旧東郷
50～59歳	女性	1	作手の発展のためには、もう少し若い人の意見を取り入れ、高齢の方は手助けをする取り組みをする方向にした方が建設的だと思います。
50～59歳	女性	1	・設問で何を聞きたいのかよく分からない。・選択肢の質が様でないため、選ぶ基準がよく分からない。
50～59歳	女性	1	バッティングセンターやオートテニスなど日本一格安で、などの宣伝を付けて楽しんでもらったりしてはと思います。
50～59歳	男性	1	・森林事業として製材所や廃材、間伐材の薪作り、バイオマス発電のような事業を作る。・宿泊施設(旅館、民宿、キャンプ)を作る。・道の駅やJA等会員制を取らず自由販売施設(廃校など利用)を作る。・見学や観光名所が無い。・河川が荒れている為、魚がいない。掃除、草刈、魚道を整備(一級河川)して魚放流。・TV取材が来る様なイベント事や名物、観光、環境を考える。・空家、空地を無くす。・有名企業や住人の誘地(補助、謝礼金等出す)→人口を増やす
50～59歳	男性	1	上勝町の例が上記にあります。同じことが今作手地区で出来るでしょうか。作手全体で実行できるような下地を作るの方が大切です。皆で一緒にやろうという意識を育てなければ何も出来ません。一集落、一学区等でまず始めることが重要だと思います。今作手地区全体を引っ張っていく人、物、事柄はないのではないで
50～59歳	男性	1	継続的なイベントもOK。新しい若い人向けのイベントも一つ。考えたらよいと思います。若者の働く場所があり、定住できる地域づくり、作手はなくなります。
50～59歳	女性	1	高齢者社会もみんな元気でいられたら困ることは少ないと思うので、元気に暮らせる工夫を元気な老人の多い地区を。
50～59歳	女性	1	今年度の学校の統合は、とてもあわただしく、前が見えないまま進み、苦しい現場でした。案の定、予想通り、マイナス面が大きく悔しい思いでいっぱいです。もっと現場の声を聴いてほしい…。特に作手に住んでいる者にとっては、その思いは強いものがあります。せめて、残された校舎や立派な体育館についても、安易に取り壊すことなどないようにお願いします。
50～59歳	男性	1	農林業公社のイニシアチブを望む。
50～59歳	男性	1	人口の減少による集落の存続も危ぶまれる中、新たな自治体制度など始めても、一人で集落の役をいくつもやらなくなって大変である。
60～69歳	男性	1	地域防災対策の充実。避難場所を点在させるべき。作手は暗い道が多く、長い移動はかえって危険。小字単位で安全な場所を指定しておいた方がよい。
60～69歳	男性	1	地域自治体予算の約半分を使って計画書を作るよりも、地域には活動している団体が大小あると思う。そうした所にもっと働きかけて活動の手助けになるような協議会の活動を行って欲しい。まちづくり計画は絵にかいた餅に終わらないか。
60～69歳	男性	1	当該アンケートがどのように生かされるか協議会の自己満足にならないように望みます。
60～69歳	女性	1	期日前投票及び選挙当日の立会人(区長を除く)など毎回同じ人ばかりの様気がするが、若い人を短期間でも利用する事は、不可能か。役場退職者ばかり利用するのは不公平だとの声がある。
60～69歳	女性	1	若者が作手に住み続けられるような施設や、進んだ文化を強化して欲しいと思う。作手という地名をもっとPRした方がよい。
60～69歳	女性	1	介護施設をいくつか建設し、元気で働ける高齢者を雇用する。

## 48. 自由意見 No.4

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	年末にかけて飲酒運転撲滅運動は毎年行われるが、作手地区はどうも無視されているように思う。人が集まるごとに酒が出されます。しかし多くの人が車で来ます。その後車に乗って帰られます。以前私は集会でその件のことを訴えたら、誠に避難做々で、話もできませんでした。また、他地区で飲酒運転の話をしたら或る人曰く田んぼに落ちたことがあると自慢する始末です。昼夜は全く関係なく飲みます。このことを如何考えますか。飲酒運転をなくすには、個人的以外には酒を提供しないことが大事じゃないかと思う。(アルコール依存症には、防災の面でも何を言っても無駄であることは経験済みです。)
60～69歳	男性	1	・上勝町、馬路村など結果だけを見て真似られるものではありません。両者共に中心人物が血のにじむような努力を何年も続けた結果(何十年も)が、今です。それだけの覚悟のある人のみができることです。(バカ者・ヨソ者・若者=3者といいますが) ・さて作手には歴史・自然・産業資源の他に人的資源もあります。今ある資源にはあまりにもありふれていて気が付かないものです。田舎の人は良く「何もない。」と言いますが、都会にあるものが無いのであって、都会にないものが全てあるのですが、目の前のまつ毛のように気が付かないことが多い。余所から来た者の視点を持ってみると「作手は宝の山」です。猪や鹿も資源です。「地元学」の手法を活用し、ワークショップから始めてはいかかでしょう。自分たちの持っている資源、能力にポジティブに向き合うことが大切です。3小学校の活用法はいっぱいあります。一過性のイベントは花火の様でいいのですが、一瞬です。1日/365日でしかありません。日常に根差し、それからの発想が求められます。また、コミュニティデザインの手法もこれからの「まちづくり」にとって有効ではないかと思えます。 ・その他、役場の職員は生え抜きでどこへも出て行けなかった人を雇うのではなく、Jターン・Iターン・中途採用など外部の視点を持った人を積極的に採用することが大事です。また、地元の優秀な子供は奨学金を付けて高等教育を受けてもらい、役場にポストを用意(卒業後の就職のときに)してはどうか。(カムバックサーモン作戦)案内標識があると良いと思います。作手に16年いると岩波とか長の山湿原の道が解らんという言葉聞きます。行けると思ったら抜き差しならん困ったといひます。車の転落事故につながるし、私初の時作手の左右知らず案内に困ったけど今は上手になりました。本宿から301号の終わりなどいろいろ聞きます。作手は名古屋、静岡、渥美、田原、足助、長野他県の様々な皆さん聞かれます。
60～69歳	女性	1	合併前はJA、役場、村民といろいろ話をする機会があったが、アンケートで意見思いを伝えなければならぬのは残念だ。まちづくり計画が策定されても盛り上がりがないと思います。「アンケートをやった」で終わらないでください。
60～69歳	女性	1	道の駅で農家目線で商品販売しているように思います。作手に大勢の人たちに来て頂くには、とにかく新鮮で新しいものを出荷できる人を増やすことが必須です。今は道の駅ブームでたくさんの方が作手の山まで登ってきてくださっていますが、古い商品を売ればせつかく来てくれる人たちに失礼です。GW等休日も振替休日をしてでも営業するべきです。人が集まる時に定休日とは、信じられない状況だと思います。
60～69歳	女性	1	作手の街路にサルスベリなど植えられています但不粋。アジサイは、農家の人たちの草刈・除草に手間がかかりすぎ。ウワミズザクラは地域内にたくさんあり、こうしたものを全域で植林したら楽しい地域になると思います。花はきれい。実もきれい。紅葉もきれいと言回しめします。作手地域の景観も一段と上品なものになると思います。河津桜に匹敵するかそれ以上の観光資源になると思います。
60～69歳	男性	1	どれだけ老人をやる気にさせるか勝負！！一日一日に働く喜びを味わらせる内容なら、無料でも働くよ。
60～69歳	男性	1	狩猟期間の始まりと終わりを無線連絡してほしい。祭りの際の花火は、病人、老人、子供(赤ちゃん)にとって騒音でしかない、やめるべきだ。(地区の住民は、祭りがあることは全員わかっている筈だから)
60～69歳	女性	1	無記名であるべきアンケートを名前入りの封筒に入れるのはおかしいと思います。「元氣なつくで」目指したいものです。ですが、市の政策に不信感ばかり湧いてきます。田舎切り崩し、姥捨て山のやり方に怒っています。例えば、市の教育予算は、新都市の住民(子供達)へ使かわれるべきものなのに、大谷大学の誘致に何億を使い、さらに今度は、専門学校として開校するために十数億使っているのですよね。おかしいと思います。こんなことに教育費を浪費しておきながら、一方で学校を閉校にして、さらに跡地は全て地元へ返すと。聞こえはいいですが、維持管理の経費を払いたくないので、丸投げをしているだけではないのでしょうか。それから、小学校合併のとき、反対意見を言える場がありませんでした。合併に「えっ！」と思われた方も大勢いるそうです。特に田舎の人は、反対の意見を一人で声を大にして言にくいものです。いろいろな決定をしていくとき、結論ありきの話の進め方はやめてもらいたいです。賛成も反対もその他も、意見が言えるように、提案も両方のメリット、デメリットを明らかに提示してほしい。中心となる〇〇員会等のメンバーの考えが、どちらかに傾いていると民主主義でなくなります。果たして市町村合併で旧作手村は、
60～69歳	女性	1	遊休農地での太陽光発電。充電できるシステム等。
60～69歳	男性	1	作手地域全体をきれいな地域にするために作手地域全体をきれいにする会を作り、自分の地域だけでなく、どこの地域でも協力し合える組織を元に、作手全体をきれいな市にするために活動できたらと思います。
60～69歳	女性	1	金額が安い方へ向く。必要な物が足りない。物がそろわない。
60～69歳	女性	1	若者が地域に住めるような工業、商業があったら良いと思う。
60～69歳	男性	1	介護者への思いやりが少し足りないと思っています。仕事のことでしょうが、行政の方々には心配りをお願いいたします。
60～69歳	男性	1	小学校の跡地利用について(特殊図書館)農業、植物など特別に分野を区切り、不要の図書、雑誌を広く(インターネットで広く知られてもらう)全国から募集し集め、その利用をもとにして交流を図っていく。
60～69歳	女性	1	介護の身ですので、アンケートへの考えができませんでした。
60～69歳	男性	1	会議での意見アンケート等から住民の希望を探り、集約していく手段はとても良いと思います。もう一つなのが、自分の目で見、現地の声を聴き、公平公正な立場での「まちづくり」です。そのような姿勢を大切にしてください。
60～69歳	男性	1	予算の有益な活用をお願いしたい。無駄な箱物はいらぬ！

## 48. 自由意見 No.5

年齢	性別	回答数	回 答
60～69歳	男性	1	アンケートの結果の集約に関心があります。これを基に作手地域の将来をどのようにしていきたいのか是非公表してほしい。真剣に作手の将来のことを考える議員や長老、地元実力者が現れることを望みます。
60～69歳	男性	1	作手小学校が平成29年度に1校となり、旧巴、開成小学校を利用し、グラウンドを利用した農産物の生産教室を農業体験者の宿泊施設に改造し、都市の住民との交流を実施する。
60～69歳	男性	1	現状の様な森林放置は、もう限界である。里山や治山治水を崩壊しつつある。ここ地域面積の70～80%を占める森林管理を行政が率先してやるべき。放置林については、所有者から最終的に没収するなど、(責任放棄として)国策に働きかけていくべきではないでしょうか。
60～69歳	女性	1	・これから増えていくであろう空家の活用。・高齢になって農業ができなくなったら農地の活用。・これらを活かすしっかりした組織があればよいと思う。
60～69歳	女性	1	介護施設(虹の郷)の民営化(高齢者(寝たきり老人や介護度の高い方たちの手厚い看護))を要求したい。看護師を募集し(増やす)ショートスティ(持病のある人)等受け入れの充実を願います。
60～69歳	女性	1	作手高原を活かして、愛知県内の都市部から1～2時間以内で標高500m前後の高原があり、平地の田舎とはチョット違う、おしゃれな地域があることをもっとPRしていくべきだと思う。新城市の作手でなく愛知県の作手高原として！！もっと自信をもって次の世代に引き継いでいってほしい。
60～69歳	女性	1	アンケートとは直接関係ありませんが、市から(区長)の配布の用紙が多すぎるのでは。
60～69歳	女性	1	地域自治区予算事業として作手の山林管理やってほしい。個人の所有の山が多いと思うので、そこで税金を使うのは難しい問題が出てくると思いますが、「作手ルール」のようなものを作り是非実現させてほしい。周囲の自治体から”作手の山は手入れが行き届いていいね。”と言われるようになれば、そういう話を聞いて、人も見に来るだろうし、作手に関心を持ってもらえるし、地域の活性化につながると思う。
60～69歳	男性	1	若者を定住させる事が作手を元気にする。年配者はボランティア活動して地域を支援する。法人化した取り組み(住宅斡旋、農産加工etc)
60～69歳	女性	1	(コミュニティビジネスについて)関心がありますが、方法がわかりません。元気な高齢者が多いので力を活かしたいと思いますが、やる気に繋げるための手段とか、それによってお金が儲かるための方法とか、わからないことばかりで知恵がないので残念です。
60～69歳	男性	1	子供や若者が住みやすい地域にする事が必要、農業に関しては収入に結びつく事が必要。⇒ソーラーシェアを作手に合うよう変更して推進する事。米・野菜の加工品他⇒収入に結び付く。
60～69歳	男性	1	特にひとり暮らしの高齢者への福祉サービスを強化する。(食料品の確保、病院への通院、災害発生時及び緊急事態発生時の迅速な対応ができるようなサービス。現状よりさらに緻密な活動。頻繁に声を掛け合いができる、するようなサービス活動)
60～69歳	男性	1	急速な高齢化により集落の機能が失われることが心配です。
70～74歳	女性	1	こんなアンケートは、何の役にも立たない。
70～74歳	女性	1	森林の運営ができるように、もう少し木材の利用価値があったらと思います。
70～74歳	男性	1	アンケートの質問が多すぎる。長いアンケートは協力したくない。
70～74歳	女性	1	涼風の里、直売所を経営しているうちに、年齢の高い人が元気で働ける場所として、ぜひ大勢の方が出荷してほしい。(野菜など自分の畑で出来たものを毎日少量でも出して、売れた時の嬉しそうな顔を見た時に、やってきてよかったと思います。)ボケ防止になろうかと思えます。
70～74歳	男性	1	林業、農業機械の手入れ等、細かい手入れ指導をしていただけたら、よりよい作業効率アップができると思います。
70～74歳	女性	1	高齢者が集まれる所をつくり、皆で助け合える所があれば良いと思います。食事も皆で仕たくをして、それぞれやれる事をやる。一人であるより楽しいと思います。また、下校後に留守番児童もついでに皆で見てくれるのも良いと思う。生きがいについてもつながるのではないかな？
70～74歳	男性	1	作手に多くの人に来てくれるよう願っています。
70～74歳	女性	1	農地があり経験もある地域です。工夫していけばパート収入程度は得ることができるはずですが。ただ個人だけでは収穫期に安い野菜しか出荷できないでしょう。地域全体として何を作り売っていくのか、このことに知恵をしばらく地域全体の事業にすべきと思います。「若者の仕事が無い」と言われますが、若者の仕事を作り出すべきで
70～74歳	女性	1	図書館の本を増やしてほしい。もう少し前向きに生きていける作手にしてほしい。
70～74歳	女性	1	高齢者用のタクシーがあったらと思います。家の前まで行けるので、あしがる線とはちがう。
70～74歳	女性	1	跡地考える会(菅守小)参加させて頂き裏山の自然、天神様等散策し改めて作手の良さを感じました。あの様なイベントを是非継続して頂きたいです。裏山、天神様の存続を希望します。
70～74歳	男性	1	作手の人全員に同じ設問でアンケート調査を実施したということは、子供(小学生)から高齢者まで、それぞれの人が自分の立場で「今or今後の作手」について自分の考えを整理する上でも良い機会になったのではないだろうか(アンケート実施の意義)。
70～74歳	男性	1	一人住まいの高齢者で、一日一日を健康で過ごせる事だけです。高齢化、人口減少の流れ、今後は益々難しい社会になると思います。我々凡人には難しすぎます。
70～74歳	女性	1	獣のいない作手にしてほしい。一年中獣にふり廻されている。
70～74歳	女性	1	コミュニティビジネスと言った大きなことは出来なくても、少ない人数でも出来ることがあれば、私も高齢者で何も出来ませんが、介護といった仕事は出来ませんが、手助けの出来ることがあればお手伝いしたいと思います。
75～79歳	女性	1	若者が故郷に帰ってこられるような作手になればよいですね。小学校もなくなり子供たちの声も聞こえなくなり淋しいです。。自分たちの世代には、想像もつかない現在です。これから先、山林農地空き家等荒れ放題になりそうな気がして、淋しい限りです。みんなで力を併せて少しでも良い方法を考えていきたいです。

## 48. 自由意見 No.6

年齢	性別	回答数	回答
75～79歳	男性	1	①アンケートの設問は十分吟味していただきたい。基準のあいまいな、心情的な問いは意味がない(例:あなたは健康に自信がありますか。同じような状態でも、答えは3通りになる、自信があると言い切れる人は少数。)。②設問の選択肢の配列も問題。設問者の期待する選択肢を上位に配列すれば、選択する人が多くなり、結果的に誘導されたものとなる。③アンケート結果の処理は迅速に行い、集計結果を報告していただきたい。
75～79歳	男性	1	高齢者が団結意識を再認識して、地域活性化を自覚する事。
75～79歳	男性	1	過疎化、高齢化対策の実施。地域産業の育成。子供の多くいる地域が望ましい。
75～79歳	男性	1	何故に立派な木造の体育館があるのに、敷地も広いのに、どうして財政が困窮しているというのに今現在建っているものを利用しないのか。おかしい。利口な人のやることじゃない。上に立つ人はもっと作手のことを考えて。偉い人になると自分の名誉がほしいだけ、作手の事は考えないのですね。
75～79歳	男性	1	質問数が多すぎ、質問範囲が広すぎ。
75～79歳	男性	1	旧巴小学校の校舎を利用して上記の「石風呂」を運営する。
75～79歳	男性	1	アンケート結果の報告をお願いします。(ぜひ)
75～79歳	女性	1	このアンケート80歳のおばあさんではあまり答えることもありません。三世代一緒だからそのまま安気に暮らせればいい。
75～79歳	女性	1	作手清岳地区古宮川の河川改修工事のため、古宮川沿いの八重桜並木の桜の木が伐られるとのこと。あの桜並木は地区の先人が植栽し、後の人々が守り育て見守ってきたものです。あの桜の大木をなんとか伐らずに改修する方法を考えては頂けないでしょうか。あれだけの八重桜並木は近辺には見当たりません。地域の人々はもちろん「道の駅・手作り村」へ来られた方々も散策に訪れます。満開時には実に美しく見事です。あの八重桜並木は、地域の、そして作手の宝物です。先人の努力に報いるためにも、我々が守り更に育てて行かなくてはならないと思います。満開時にいちどお訪ねいただき、その美しさ、見事さをご覧いただければ幸いです。
75～79歳	男性	1	小さなサークル集団の乱立で、こうした種々の会を束ねる大きなものがない。例えばシルバー人材、老人会など共通性がありながら全く別の活動をしている。合併後こうしたことが加速して、悪くいえば日々バラバラで全く統一性がない。これでは、「作手」は、「作手地区」はよくならない。
75～79歳	男性	1	農地、山林の所有者が作手地域外及び県外の人となり、きわめてやりにくい時代になりつつある。これは、農地法とは関係なく既に子供が市外、県外に出ており、親が亡くなれば相続で自然にそうなる。農地は日影が多くなり、野生動物の被害に悩まされており、林道の見回りすらする人がほとんどいない。上流の土地、宅地等の価値が高まらなると全国的に(過疎)となるだろう。
75～79歳	男性	1	高齢者が中心となって農業経営をしている状況が多いこの地方ではイベントやビジネスは無理だと思う。
75～79歳	女性	1	作手の若者が作手で働けるような場所を作るべきです。市役所や農協でもあまりにも人が多くていろいろな行事や解らないことを聞きに行っても話しぶり思いがします。何もかも新城へ行かなければ高齢者は不便になるばかりです。
75～79歳	女性	1	和田地区に年寄りの集まる所がほしい。年寄りを世話してくれる所がほしい。
75～79歳	女性	1	集落で7人～8人位で1日楽しく過ごせる場所をほしい。
75～79歳	男性	1	設問が高齢者の心をつかんでいない。国民年金と企業年金等受給者の心の開きが大きい。
80～84歳	男性	1	林道が非常に悪く山へ行けない。菅沼家募集。前菅守小学校天神様のお祭り、小学校跡地利用。
80～84歳	女性	1	定年退職者に農業を出来る場所を作り、楽しく働ける場所を作りたい。
80～84歳	女性	1	高齢につき身体的に限度がある。未来についても今の世代との考え方の相違があったりして、なかなか難しい所があると思う。
80～84歳	男性	1	学校統合で、これまでの校舎をこわしてしまうのは、大変残念。何にするか考えて、保存・再利用、または、現在のままでいいじゃないか。(南北校舎に分かれず、一つの学校・校舎として据置!!こわす無駄、建てる無駄、やめた方がよい。
80～84歳	男性	1	収入の無い所には人間は住めない。これ第一に考える事と思う。
80～84歳	女性	1	高齢者ではこんなことはむずかしい。
80～84歳	女性	1	いろいろ考えてはいるけど(高齢者などでは)どうすることもできない。でも農地空き地をなんとかしてもらいたい。私はこの年になっても、新城農振課へ行ってもなんでもお願いしたけど未だになんともしてくれない。よろしく願い申し上げます。作手も大きな工場でも作らなければ若者みんな外へ出ていくと思う。
80～84歳	男性	1	河川の最上流部の源流域に立地する作手も、間もなく限界集落となり、近い将来消滅する。高齢化、人口減少、一次産業衰退、アベノミクス崩壊。(例)森林組合職員1人、主力は鳳来へ。商工会も主力は新城へ。シルバー主力新城。役場超縮小。小学中学将来なくなる。高校も将来廃校。議員もなくなる。スーパーもスタンドもなくなる。役人の机の上の空論ではどうしようもない!!アンケート不用。
80～84歳	男性	1	若い人の住めない村になった。
85歳～	男性	1	小生高齢にて不要の長物ながら作手はみんなのふるさと永遠の繁栄を祈ります。寝ていたら字が書けない風で申し訳ありません。後はよろしく願いします。88歳の老人のお願いです。